

令和2年度

授業要綱

(第1学年)

福岡歯科大学

目 次

【前期】

時 間 割	【区分】	科目番号	
哲 学	【講義】	OD012001	1
倫 理 学 入 門	【講義】	OD012002	3
ラ イ フ コ ー ス の 社 会 学	【講義】	OD072008	5
比 較 文 化 論	【講義】	OD072011	7
福 博 の 歴 史 と 文 化 探 訪	【講義】	OD072012	9
ス ポ ー ツ I	【実習】	OD011022	12
知 的 技 法 I	【講義】	OD011016	15
情 報 処 理 実 習 I	【実習】	OD011014	17
基 礎 数 学	【講義】	OD011001	18
細 胞 生 物 学 I	【講義】	OD011019	20
基 礎 化 学	【講義】	OD011025	23
基 礎 物 理 学	【講義】	OD011003	27
現 代 文 明 論	【講義】	OD011002	31
S c i e n t i f i c E n g l i s h I	【講義】	OD011005	33
解 剖 学 総 論	【講義】	OD011103	36
医 療 工 学	【講義】	OD011101	38
キャリアデザイン／地域医療（キャリア）	【演習】	OD011202A	40
キャリアデザイン／地域医療（地域）	【演習】	OD011202B	41
医 ・ 口 腔 医 学 概 論	【演習】	OD011301	44

【後期】

時 間 割			
ド イ ツ 語 I	【講義】	OD012005	47
中 国 語 I	【講義】	OD012006	49
論 理 学 ・ 日 本 語 表 現 法	【講義】	OD012003	51
心 理 学 入 門	【講義】	OD012004	52
ス ポ ー ツ II	【実習】	OD011023	55
知 的 技 法 II	【講義】	OD011017	57
経 済 学	【講義】	OD011010	59
人 文 科 学	【講義】	OD011026	61

	【区分】	科目番号		
異文化理解	【講義】	OD011024		63
communication training	【演習】	OD011021		65
課題解決演習Ⅰ	【演習】	OD011018		67
情報処理実習Ⅱ	【実習】	OD011015		69
基本操作法実習	【実習】	OD011009		70
一般数学	【講義】	OD011004		72
細胞生物学Ⅱ	【講義】	OD011020		74
細胞化学	【講義】	OD011011		77
Practical EnglishⅠ	【講義】	OD011007		81
系統解剖学Ⅰ	【講義】	OD011104		83
生理学Ⅰ	【講義】	OD011105		85
菌科理工学Ⅰ	【講義】	OD011106		87
介護施設体験実習	【実習】	OD011201		90

前期

令和2年度 授業時間割表 【第1学年】

(前期)

1年生			13	25	20	20	10	25	25	25	25	25	25	
月曜日	時間		4月6日	4月13日	4月20日	4月27日	5月4日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	
1眼目	(9:00-10:20)	選抜科目オリエンテーション 情報処理実習室	医・口腔医学概論-1 501	医・口腔医学概論-3 501	医・口腔医学概論-4 501	みどりの日	医・口腔医学概論-7 501	医・口腔医学概論-9 501	スポーツⅠ-2 体育館	スポーツⅠ-4 体育館	スポーツⅠ-6 体育館	スポーツⅠ-8 体育館		
2眼目	(10:35-11:55)			キャリアデザイン/地域医療-1 講堂	キャリアデザイン/地域医療-2 講堂		細胞生物学Ⅰ-9 501	キャリアデザイン/地域医療-6 講堂	スポーツⅠ-1 体育館	スポーツⅠ-3 体育館	スポーツⅠ-5 体育館	スポーツⅠ-7 体育館	スポーツⅠ-9 体育館	
3眼目	(13:00-14:20)			現代文明論-1 501	現代文明論-2 501		現代文明論-3 501	現代文明論-4 501	現代文明論-5 501	現代文明論-7 501	現代文明論-8 501	現代文明論-9 501	現代文明論-11 501	現代文明論-12 501
4眼目	(14:35-15:55)			知的技法Ⅰ-1 501/502/503	知的技法Ⅰ-2 501/502/503		知的技法Ⅰ-3 501/502/503	知的技法Ⅰ-4 501/502/503	知的技法Ⅰ-5 501/502/503	知的技法Ⅰ-6 501/502/503	知的技法Ⅰ-7 501/502/503	知的技法Ⅰ-8 501/502/503	知的技法Ⅰ-9 501/502/503	知的技法Ⅰ-10 501/502/503
5眼目	(16:10-17:30)			基礎数学-1 501	基礎数学-2 501		基礎数学-4 501	基礎数学-5 501	現代文明論-6 501		防災訓練	【選択】 福博の歴史と文化探訪-6501		

1年生													
火曜日	時間		4月7日	4月14日	4月21日	4月28日	5月5日	5月12日	5月19日	5月26日	6月2日	6月9日	6月16日
1眼目	(9:00-10:20)		物理・化学・生物・ 数学・英語 総合学力テスト 502	基礎化学-1 501	基礎化学-5 501	基礎化学-7 501	こどもの日	基礎化学-11 501	基礎化学-14 501	基礎化学-17 501	基礎化学-20 501	基礎化学-23 501	基礎化学-25 501
2眼目	(10:35-11:55)			基礎化学-2 501	基礎化学-6 501	基礎化学-8 501		基礎化学-12 501	基礎化学-15 501	基礎化学-18 501	基礎化学-21 501	基礎化学-24 501	基礎化学-26 501
3眼目	(13:00-14:20)			細胞生物学Ⅰ-3 501	細胞生物学Ⅰ-6 501	キャリアデザイン/ 地域医療-3 講義		情報処理実習Ⅰ-1 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-2 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-4 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-6 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-8 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-10 情報処理実習室
4眼目	(14:35-15:55)			【選択】賢学-1/倫理 学入門-1 501/703	【選択】賢学-3/倫理 学入門-3 501/703	【選択】賢学-5/倫理 学入門-5 501/703		【選択】賢学-7/倫理 学入門-7 501/703	情報処理実習Ⅱ-1 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-5 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-7 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-9 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-11 情報処理実習室
5眼目	(16:10-17:30)			【選択】賢学-2/倫理 学入門-2 501/703	【選択】賢学-4/倫理 学入門-4 501/703	【選択】賢学-6/倫理 学入門-6 501/703		【選択】賢学-8/倫理 学入門-8 501/703	【選択】賢学-9/倫理 学入門-9 501/703	【選択】賢学-10/倫理 学入門-10 501/703	【選択】賢学-11/倫理 学入門-11 501/703	【選択】賢学-12/倫理 学入門-12 501/703	【選択】賢学-13/倫理 学入門-13 501/703

1年生													
水曜日	時間	4月1日	4月8日	4月15日	4月22日	4月29日	5月6日	5月13日	5月20日	5月27日	6月3日	6月10日	6月17日
1限目	(9:00-10:20)		細胞生物学Ⅰ-1 501	細胞生物学Ⅰ-4 501	細胞生物学Ⅰ-7 501	昭和の日	振替休日	細胞生物学Ⅰ-10 501	細胞生物学Ⅰ-13 501	細胞生物学Ⅰ-16 501	細胞生物学Ⅰ-19 501	細胞生物学Ⅰ-22 501	細胞生物学Ⅰ-25 501
2限目	(10:35-11:55)		細胞生物学Ⅰ-2 501	細胞生物学Ⅰ-5 501	細胞生物学Ⅰ-8 501			細胞生物学Ⅰ-11 501	細胞生物学Ⅰ-14 501	細胞生物学Ⅰ-17 501	細胞生物学Ⅰ-20 501	細胞生物学Ⅰ-23 501	細胞生物学Ⅰ-26 501
3限目	(13:00-14:20)		SciEnglishⅠ-1 501	SciEnglishⅠ-3 501	SciEnglishⅠ-4 501			SciEnglishⅠ-5 501	SciEnglishⅠ-6 501	SciEnglishⅠ-7 501	SciEnglishⅠ-8 501	SciEnglishⅠ-9 501	SciEnglishⅠ-10 501
4限目	(14:35-15:55)		SciEnglishⅠ-2 501	基礎物理学-3 501	基礎物理学-6 501			基礎物理学-13 501	基礎物理学-16 501	基礎物理学-19 501	基礎物理学-22 501	基礎物理学-25 501	SciEnglishⅠ-11 501
5限目	(16:10-17:30)		基礎物理学-1 501	基礎物理学-4 501	基礎物理学-7 501			基礎物理学-14 501	基礎物理学-17 501	基礎物理学-20 501	基礎物理学-23 501	基礎物理学-26 501	基礎物理学-28 501

1年生													
木曜日	時間	4月2日	4月9日	4月16日	4月23日	4月30日	5月7日	5月14日	5月21日	5月28日	6月4日	6月11日	6月18日
1限目	(9:00-10:20)		解剖学総論-1 501	解剖学総論-2 501	解剖学総論-3 501	解剖学総論-4 501	解剖学総論-5 501	解剖学総論-6 501	解剖学総論-7 501	解剖学総論-8 501	解剖学総論-9 501	解剖学総論-10 501	解剖学総論-11 501
2限目	(10:35-11:55)		基礎物理学-2 501	基礎物理学-5 501	基礎物理学-8 501	基礎物理学-9 501	基礎物理学-11 501	基礎物理学-15 501	基礎物理学-18 501	基礎物理学-21 501	基礎物理学-24 501	基礎物理学-27 501	基礎物理学-29 501
3限目	(13:00-14:20)		医療工学-1 501	医療工学-3 501	医療工学-5 501	基礎物理学-10 501	基礎物理学-12 501	細胞生物学Ⅰ-12 501	細胞生物学Ⅰ-15 501	細胞生物学Ⅰ-18 501	細胞生物学Ⅰ-21 501	細胞生物学Ⅰ-24 501	医療工学-14 501
4限目	(14:35-15:55)		医療工学-2 501	医療工学-4 501	医療工学-6 501	医療工学-7 501	医療工学-8 501	医療工学-9 501	医療工学-10 501	医療工学-11 501	医療工学-12 501	医療工学-13 501	【選択】 比較文化論-10/ライフ ワークスの社会学-10 501/601
5限目	(16:10-17:30)	学生提示板循環 メール設定の説明会 501	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-1 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-2 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-3 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-4 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-4 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-4 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-7 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-8 501/601	【選択】 比較文化論-7/ライフ ワークスの社会学-9 501/601	【選択】 比較文化論-11/ライフ ワークスの社会学-11 501/601	

1年生													
金曜日	時間	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日
1限目	(9:00-10:20)	第1学年 入学式 オリエンテーション	新入生研修会 (4/10のみ)	基礎数学-3 501	健康診断	基礎数学-6 501	基礎数学-7 501	基礎数学-8 501	基礎数学-9 501	基礎数学-10 501	基礎数学-11 501	基礎数学-12 501	基礎数学-14 501
2限目	(10:35-11:55)			基礎化学-3 501		基礎化学-9 501	基礎化学-10 501	基礎化学-13 501	基礎化学-16 501	基礎化学-19 501	基礎化学-22 501	基礎数学-13 501	基礎数学-15 501
3限目	(13:00-14:20)			基礎化学-4 501		医・口腔医学 概論-5 501	医・口腔医学 概論-6 501	医・口腔医学 概論-8 501	医・口腔医学 概論-10 501	医・口腔医学 概論-11 501	医・口腔医学 概論-12 501	医・口腔医学 概論-13 501	医・口腔医学 概論-14 501
4限目	(14:35-15:55)			医・口腔医学 概論-2 501		キャリアデザイン/ 地域医療-4 講堂	キャリアデザイン/ 地域医療-5 講堂	キャリアデザイン/ 地域医療-7	キャリアデザイン/ 地域医療-8		キャリアデザイン/ 地域医療-10		キャリアデザイン/ 地域医療-11
5限目	(16:10-17:30)			【選択】 福博の歴史と 文化探訪-1501			【選択】 福博の歴史と 文化探訪-6501		キャリアデザイン/ 地域医療-9		現代文明論-10 501		キャリアデザイン/ 地域医療-12

4月18日
博多学現地見学

5月9日	5月16日	5月23日
博多学现地見学	博多学现地見学	博多学现地見学

25	25	5							
6月22日	6月29日	7月6日	7月13日	7月20日	7月27日	8月3日	8月10日	8月17日	8月24日
スポーツⅠ-10 体育館	スポーツⅠ-12 体育館	スポーツⅠ-14 体育館	定期試験(予定)	定期試験(予定)	学園記念日		山の日		
スポーツⅠ-11 体育館	スポーツⅠ-13 体育館	スポーツⅠ-15 体育館							
	現代文明論-14 501	現代文明論-15 501							
知的技法Ⅰ-11 501/502/503	知的技法Ⅰ-12 501/502/503	知的技法Ⅰ-14 501/502/503							
	知的技法Ⅰ-13 501/502/503	知的技法Ⅰ-15 501/502/503							

6月23日	6月30日	7月7日	7月14日	7月21日	7月28日	8月4日	8月11日	8月18日	8月25日
基礎化学-27 501	基礎化学-29 501		定期試験(予定)	定期試験(予定)					
基礎化学-28 501	基礎化学-30 501								
情報処理実習Ⅰ-12 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-14 情報処理実習室								
情報処理実習Ⅰ-13 情報処理実習室	情報処理実習Ⅰ-15 情報処理実習室								
【選択】哲学-14/倫理 学入門-14 501/703	【選択】哲学-15/倫理 学入門-15 501/703								

6月24日	7月1日	7月8日	7月15日	7月22日	7月29日	8月5日	8月12日	8月19日	8月26日
細胞生物学Ⅰ-27 501	細胞生物学Ⅰ-29 501		定期試験(予定)	定期試験(予定)					
細胞生物学Ⅰ-28 501	細胞生物学Ⅰ-30 501								
SciEnglishⅠ-12 501	SciEnglishⅠ-14 501								
SciEnglishⅠ-13 501	SciEnglishⅠ-15 501								
基礎物理学-30 501	基礎物理学-31 501								

6月25日	7月2日	7月9日	7月16日	7月23日	7月30日	8月6日	8月13日	8月20日	8月27日
解剖学総論-12 501	解剖学総論-14 501		定期試験(予定)	海の日					
解剖学総論-13 501	解剖学総論-15 501								
医療工学-15 501	医療工学-16 501								
【選択】 比較文化論-12/ラフコ- スの社会学-12 501/601	【選択】 比較文化論-14/ラフコ- スの社会学-14 501/601								
【選択】 比較文化論-13/ラフコ- スの社会学-13 501/601	【選択】 比較文化論-15/ラフコ- スの社会学-15 501/601								

6月26日	7月3日	7月10日	7月17日	7月24日	7月31日	8月7日	8月14日	8月21日	8月28日
		定期試験(予定)	定期試験(予定)	スポーツの日					
現代文明論-13 501	医・口腔医学 概論-15 501								
キャリアデザイン/ 地域医療-13	キャリアデザイン/ 地域医療-14								
	キャリアデザイン/ 地域医療-15								

哲学【講義】

科目番号 OD012001

前期：15コマ

評価責任者：永嶋哲也

担当教員：永嶋哲也

（一般目標）

物事を自分自身で正しく考えることができるような教養ある歯科医師となるために、一般教養科目の根源である哲学が取り扱ってきたさまざまな問題を知り、物事を根本から論理的に考察する過程をたどることによって、人間という存在の全体について自分自身で考える。

（教育方法）

板書中心の講義形式。

（学習方法）

授業を集中して聴く。

教科書は指定しないので、予習は指定のキーワードについて内容をネット等で調べ、自分自身で考察し自説を考えておく。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

定期試験（80％） 平常評価（20％）〔授業出席状況、受講態度、ノート提出、および授業内ミニレポートによる〕
提出をしたノート、ミニレポートは、コメント（フィードバック）が記され、次回もしくは次々回の講義時に返却される。

（教科書）

使用せず。授業において適宜プリントが詳細資料として配布される。

（参考書）

野矢茂樹『哲学の謎』講談社現代新書、1996（対話形式のわかりやすい言葉遣いで哲学の問題を紹介した入門書）
村松茂美ほか『はじめて学ぶ西洋思想 一思想家たちとの対話』ミネルヴァ書房、2005（さまざまな哲学者とその思想をコンパクトに紹介した哲学史の教科書）
そのほか講義の中で適宜紹介される。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/14	永嶋哲也	ユニット1 イントロダクション	哲学とはどういう学問か理解する	哲学がどのように始まったか述べる	I-9	認知（解釈）	キーワード「愛する、知る」	1.0
2	4/14	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「ある」「存在する」が持つ哲学上の問題点を説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「ある、存在する」	1.0
3	4/21	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「ある」「存在する」という表現のさまざまな意味を理解し区別する	I-8	認知（解釈）	キーワード「硬さがある、関係がある」	1.0
4	4/21	永嶋哲也	ユニット2 存在の謎	「ある」「存在する」とはどういうことか考える	「存在する」にかかわる哲学的意味を説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「欠席者がいる、神がいる、命がある」	1.0
5	4/28	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	実体と働きの区別を用いて心の存在にかかわる諸問題を整理する	I-8	認知（解釈）	キーワード「心がある」	1.0
6	4/28	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	他者の痛みについて原理的な議論をする	II-2	認知（解釈）	キーワード「他人の痛みがわかる」	1.0
7	5/12	永嶋哲也	ユニット3 心の存在の謎	こころの「存在」について考える	心に関する機能主義について説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「機能主義」	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
8	5/12	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	こころは「脳である」と言えるかどうか説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「心脳同一説」	1.0
9	5/19	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	機械もこころを持てるかの原理的可能性について説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「人工知能」	1.0
10	5/26	永嶋哲也	ユニット4 心の働きの謎	こころの非物体性について考える	人間の認識について、プログラムによる出力との異同から説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「特異点、アラン・チューリング」	1.0
11	6/2	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	動作・振舞いと区別される行為について意味を説明する	II-1	認知（解釈）	キーワード「行動主義」	1.0
12	6/9	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	意志について「意図的・自覚的」という側面から説明する	II-1	認知（解釈）	キーワード「行為論」	1.0
13	6/16	永嶋哲也	ユニット5 意志と行為の謎	自由意志を行為との関連で考える	他者の意志について人間以外の動物との比較から説明する	II-2	認知（解釈）	キーワード「物理主義、決定論」	1.0
14	6/23	永嶋哲也	ユニット6 因果と自由の謎	自由意志を因果連鎖との関連で考える	因果連鎖による決定論を物理法則と確率論との関連から説明する	I-8	認知（解釈）	キーワード「ラプラスのデーモン」	1.0
15	6/30	永嶋哲也	ユニット6 因果と自由の謎	自由意志を因果連鎖との関連で考える	因果連鎖による決定論を否定して意志の自由を擁護する	II-1	認知（解釈）	キーワード「自由意志」	1.0

倫理学入門【講義】

科目番号 0D012002

前期：15コマ

評価責任者：学生部長 永嶋哲也

担当教員：後藤 真理子

（一般目標）

現代社会でわれわれが直面する問題には、多くの場合「正解」が存在しない。死刑は廃止されるべきか否か。安楽死や尊厳死は認めるべきか否か。皆さんが立派な歯科医師に、ひいては成熟した大人になるためには、上記のような倫理的問題について「自分で考える」ことができるようになる必要がある。

倫理学は、こういった正解のない問題について延々と考え続けてきた学問である。倫理学を学ぶことによって、われわれは正解のない問題を考えるための「道具」を持つことができるようになる。入門編である本講義は、正解のない問題について自分で考えるための準備として、様々な道具とその使い方を学ぶ。

本講義の前半では、具体例を通じて倫理的問題とはいかなるものかを学ぶ。さらに、倫理学が「何でないか」を解説することで倫理の根拠を学ぶ。後半では、倫理的問題について自分で考えるための道具となる3つの思想とその問題点を解説する。また、最後に発展的内容としてメタ倫理という分野について学ぶ。

（教育方法）

講義。スライドと配布資料を用いながら解説を行う。

（学習方法）

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクションペーパーを、授業終了時に提出すること。（リアクションペーパーの提出が出席要件。）【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

レポート：50% 授業出席・授業態度：50% （評価方法についての詳細は第1回の講義で説明する。）

（教科書）

指定しない。毎回の講義で扱うレジュメを配布する。

（参考書）

児玉聡・なつたか、（2013）、『マンガで学ぶ生命倫理』、京都、化学同人。
加藤尚武、（1997）、『現代倫理学入門』、東京、講談社。
その他の参考文献については、講義中に適宜紹介する。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/14	後藤	【ユニット1】イントロダクション	本講義の全体像と目的を理解する。	①イントロダクション 本講義の全体像と目的を理解し、「倫理」や「道徳」等の言葉を説明する。	I-7	認知（想起）	「倫理」「道徳」という言葉についての説明を考える	1.0
2	4/14	後藤	【ユニット2】ケーススタディ	「倫理的問題」とはいかなるものかを理解する。	②ケーススタディ1 安楽死と尊厳死にまつわる問題を説明する。	I-6	認知（問題解決）	安楽死と尊厳死について調べ、自分の考えをまとめる	1.0
3	4/21	後藤	【ユニット2】ケーススタディ	「倫理的問題」とはいかなるものかを理解する。	③ケーススタディ2 死刑制度にまつわる問題を説明する。	I-6	認知（問題解決）	死刑制度について、自分の考えをまとめる	1.0
4	4/21	後藤	【ユニット3】倫理の根拠	倫理学が何でないかを理解する。	④「みんなちがって、みんないい」のか？ 文化的相対主義を説明する。	II-2	認知（解釈）	文化的相対主義について調べる	1.0
5	4/28	後藤	【ユニット3】倫理の根拠	倫理学が何でないかを理解する。	⑤「イヤなものはイヤだ」倫理的主観主義を説明する。	II-2	認知（解釈）	倫理的主観主義について調べる	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6	4/28	後藤	【ユニット3】 倫理の根拠	倫理学が何でないかを理解する。	⑥倫理は宗教に基づくか倫理と宗教の関係を説明する。	I-5	認知（解釈）	倫理と宗教の関係について調べる	1.0
7	5/12	後藤	【ユニット3】 倫理の根拠	倫理学が何でないかを理解する。	⑦「自分さえよければいい」はなぜダメなのか 心理学的利己主義と倫理的利己主義を説明する。	I-6	認知（解釈）	心理学的利己主義と倫理的利己主義について調べる	1.0
8	5/12	後藤	【ユニット4】 功利主義	功利主義の考え方式と問題点を理解する。	⑧できるだけみんなが幸せになる方がいい ベンタムとミルの功利主義を説明する。	I-9	認知（解釈）	ベンタムとミルの功利主義について調べる	1.0
9	5/19	後藤	【ユニット4】 功利主義	功利主義の考え方式と問題点を理解する。	⑨「みんな」とは誰か？ 功利主義の問題点を説明する。	I-7	認知（解釈）	功利主義の問題点について調べる	1.0
10	5/26	後藤	【ユニット5】 義務論	義務論の考え方式と問題点を理解する。	⑩義務に従わなければならない カントの義務論を説明する。	I-8	認知（解釈）	カントの義務論について調べる	1.0
11	6/2	後藤	【ユニット5】 義務論	義務論の考え方式と問題点を理解する。	⑪嘘をつくことは絶対に許されないのだろうか？ 義務論の問題点を説明する。	I-4	認知（解釈）	義務論の問題点について調べる	1.0
12	6/9	後藤	【ユニット6】 徳倫理	徳倫理の考え方式と問題点を理解する。	⑫性格の重要性 プラトンとアリストテレスの徳倫理を説明する。	I-4	認知（解釈）	プラトンとアリストテレスの徳倫理について調べる	1.0
13	6/16	後藤	【ユニット6】 徳倫理	徳倫理の考え方式と問題点を理解する。	⑬性格の競合 徳倫理の問題点を説明する。	II-1	認知（解釈）	徳倫理の問題点について調べる	1.0
14	6/23	後藤	【ユニット7】 メタ倫理	メタ倫理の考え方式を理解する。	⑭そもそも正しさは客観的に存在しているのか？ メタ倫理の考え方式を説明する。	II-1	認知（解釈）	メタ倫理的観点について調べる	1.0
15	6/30	後藤	【ユニット8】 全体の復習	本講義で学んできたことの理解度を確認する。	⑮「自分で考える」ということ再考 倫理的問題を考えるため、講義で学んだ武器をどう用いるかを説明する。また、レポートの書き方について説明する。	I-8	認知（解釈）	これまでの学習内容で倫理的問題を考え、自分の意見をまとめる	1.0

ライフコースの社会学 【講義】

科目番号 OD072008

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、埴岡 隆

担当教員：土井 文博

（一般目標）

人間は社会的な存在だと言われる。人間が社会を作り、その社会によって人間が作られる。医療従事者として人と接する上で、医療的な技術だけでなく、人とのコミュニケーション能力が求められるが、この授業では、コミュニケーションと自我、社会生活と価値の特性に焦点を当てながら、人間の特性を学び、コミュニケーションに必要な知識と思考を身につける。

（教育方法）

講義（講義ノート・VTR・PC）

（学習方法）

事前学習としては、講義ノートを予習し、事前に内容を把握しておくこと。授業ではコメントの提出が求められるため、授業時間内にコメントを書けるようにしておくこと。また、事後学習としては、授業で理解できなかった点を文献などを使って復習しておくこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

基本的にはレポートのみ（100%）。ただし、授業内で提出されるコメントは、次の授業で紹介された頻度に応じて、レポート評価に加算される可能性がある。総合評価を掲示する。

（教科書）

なし

（参考書）

作田啓一・井上俊 編『命題コレクション社会学』1986年、筑摩書房 / 井上俊・大村英昭 編著『改訂版 社会学入門』1993年、日本放送出版協会

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/16	土井	導入&自我の社会性	社会と人間の関わりと、人間がいかに環境の影響を受けるかを学び、自我の形成のあり方を理解する。	G. H. クーリーとG. H. ミードの理論による、鏡の作用と自我の社会性について説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
2	4/23	土井	ラベリング論	ラベリングがもたらす怖さと社会生活のしくみを理解する。	H. ベッカーのラベリング論を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
3	4/30	土井	ダブル・バインド	人間のコミュニケーションの複雑さを理解する。	G. ベイトソンのダブル・バインド理論から、コミュニケーションの病理と非言語的要素を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
4	5/7	土井	受け手としての人間の特性	人間がメッセージを受け取る際の特性と難しさを理解する。	現象学的社会学の知見をもとに、社会的知覚というフィルターが存在を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
5	5/14	土井	送り手としての人間の特性	人間がメッセージを送る際の特性と難しさを理解する。	E. ゴッフマンの演劇論と相互行為儀礼論より、人がメッセージを送る工夫や役割について説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6	5/21	土井	フロイト	人間の心の中で起こる葛藤から、心のバランス、人と社会のバランスの大切さを理解する。	S.フロイトの精神構造の理論を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
7	5/28	土井	ピアジェ	人間関係のあり方が道徳にどのように影響するかを理解する。	J.ピアジェの理論から、道徳の発達の方を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
8	6/4	土井	自由からの逃走	人間が陥る集団の危険性を理解する。	E.フロムの理論から、権威主義的パーソナリティなどを説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
9	6/11	土井	犯罪の定義	社会における犯罪の定義や役割について理解する。	E.デュルケムの集合意識論から、犯罪の定義について説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
10	6/18	土井	価値の定義	社会における価値の定義や、人々が価値を追い求める姿について理解する。	E.デュルケムの集合意識論から、社会における価値のあり方について説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
11	6/18	土井	宗教生活の原初形態&自殺論	社会生活における宗教性と自殺の潮流について理解する。	E.デュルケムの宗教生活の原初形態と自殺論について説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
12	6/25	土井	大衆文化という名の宗教	大衆文化の中にある宗教性について学び、他人指向型や誇示的消費に走る人々の姿を理解する。	リースマンとヴェブレンの研究を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
13	6/25	土井	メディアによって作られる幻想	メディアの特性を学び、メディアが作る幻想の危険性を理解する。	リップマンとブーアスティンの研究を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
14	7/2	土井	メディア・リテラシー	メディアの技法と影響を学び、メディアに踊らされる危険性を理解する。	メディアにおける、映像、音声、編集の特性について紹介し、メディア・リテラシー教育の重要性を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0
15	7/2	土井	まとめ	社会的動物としての特性を総合的に再確認する。	これまでの授業内容を総括し、あらためて、社会生活における人間の特性を説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	講義ノートを事前に読み、分からない言葉などを調べておく。	1.0

比較文化論 【講義】

科目番号 OD072011

前期：15コマ

評価責任者：壬生正博

担当教員：壬生正博

矢羽田朋子

（一般目標）

今日の医療従事者には、医療技術を支え、医療コミュニケーションを円滑にし、医療従事者自身のQOLを高めるための広範な知識や考え方が求められている。それらを遂行するためのひとつの切り口として、比較論的な視点を持つことがあげられる。この視点は、医療環境の国際化、医療の国際協力など、国際的な視点を養い、他国の文化についての見識を高めることにも繋がるが、さらに、異領域相互の比較を行うことで、諸問題の本質的理解力が増すことにもなる。この授業ではそのような視点から、現代文化の比較にとどまらず、歴史的な文化背景（神話や伝説なども含めて）の比較や異領域比較をも講義の対象として、多くの実例を参照しながら、視野を広げ、自ら文化間の諸問題を探し出し、自己学習によってそれを考察し解決する力を身につけることを目標とする。

（教育方法）

講義のほか、比較文化の理解を深める目的でDVD、CD、文芸作品等を適宜使用する。
既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。

（グループワーク）

（学習方法）

授業前後に、自国文化と他国文化の類似点・相違点を考え、疑問点があれば各自で調べること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：掲示により成績通知

（教科書）

プリントを配布する。

（参考書）

青木保『多文化理解』岩波新書、2003年。
久保田信之『ここが違う東西比較文化論』学分社、2006。
三苫民雄『人びとのかたちー比較文化論』ふくろう出版、2011。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/16	矢羽田	ユニット1 旅する文化 （1）	比較文化の意義を理解する。外国の文化や習慣について理解する。	自国や他国の文化事象を調べ、比較することによって比較文化の意義を評価する。	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
2	4/23	矢羽田	ユニット2 旅する文化 （2）	外国の文化・習慣やコミュニケーションの方法等について理解する。	教員が提示した文化上の問題点についてグループ討議する。	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
3	4/30	矢羽田	ユニット3 日中（韓）の靈魂観について	日・中・韓の文化の根底にある歴史的な背景を理解する。	海外の映画の背後にある文化の特徴を推論する	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
4	5/7	矢羽田	ユニット4 日中（韓）の死生観について	日・中・韓の文化を中心に生命観や自然界のとらえ方の根底にある歴史的な背景を理解する。	映像や講義を通して外国文化と自国文化との生活習慣やコミュニケーションの方法について相違点や類似点を類別し、それを基にグループ討議することで諸文化の普遍性や個性を判断する。	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
5	5/14	矢羽田	ユニット5 中国の「怖い」ハナシ	自国文化と異文化を比べて類似点や相違点を調べる	他国の文化の特徴を比較する	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
6	5/21	矢羽田	ユニット6 中国の若者の日本文化受容について （1）	中国の若者における日本文化の受け入れかたについて理解する。（1）	他国の文化のコミュニケーションについて述べる	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	5/28	矢羽田	ユニット7 中国の若者の 日本文化受容 について (2)	中国の若者における 日本文化の受け入れ かたについて理解す る。(2)	コミュニケーションにつ いて理解を深め、自国と他 国との医療上の考え方 や取り組みの違いを具 体的に述べる。	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
8	6/4	壬生	ユニット8 日本人および 日本文化の ルーツにつ いて考える	日本人と日本文化の ルーツについて理解 する。	日本文化とヨーロッパ 文化における神話や伝 説について比較して類 似点や相違点を列挙し 、グループ討議等を通 じて、諸文化の歴史的 な精神構造について調 べる。	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
9	6/11	壬生	ユニット9 現代の日本に 生きる縄文の 意識	日本文化の基層とな っている縄文の文化 を理解する。	医療に役立つコミュニ ケーションを推論する	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
10	6/18	壬生	ユニット10 ギリシア思想 の背景と基礎 知識	西欧文化の基層とな っているギリシア思 想について理解する。	日本文化とヨーロッパ 文化における生命観や 自然界のとらえ方につ いて調べ、グループ討 議等を通じて、外国文 化と自国文化の背景に ある相違点や類似点を 考察し理解を深める。	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
11	6/18	壬生	ユニット11 ギリシア神話 における世界 と人間の捉え 方	ギリシア神話におけ る人間や世界の成り 立ちについて理解す る。	ヨーロッパ文化の民 族的特徴を調べる	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
12	6/25	壬生	ユニット12 旧約聖書にお ける世界と人 間の捉え方	キリスト今日の旧約 聖書における世界創 世の特徴を理解する。	日本とヨーロッパの人 々の行動原理について 推論する	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
13	6/25	壬生	ユニット13 北欧（アイス ランド）神話 の基礎知識	北欧神話における人 間と世界の捉え方を 理解する。	文化間の神話について 比較する	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
14	7/2	壬生	ユニット14 日本神話にお ける世界と人 間の捉え方	古事記における日本 の誕生から日本文化 の基本思想を理解す る。	自国文化について調 べる	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0
15	7/2	壬生	ユニット15 現代社会に生 きる歴史的思 想	現代社会において歴 史的な思想がどのよう に生きているかを理 解する。	自国文化と異文化の 過去と現在の関連性 について調べる	VI-1	認知（想起）	諸文化についてシラバ スに挙げた参考書等 を読んで理解と知識を 深め問題点等を探し ておく	1.0

福博の歴史と文化探訪 【講義】

科目番号 OD072012

前期：15コマ

評価責任者：永井 淳

担当教員：永井 淳、川口 稔（歯科医療工学講座・材料工学分野）
志村宗恭（裏千家茶道教室教授）、
梅田泰隆（東林寺住職）、
十五代亀井味楽（高取焼味楽窯）、
高山英朗（福岡市博物館学芸課）、
田村邦明（宮崎宮宮司）、
中村啓太郎（福岡市経済観光文化局文化財部鴻臚館跡整備係長）、
原田昌行（原田織物社長）、
平山晶生（紅葉山八幡宮宮司）、
宮川由衣（西南学院大学博物館学芸研究員）

（一般目標）

福岡・博多の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から学び、地域について考えることを目的とした地域志向科目である。福博の地域の成り立ちに関わる歴史的背景や社会環境の特性を理解し、革新をもたらす、伝統を守ってきた先人の地域貢献への努力を学び、われわれが社会人としてどのような社会貢献をしていくかを考える姿勢を身につける。

（教育方法）

受講定員は20名程度で、講義および現地の見学（講話・説明）。現地見学の初回は必須。現地見学（2）～（4）のうち、2回以上の参加を単位修得の必須条件とする。

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（フィールドワーク）（実習・演習）

（学習方法）

予習・復習方法：各回の予習の項目について、インターネットや刊行物、図書などで調べておく。講義および現地見学後にレポートを作成する。作成したレポートにもとづいて、最終回の授業では、福博の文化と歴史についての理解をさらに深めるためにグループ単位のプレゼンテーションを行う。

レポートは最終回の授業終了時に一括してメールで提出する。成果物の作成等に要する授業外学習に必要な時間数の合計は15時間（900分）である。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

出席点（全出席した場合受講態度による加点制で30%を限度とする）、最終回の授業での所属グループの発表内容（20%）、発表スキル（20%）および提出されたレポート（30%）。出席点については現地見学中に、最終回授業での発表の内容とスキルに関するフィードバックは授業の最後にまとめてフィードバックを行なう。なお、出席しなかった講義および現地見学に対する成果物は評価の対象としない。

（教科書）

特に指定しない。図書館やインターネット等を活用し、事前の調査や予習が必要。

（参考書）

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/17	永井・志村	ユニット1 福博の歴史と文化に触れてみよう	福博の歴史と文化探訪の概要もしくは福岡・博多の歴史と文化を、遺跡・記念館・博物館などの資料にもとづいて理解する。	福博の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から考える。	V-2	認知（解釈）	博多・福岡の歴史や文化のキーワードを5つ選ぶとしたら何か、書き出しておく。	0.5

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
2 3 4 5	4/18 4/18 4/18 4/18	[2回] 中村・永井 [3回] 中村・永井 [4回] 高山・永井 [5回] 高山・永井	ユニット1 福博の歴史と文化に触れてみよう	福博の歴史と文化探訪の概要もしくは福岡・博多の歴史と文化を、遺跡・記念館・博物館などの資料にもとづいて理解する。	歴史・文化の研究法（材料と方法）について説明できる。	I-7	精神運動（自律部分・支援全体）	[2回] 鴻臚館跡遺跡展示館への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。 [3回] 福岡市政だより令和2年2月1日号「遺跡は語る」を読んで、遺跡から発見される遺物をもとにして人々の生活を復元するための研究方法について調べる。	2] 0.5 3] 0.5 4] 1.0 5] 0.5
					現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な聴講・学習態度をとる。	II-4	情意（自己対応）	[4回] 福岡市博物館のホームページから気になる地域（出生地・居住地・大学所在地など）の特集の広報誌を選んでダウンロードし、読んでみる。 [5回] 福岡市博物館のSNSを登録してみる。	
6	5/8	志村・川口・永井	ユニット2 福博の歴史と茶の文化	「茶」の文化を通じて福博の歴史を理解する。	茶の歴史・文化を学び、茶道のお点前を体験する。	VI-1	情意（自己対応）	お茶の木や抹茶の製法はいつ頃どのようにして日本に伝えられたか調べる。古代中国では皇帝しか飲めなかったお茶は、どんな病気に対する薬として珍重されていたか調べる。	1.5
					現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な聴講・学習態度をとる。	II-4	情意（自己対応）		
7 8 9 10	5/9 5/9 5/9 5/9	[7回] 田村・永井 [8回] 田村・永井 [9回] 永井 [10回] 永井	ユニット3 福博の歴史と文化を探索する	福博の文化を、様々な歴史的背景にもとづいて理解する。	留学僧や先端技術帰化人による外来文化の移入と受容を学ぶ。	I-8	認知（解釈）	[7回] 筥崎宮への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。 [8回] 神社参拝の作法、筥崎宮と豊臣秀吉、千利休との関わりを調べる。SNSに登録してみる。 [9回] 博多の食と文化の博物館（ハクハク）への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。 [10回] 食品製造における衛生安全管理について調べてみる。なぜ博多祇園山笠は700年以上続いているのかについて考えてみる。ブログを購読する。	7] 0.75 8] 0.25 9] 1.0 10] 0.5
					現地見学先で節度ある行動をとり、真摯な聴講・学習態度をとる。	II-4	情意（自己対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
11	5/16	[11回] 原田・永井	ユニット3 福博の歴史と文化を探访する	福博の文化を、様々な歴史的背景にもとづいて理解する。	伝統工芸文化の伝来と洗練の歴史、近世都市計画に従った町家での生活や福岡博多におけるキリスト教史を学習する。	I-9	認知（解釈）	[11回] 福岡商工会議所への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。 [12回] 福岡市政だより平成30年3月1日号「現在に息づく博多の伝統工芸～博多織七七周年～」、博多織協同組合のホームページにアクセスし、博多織の特徴や人気のある製品について調べてみる。 [13回] 西南学院大学博物館への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。 [14回] 同大建学史を調べる。元寇防塁の築造史を調べる。SNSに登録してみる。	[11] 0.75 [12] 0.5 [13] 1.0 [14] 0.5
12	5/16	[12回] 原田・永井							
13	5/16	[13回] 原田・永井							
14	5/16	[14回] 宮川・永井 [14回] 宮川・永井							
15	5/23	[15回] 梅田・永井	ユニット3 福博の歴史と文化を探访する	福博の文化を、様々な歴史的背景にもとづいて理解する。	黒田藩の歴史と茶の文化の伝統、高取焼の洗練の歴史を学ぶ。	II-3	認知（解釈）	[15回] 東林寺への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。東林寺と立花実山と茶道との関わりを調べる。 [16回] 紅葉八幡宮への交通（道順、利用交通機関、所要時間）を福岡市街地図、地理アプリなどを用いて調べる。同宮の拡張現実（AR）アプリをダウンロードしておく。 [17回] 高取焼味楽窯の歴史を調べる。 [18回] 茶道やおもてなしの心についての参考書になる出版物を調べておく。	[15] 0.75 [16] 0.75 [17] 0.5 [18] 1.0
16	5/23	[16回] 平山・永井							
17	5/23	[17回] 亀井・志村・永井							
18	5/23	[18回] 志村・永井							
19	6/8	川口・永井・志村	ユニット4 福博の歴史と文化をたどる	現地見学で得た知識や印象について話し合い、地域の課題解決の面から先人の業績や成果物について理解を深め、福博の歴史と文化を支えてきた人やものにフォーカスした構成でグループ発表を行なう。	福博の歴史と文化についてグループ単位で討論する。 先人による福博地域での課題解決について話し合う。 地域の課題解決について、グループ単位で発表する。 他グループの発表を真剣に聞き、討論に参加する。	I-8 II-3 II-4 II-2	認知（解釈） 精神運動（支援部分） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体）	博多・福岡の歴史や文化のキーワードを5つ書き出し、最初に書いたのと比較する。印象が変わったとしたら、何を見学して何を知ったためか、考えておく。	2.25

スポーツⅠ 【実習】

科目番号 OD011022

前期：15コマ

評価責任者：学生部長、埴岡 隆

担当教員：町田弘幸、古賀五月

（一般目標）

健康管理の方法としてのスポーツ技術を身につけるとともに、創造性・強固性・多様性など、円滑なコミュニケーションに必要な方法を、スポーツを通して理解し、身につける。

（教育方法）

実習

（実習・演習）

（学習方法）

毎回の授業を受ける前に体調管理について考え実践する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

平常（30%）服装違反 減点1 欠席 減点2 実技試験（70%）

評価後、評価結果を呈示する。

（教科書）

特になし

（参考書）

特になし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	5/18	町田・古賀	ユニット1 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	I-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
2	5/25	町田・古賀	ユニット2 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	I-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
3	5/25	町田・古賀	ユニット3 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	I-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	6/1	町田・古賀	ユニット4 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
5	6/1	町田・古賀	ユニット5 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
6	6/8	町田・古賀	ユニット6 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
7	6/8	町田・古賀	ユニット7 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
8	6/15	町田・古賀	ユニット8 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
9	6/15	町田・古賀	ユニット9 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
10	6/22	町田・古賀	ユニット10 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
11	6/22	町田・古賀	ユニット11 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
12	6/29	町田・古賀	ユニット12 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
13	6/29	町田・古賀	ユニット13 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
14	7/6	町田・古賀	ユニット14 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		
15	7/6	町田・古賀	ユニット15 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	挨拶をする。	Ⅱ-3	情意（模擬対人対応）	体調管理について考え実践する	1.0
					時間を守る。	Ⅰ-4	情意（模擬対人対応）		
					他者と協力して目的達成に寄与する。	Ⅱ-4	情意（実践状況対応）		
					おもいきり楽しむ。	Ⅲ-22	情意（自己対応）		

知的技法Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011016

前期：15コマ

評価責任者：学生部長

担当教員：松井貴英、小田一彦、後藤真理子

（一般目標）

大学では専門知識だけでなく、現代社会の様々な問題に対応するための「教養」を身につけることが求められる。この教養を獲得するための手法が「知的技法（アカデミック・スキルズ）」と呼ばれるものである。本講義ではノートを取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方（クリティカル・リーディング）等の知的技法を学ぶことにより、研究成果をまとめて発表することができるようになることを目指す。

（教育方法）

講義。板書・スライド・配布資料を用いながら解説を行う。また、適宜グループ・ワークを課す。
（グループワーク）（プレゼンテーション）

（学習方法）

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクション・ペーパーを授業終了後に提出すること。（リアクション・ペーパーの提出がなければ出席とみなさない）【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

平常点（授業への参加状況、授業内で課されるワークへの取り組みの状況およびその成果等、これらをもとに総合的に評価する）30%
学期末の研究発表70%
掲示により成績通知を行う。

（教科書）

指定しない。適宜、講義内容のレジュメ等を配布する。

（参考書）

佐藤望編集（2012）『アカデミック・スキルズ——大学生のための知的技法入門』第2版、東京、慶應義塾大学出版会。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/6	松井、小田、後藤	ユニット1 イントロダクション	「知」と「教養」について理解する	高校までの勉強と大学での勉強の相違点を説明する	I-9	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
2	4/13	松井、小田、後藤	ユニット1 イントロダクション	問いの重要性和その立て方を理解する	一般的な問いと学術的問いの違いを説明する。また、問いを実際に立ててみる。	I-8	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
3	4/20	松井、小田、後藤	ユニット2 ノートの取り方	大学の講義の特徴とノート・テイキングの重要性を理解する	授業や教員ごとのノート・テイキングの方法を説明する	I-7	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
4	4/27	松井、小田、後藤	ユニット2 ノートの取り方	ノート・テイキングの具体的方法を理解する	アカデミックなノート・テイキングを実際に行うことができるようになる	I-7	精神運動（自律部分・支援全体）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
5	5/11	松井、小田、後藤	ユニット3 情報収集の方法	文書資料の種類・特徴・利用法を理解する	アカデミックな作業において重視されるべき情報を説明する	I-8	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
6	5/18	松井、小田、後藤	ユニット3 情報収集の方法	資料検索の方法を理解する	資料を検索するステップを説明する	I-7	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	5/25	松井、小田、後藤	ユニット4 講義前半部のまとめ	講義前半部で学んだことの全体像を理解する	知的技法の内実を説明する。与えられた問いの検証に対して見通しを立ててみる	I-8	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
8	6/1	松井、小田、後藤	ユニット5 クリティカル・リーディング	本を読む際に必要な批判的・論理的思考の重要性を理解する	学問的な「批判」の意味を説明する	I-8	認知（解釈）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
9	6/8	松井、小田、後藤	ユニット5 クリティカル・リーディング	クリティカル・リーディングの具体的方法を理解する	クリティカル・リーディングを実践する	I-7	精神運動（支援部分）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
10	6/15	松井、小田、後藤	ユニット6 研究発表の準備	研究のアウトプットの方法を理解する	オリジナリティのある研究テーマを実際に決定する	I-8	精神運動（自律部分・支援全体）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
11	6/22	松井、小田、後藤	ユニット6 研究発表の準備	研究のアウトプットの方法を理解する	オリジナリティのある研究テーマを実際に決定する	I-8	精神運動（自律部分・支援全体）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
12	6/29	松井、小田、後藤	ユニット7 研究成果の発表	プレゼンテーションのやり方について理解する	プレゼンテーションの構造と注意事項を理解した上で、研究成果をまとめる	I-9	精神運動（自律部分・支援全体）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
13	6/29	松井、小田、後藤	ユニット8 プレゼンテーションの実践	プレゼンテーションの実践を通し、研究成果を他者に伝えることの重要性について理解する	それぞれのグループの研究成果をクラス内で発表する	II-3	精神運動（自律部分・支援全体）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	1.0
14 15	7/6 7/6	松井、小田、後藤	ユニット8 プレゼンテーションの実践	プレゼンテーションの実践を通し、研究成果を他者に伝えることの重要性について理解する	2時間連続の講義において、それぞれのグループの研究成果を全員へ向けて発表する	II-3	精神運動（自律部分・支援全体）	ノートの取り方や情報収集の方法、そして本の批判的な読み方等を学習する	14] 1.0 15] 1.0

情報処理実習Ⅰ【実習】

科目番号 OD011014

前期：15コマ

評価責任者：河本陽介

担当教員：河本陽介、嶋田香、佐藤平

（一般目標）

情報処理の基本的技術を身につけるために、パソコンとその基本操作、電子メールとインターネット、プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーション法、ワープロソフトを用いた文書作成と編集を学習する。

（教育方法）

プリントとパソコン（Windows）を使用した実習
（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

実習資料の該当箇所を目を通しておく。実習資料の内容に沿って、担当教員の進行指示通りに作業する。
なお、USBメモリを持っていくこと、および学生メールを使えるようにしておく（ログイン名とパスワードを確認してくる）こと。
【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

実習出席・実習態度・課題から総合的に評価する。
成績は総合判定を掲示する。

（教科書）

実習資料を配布する。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1 2 3	5/12 5/19 5/19	河本、嶋田、佐藤	ワープロソフトの基本操作	ワープロソフトを用いて日本語文書と英語文書を作成し、基本的なレイアウトの仕方について学ぶ。	文の入力、編集をする。 フォントの書式指定を行う。	I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前回の復習をする。	1-3] 1.0
4 5	5/26 5/26	河本、嶋田、佐藤	文書の作成法	文章中に作表や作図する方法を学ぶ。	作表機能を用いて、文中に表を作成する。 他文書からの図表等の貼り付けを行う。	I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前回の復習をする。	4-5] 1.0
6 7	6/2 6/2	河本、嶋田、佐藤	プレゼンテーションソフトの基本操作	プレゼンテーションソフトを用いて、発表に使用するスライドの作成法について学ぶ。	テキストスライドに見出し・本文を入力し、編集する。 図、イラストを挿入する。 スライドの挿入、移動、削除をする。 基本図形を組合せて図を描く。	I-7 I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前回の復習をする。	6-7] 1.0
8 9 10 11 12 13 14 15	6/9 6/9 6/16 6/16 6/23 6/23 6/30 6/30	河本、嶋田、佐藤	プレゼンテーションスライドの作成	プレゼンテーションの目的にあったスライド作成法について理解し、インパクトのある表現となるように工夫するとともに、画像処理の基礎を学ぶ。	スライドの構成を決め、プレゼンテーション用スライドを作成する。 完成したスライドでプレゼンテーションを行う。	I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前回の復習をする。	8-15] 1.0

基礎数学 【講義】

科目番号 OD011001

前期：15コマ

評価責任者：河本陽介

担当教員：河本陽介

（一般目標）

数学において基礎となる諸概念を理解することを目指して、微分積分などの解析学の基礎知識の獲得と応用力を涵養する。

（教育方法）

教科書、プリント（資料）を利用した板書、スライド形式の講義の組合せ、及び演習

（実習・演習）

（学習方法）

予習は特に必要ないがその分復習を重視し、講義後に教科書の該当箇所や配布したプリントをよく読んで、実際に問題を解くこと。特に次の講義日までに、講義でてきた定義を自分で説明できるようにしておくことと、講義中に出した問題やプリントの問題を解けるようにしておくことが最低限必要である。

分からなくなった場合は、何度でも前の内容に戻る。そのため高校の教科書も準備しておくことが望ましい。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験で評価する。

また成績には入れないが、理解度を把握するため定期的に演習を行い、理解度に応じて復習や解説をする。

（教科書）

石村園子著『やさしく学べる基礎数学 一線形代数・微分積分一』 共立出版

（参考書）

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/6	河本	関数	関数の概念を理解し、基本的な関数の諸性質を学ぶ。	関数やグラフの概念を理解し、グラフを利用して最大値・最小値を求める。	I-8	認知（想起）	特になし	1.0
2	4/13	河本	関数	関数の概念を理解し、基本的な関数の諸性質を学ぶ。	三角関数を定義し、性質を調べる。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					三角等式・三角不等式を解く。	I-8	認知（想起）		
3	4/17	河本	関数	関数の概念を理解し、基本的な関数の諸性質を学ぶ。	加法定理から倍角公式、和と積の公式を導く。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
4	4/20	河本	関数	関数の概念を理解し、基本的な関数の諸性質を学ぶ。	指数法則を学び、計算する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					指数関数の性質を調べる。	I-8	認知（想起）		
5	4/27	河本	関数	関数の概念を理解し、基本的な関数の諸性質を学ぶ。	対数を定義し、公式を導く。対数の計算をする。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					対数関数の性質を調べる。	I-8	認知（想起）		
6	5/1	河本	微分	微分とその応用を学ぶ。	微分・導関数を定義に従って求め、意味を理解する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					積・商の微分法や合成関数の微分法を用いて計算する。	I-8	認知（想起）		
7	5/8	河本	微分	微分とその応用を学ぶ。	指数関数や三角関数の微分公式を導く。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
8	5/15	河本	微分	微分とその応用を学ぶ。	基本的な関数の n 次導関数を求め、基本的な関数を多項式で近似する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					テイラー展開の公式を利用する。	I-8	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
9	5/22	河本	微分	微分とその応用を学ぶ。	微分を用いて関数の極値を求める。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					微分を用いて関数のグラフの概形を書く。	I-8	認知（想起）		
10	5/29	河本	演習及び解説					学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
11	6/5	河本	積分	積分とその応用を学ぶ。	原始関数と被積分関数の関係について説明する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					初等関数の不定積分を整理する。	I-8	認知（想起）		
12	6/12	河本	積分	積分とその応用を学ぶ。	置換積分や部分積分の公式を用いて不定積分を求める。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
13	6/12	河本	積分	積分とその応用を学ぶ。	区分求積法の考え方で図形の面積を計算する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					定積分の表すものを図説し、定積分の値を求める。	I-8	認知（想起）		
14	6/19	河本	積分	積分とその応用を学ぶ。	置換積分や部分積分を用いて定積分を計算する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					曲線で囲まれた図形の面積を計算する。	I-8	認知（想起）		
15	6/19	河本	演習及び解説					学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0

細胞生物学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011019

前期：30コマ
評価責任者：日高真純
担当教員：日高真純
藤兼亮輔

（一般目標）

生体は、それを構成する細胞から器官系統のレベルに至るまで、互いに情報を伝達し合うことにより統一され、個体としての機能を発揮している。本授業では生体の構成単位である細胞の概念、細胞及び細胞小器官の構造と機能、細胞を構成する成分の構造と機能、エネルギーの獲得、情報伝達などについて学習し、生命現象の基礎を理解する。

（教育方法）

教科書に基づいた板書、資料プリント、及びプロジェクター等を用いた解説、レポート作成、および演習問題（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

授業前に下記の「予習の項目」の該当箇所を読んで講義内容の全体像をつかむこと。また、授業後には該当箇所の図を説明できるように復習すること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 30.0 時間】

（評 価）

中間試験：40%、定期試験：60%、講義態度（レポート提出状況、出席状況等）も考慮する。
中間試験後に解説を行う。すべての試験答案と評価を開示して質問を受け付ける。

（教 科 書）

B. Alberts他著、中村桂子他監訳「Essential 細胞生物学」第4版、南江堂、2016

（参 考 書）

和田 勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」、第3版、羊土社、2015
（生物を習ったことのない学生でもわかるように図を入れてやさしく解説してある）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/8	[1回] 日高	ユニット1 細胞とは	細胞の概要を知る。	生物に共通するしくみについて説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[1回] 教科書の1～38頁	1] 1.0
2	4/8	[2回] 日高			原核生物と真核生物を比較し、その共通点と相違点を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[2回] 教科書の1～38頁	2] 1.0
					細胞小器官の構造と機能について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
3	4/14	[3回] 日高	ユニット2 細胞の化学成分	細胞内分子の構造と機能を理解する。	化学結合の種類を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[3回] 教科書の39～81頁	3] 1.0
4	4/15	[4回] 日高			細胞内の小分子の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[4回] 教科書の39～81頁	4] 1.0
					細胞内の巨大分子の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
5	4/15	[5回] 藤兼	ユニット3 エネルギー、触媒作用、生合成	生体内エネルギーの形と触媒作用のしくみを理解する。	化学反応のエネルギー変化について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[5回] 教科書の83～119頁	5] 1.0
6	4/21	[6回] 藤兼			酵素の構造と、酵素が化学反応を触媒するしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[6回] 教科書の83～119頁	6] 1.0
					活性運搬体の構造とエネルギーの受け渡しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
7	4/22	[7回] 藤兼	ユニット4 タンパク質の構造と機能	タンパク質の構造と機能を理解する。	タンパク質のなりたちと化学的構造を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[7回] 教科書の121～170頁	7] 1.0
8	4/22	[8回] 藤兼			生体内におけるタンパク質の機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[8回] 教科書の121～170頁	8] 1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
9	4/27	[9回] 日高	ユニット5 DNAと染色体	DNAの構造と遺伝情報の流れ（セントラルドグマ）を理解する。	DNAを構成するヌクレオチドと二重らせん構造を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[9回] 教科書の171～179頁	9] 1.0
10	5/13	[10回] 日高			DNAの相補的塩基対合を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[10回] 教科書の179～195頁	10] 1.0
11	5/13	[11回] 日高			遺伝情報がDNAに担われていることを示した実験について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[11回] 教科書の179～195頁、223～224頁	11] 1.0
					遺伝子とは何かを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					ヌクレオソーム、クロマチン構造、テロメア、セントロメアなどの染色体の構造を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					分子生物学のセントラルドグマとは何かを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
12	5/14	[12回] 日高	ユニット6 膜の構造	膜の構造と性質を理解する。	膜をつくる脂質二重層の成分や性質を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[12回] 教科書の359～382頁	12] 1.0
13	5/20	[13回] 日高			リン脂質の種類、構造や性質を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[13回] 教科書の359～382頁	13] 1.0
14	5/20	日高	中間試験（ユニット1～5）	ユニット1～5に関する知識習得を確認する。	ユニット1～5に関する演習問題を解く。	Ⅲ-1	認知（想起）	教科書の1～195頁、223～224頁、359～382頁	1.0
15	5/21	日高	中間試験（ユニット1～5）の復習	ユニット1～5に関する知識習得を確認する。	ユニット1～5に関する演習問題の復習をする。	Ⅲ-1	認知（想起）	教科書の1～195頁、223～224頁、359～382頁	1.0
16	5/27	[16回] 日高	ユニット7 膜を横切る輸送	輸送体タンパクによる膜を隔てた物質輸送のしくみ、および、イオンチャネルによる膜電位の発生、伝導のしくみを理解する。	細胞内液と細胞外液、細胞膜の物質透過性を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[16回] 教科書の383～418頁	16] 1.0
17	5/27	[17回] 日高			輸送体やチャネルによる膜を隔てた物質輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[17回] 教科書の383～418頁	17] 1.0
18	5/28	[18回] 日高			受動輸送と能動輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[18回] 教科書の383～418頁	18] 1.0
					細胞膜の選択的イオン透過性を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					イオンの平衡電位、静止膜電位の形成機序を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					イオンチャネル機構による活動電位の発生と伝達のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					細胞の興奮と機能の発現を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
19	6/3	[19回] 藤兼	ユニット8 細胞が食物からエネルギーを得るしくみ	食物の代謝によるエネルギー産生と備蓄のしくみを理解する。	食物の分解過程とエネルギー獲得の概要を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[19回] 教科書の419～445頁	19] 1.0
20	6/3	[20回] 藤兼			解糖による糖からのエネルギー取り出しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[20回] 教科書の419～445頁	20] 1.0
21	6/4	[21回] 藤兼			脂肪酸 β 酸化による脂肪酸からのエネルギーの取り出しのしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[21回] 教科書の419～445頁	21] 1.0
					クエン酸回路による糖と脂肪酸の完全酸化とエネルギー捕捉のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					グリコゲンや脂肪によるエネルギーの備蓄とその利用について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
22	6/10	[22回] 藤兼	ユニット9 ミトコンドリアと葉緑体におけるエネルギー生産	ミトコンドリアと葉緑体の構造と機能を理解する。	ミトコンドリアと葉緑体の構造について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[22回] 教科書の447～485頁	[22] 1.0
23	6/10	[23回] 藤兼			ミトコンドリアの酸化的リン酸化によるATP合成について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[23回] 教科書の447～485頁	[23] 1.0
24	6/11	[24回] 藤兼			電子伝達系とプロトンのくみ出しによるエネルギー変換のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[24回] 教科書の447～485頁	[24] 1.0
					光合成（明反応と暗反応）による糖合成におけるエネルギー変換のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
25	6/17	[25回] 日高	ユニット10 細胞内区画とタンパク質の輸送	輸送タンパク質の選別と小胞とゴルジ装置を用いた細胞内外輸送のしくみを理解する。	膜で囲まれた細胞小器官の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[25回] 教科書の487～523頁	[25] 1.0
26	6/17	[26回] 日高			シグナル配列によるタンパク質の選別のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[26回] 教科書の487～507頁	[26] 1.0
27	6/24	[27回] 日高			SRP受容体と小胞体シグナル配列を利用した粗面小胞体でのタンパク質成熟過程を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[27回] 教科書の507～523頁	[27] 1.0
					タンパク質の膜への組み込みのしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					小胞による細胞内輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					ゴルジ装置によるタンパク質の修飾と輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					エキソサイトーシスとエンドサイトーシスによる分子の輸送のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
28	6/24	[28回] 日高	ユニット11 細胞のシグナル伝達	細胞間のシグナル伝達における様々な受容体の構造と機能を理解する。	内分泌型、パラクリン型、神経型、接触型など細胞間シグナル伝達の様式を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[28回] 教科書の525～539頁	[28] 1.0
29	7/1	[29回] 日高			シグナル分子の種類と性質について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[29回] 教科書の525～539頁	[29] 1.0
30	7/1	[30回] 日高			細胞内受容体と細胞膜受容体の種類を列記する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[30回] 教科書の539～564頁	[30] 1.0
					細胞膜受容体の種類と働きを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					Gタンパク共役受容体と三量体Gタンパクの種類と機能について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					二次メッセンジャーの種類と、それらを介する情報伝達について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					受容体チロキナーゼとシグナルタンパク複合体について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					細胞内情報伝達系コミュニケーションについて説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		

基礎化学 【講義】

科目番号 OD011025

前期：30コマ

評価責任者：藤田 亜美

担当教員：藤田 亜美
石井 健士

（一般目標）

医学・口腔医学の基礎・専門科目を理解するために、生体を構成する原子や分子の性質、化学結合、物質量の取扱い、気体や溶液の性質、酸・塩基反応や酸化還元反応などの生体内で重要な化学反応および基礎有機化学について学習し、理解に必要な化学的な基礎知識を修得する。

（教育方法）

資料集、配布資料および板書を中心とした講義を行う。

（学習方法）

資料集・配布資料および板書を中心とした学習を基本とする。学習効果を高めるために、授業前には資料集や下記の参考書の関連部分を読んでおくこと。授業中は講義内容をまじめに聞き、板書をしっかりとノートすること。授業後は講義ノートをよく見直し、授業中に提示された問題や資料集に記載されている演習問題を必ず自分で解き、復習すること。資料集に発展問題がある場合は適宜学習し、総合的な理解を深める。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 30.0 時間】

（評価）

中間試験（3回）と定期試験の配点比率をほぼ3：7とし、総合的に判定する。
試験後、模範解答を掲示する。

（教科書）

特に指定しない。

（参考書）

- ①中村桂子・松原謙一監訳『Essential 細胞生物学（原書4版）』、南光堂
②上山 憲一、綱澤 進 著『バイオテクノロジーテキストシリーズ 化学』IBS出版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/14	藤田	ユニット1-1 原子の構造と性質（1）	原子の構造について説明できる。	混合物と純物質、単体と化合物を区別できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	[1回] 特に必要としない。	1] 0.0
2	4/14				原子の構造を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	[2回] 配布された資料の該当項目に目を通しておく。	2] 0.5
					原子番号、質量数、同位体について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					原子量、分子量、物質量について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					放射性元素について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
3	4/17	藤田	ユニット1-2 原子の構造と性質（2）	原子の電子配置について説明できる。	軌道への電子の入り方を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					電子配置の約束について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
4	4/17	藤田	ユニット1-3 原子の構造と性質（3）	原子の周期性について説明できる。	典型元素と遷移元素について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					イオン化エネルギー、電子親和力、電気陰性度について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
5	4/21	藤田	ユニット2-1 化学結合（1）	原子間の結合について説明できる。	イオン結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	5-6] 0.5
6	4/21				金属結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					共有結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					配位結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	4/28	藤田	ユニット2-2 化学結合（2）	分子間の結合について説明できる。	水素結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					ファンデルワールス力について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					分子間力について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
8	4/28	藤田	ユニット3-1 無機物質（1）	非金属の単体と化合物について説明できる。	希ガスとハロゲンの性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					酸素、硫黄、窒素、リンの性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					炭素とケイ素の性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
9	5/1	藤田	ユニット3-2 無機物質（2）	金属の単体と化合物について説明できる。	金属の性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					金属の酸化物の性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					塩類の性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
10	5/8	藤田、石井	中間試験1（ユニット1～3）	-	-	Ⅲ-1		配布された資料や講義ノートの該当項目を復習しておく。	5.5
11	5/12	藤田	ユニット4-1 気体の性質（1）	物質の様々な状態について説明できる。	物質の三態について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					沸点、融点について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
12	5/12	藤田	ユニット4-2 気体の性質（2）	気体の性質について説明できる。	気体の状態方程式について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					気体の分子量について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
13	5/15	藤田	ユニット5-1 溶液の性質（1）	溶液の性質について説明できる。	溶媒、溶質、溶液について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					個体、液体、気体の溶解度について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					希薄溶液の沸点、融点について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
14	5/19	藤田	ユニット5-1 溶液の性質（1）	溶液の性質について説明できる。	浸透圧について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					コロイドの性質、分類について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
15	5/19	藤田	ユニット5-2 溶液の性質（2）	溶液の濃度について説明できる。	パーセント濃度、モル濃度を計算できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					浸透圧濃度、当量濃度を計算できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
16	5/22	藤田	ユニット6-1 化学反応（1）	反応速度について説明できる。	反応速度について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					反応速度と濃度や温度との関係を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
17	5/26	藤田	ユニット6-2 化学反応（2）	化学平衡について説明できる。	化学平衡の法則について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	17-18] 0.5
18	5/26				平衡の移動について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
19	5/29	藤田	ユニット6-3 化学反応（3）	化学変化とエネルギーについて説明できる。	反応熱について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					熱化学方程式について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					ヘスの法則について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
20	6/2	藤田、石井	中間試験2（ユニット4～6）	-	-	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料や講義ノートの該当項目を復習しておく。	5.5

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
21	6/2	石井 健士	ユニット7 酸と塩基	酸と塩基について学ぶ。	酸性溶液と塩基性溶液の特徴の違いを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べおく	0.5
					アレニウスの定義、ブレンステッド・ローリーの定義、ルイスの定義の違いについて説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					酸、塩基の価数が何によって決まるかを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
22	6/5	石井 健士	ユニット7 酸と塩基	酸と塩基について学ぶ。	電離定数から酸と塩基の強さを予測できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べおく	0.5
					弱酸、弱塩基において電離平衡が起こる理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					塩基に対する共役酸、酸に対する共役塩基を定義することができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					多価の酸の電離平衡式を正しく書ける。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
23	6/9	石井 健士	ユニット7 酸と塩基	酸と塩基について学ぶ。	酸、塩基の強さが水素イオン濃度によって決まる理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べおく	0.5
					水のイオン積が示す純水の電離について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					pH値の定義を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					溶液のpH値から、溶液の性質（酸性、中性、塩基性）が予測できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					酸、塩基の濃度からpHを算出することができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
24	6/9	石井 健士	ユニット7 酸と塩基	酸と塩基について学ぶ。	酸と塩基の反応により中和反応が起こることを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べおく	0.5
					中和反応により溶液のpHが変化する理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					中和反応により生じる塩の化学式を予測できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					塩が水溶液中で加水分解した時に生じるイオンを予測できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					中和反応において水素イオンと水酸化物イオンが等量必要である理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					ある酸または塩基を中和する場合に、どれだけの塩基または酸が必要であるか算出できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					緩衝液がpH値の急激な変化を抑える理由について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					具体的な緩衝溶液の作用について例を挙げて説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
25	6/16	石井 健士	ユニット8 酸化と還元	酸化還元反応について学ぶ。	物質が酸化されるとはどういうことか、還元されるとはどういうことかを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べておく	0.5
					酸化還元の数3つ定義を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					反応により酸化された原子、還元された原子を示すことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					化学式中の原子の酸化数を示すことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					酸化還元反応において働く酸化剤、還元剤を示すことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
26	6/16	石井 健士	ユニット9 有機化学における化学結合	有機化合物の化学結合について学ぶ。	有機化合物を構成する主要な元素の種類を説明することができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べておく	0.5
					有機化合物が主に共有結合により形成されている理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					有機化合物に疎水性化合物が多い理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					炭素骨格の特徴について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
27	6/23	石井 健士	ユニット9 有機化学における化学結合	有機化合物の化学結合について学ぶ。	エネルギー準位と副エネルギー準位の違いを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べておく	0.5
					炭素元素が持つ原子価（結合の手の数）を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					有機化合物が巨大かつ複雑な構造になりえる理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					混成軌道がどの様に形成されるかを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					炭素間の多重結合がどの様に形成されるかを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					結合の飽和、不飽和を区別できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
28	6/23	石井 健士	ユニット9 有機化学における化学結合	有機化合物の化学結合について学ぶ。	共鳴構造が共鳴をおこす理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べておく	0.5
					パイ電子が非局在化を起こす理由について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					共鳴構造を持つ化合物を見分けることができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					共鳴により構造が安定化される理由を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
29	6/30	石井 健士	ユニット9 有機化学における化学結合	有機化合物の化学結合について学ぶ。	有機化合物を構造によって分類することができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料集の該当項目に目を通し、必要があればwebなどを利用して調べておく	0.5
					一般的な有機化合物の構造式が書ける。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					有機化合物が持つ官能基の種類を示すことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					様々な官能基の構造式が書ける。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					官能基の名称と、その官能基を持つ一般的な有機化合物の名称を示すことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
30	6/30	石井 健士	まとめ3（ユニット7～9）	ユニット7～9で学習した知識を再確認する。	ユニット6～8において学習した内容についての発展的な問題を解くことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料や講義ノートの該当項目を復習しておく	6.0

基礎物理学 【講義】

科目番号 OD011003

前期：31コマ

評価責任者：川口 稔

担当教員：川口 稔

（一般目標）

高等学校で物理学を十分に学ばなかった学生も含めて、もっとも初歩的な概念から初めて物理学の基礎的な構造を理解する。さらに自然科学の基礎としての物理学の基本的な法則や概念を学ぶ。

（教育方法）

教科書と主に板書による講義。いくつかの基本的な事象についての実験例示。基本的概念の理解度を問う小問演習。
（実習・演習）

（学習方法）

講義内容に該当する教科書の項目を、毎回事前に通読しておく。
講義内容に関連する演習問題プリントを配布するので、その問題を自ら解くことによって講義後の復習や習得知識の定着に努めること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 31.0 時間】

（評 価）

定期試験70%、中間テスト30%として、総合的に評価する。
必要に応じて不足している習得知識について個別説明を行い、今後の学習方法の改善に関して個々のフィードバックを行う。

（教 科 書）

原康夫著『第3版 物理学入門』学術図書出版社
（基本的な物理学の知識が習得できるようにわかりやすく解説されている。）

（参 考 書）

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/8	川口 稔	物理量の測定と単位	物理量の単位と誘導単位について理解する。	物理量を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の0章を通読しておく。	1.0
					物理量の単位を説明する。	I-7	認知（想起）		
2	4/9	川口 稔	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	電流の定義を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					クーロンの法則を説明する。	I-7	認知（想起）		
					電場と電位を説明する。	I-7	認知（想起）		
3	4/15	川口 稔	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	キャパシターを説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					電圧と抵抗を説明する。	I-7	認知（想起）		
					オームの法則を説明する。	I-7	認知（想起）		
4	4/15	川口 稔	運 動	位置、速度、加速度の定義とこれらの関係性について学び、直線運動や平面運動の記述方法を理解する。	直線運動における変位・速度・加速度の定義を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第1章を通読しておく。	1.0
					平均速度と瞬間速度、平均加速度と加速度の違いを説明する。	I-7	認知（想起）		
					等速直線運動・等加速度直線運動を説明する。	I-7	認知（想起）		
5	4/16	川口 稔	電荷と電流	電磁気学の基本を整理して理解する。（電荷と電流）	キルヒホッフの法則を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					電力と電力量を説明する。	I-7	認知（想起）		
					ジュール熱を説明する。	I-7	認知（想起）		
6	4/22	川口 稔	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	ガウスの法則を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					電磁誘導を説明する。	I-7	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	4/22	川口 稔	運 動	位置、速度、加速度の定義とこれら関係性について学び、直線運動や平面運動の記述方法を理解する。	自由落下・鉛直投げ上げを説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第1章を通読しておく。	1.0
					平面運動の変位・速度・加速度の定義を説明する。	I-7	認知（想起）		
					放物運動を説明する。	I-7	認知（想起）		
8	4/23	川口 稔	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	ファラデーの法則を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
9	4/30	川口 稔	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	自己誘導と相互誘導を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
10	4/30	川口 稔	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	運動の第一法則、第二法則、第三法則を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
					運動量・力積の定義を説明する。	I-7	認知（想起）		
					運動量と力積の関係を説明する。	I-7	認知（想起）		
					力の合成と分解を説明する。	I-7	認知（想起）		
11	5/7	川口 稔	電磁気学	電磁気学の基本を整理して理解する。（電磁気学）	電磁波について理解する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
12	5/7	川口 稔	圧 力	広がりのある連続した物体の力学について理解する。（圧力）	圧力とその単位を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第8章を通読しておく。	1.0
					浮力とアルキメデスの法則を説明する。	I-7	認知（想起）		
13	5/13	川口 稔	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	力のつり合いを説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第2章を通読しておく。	1.0
					運動方程式を説明する。	I-7	認知（想起）		
14	5/13	川口 稔	固体力学	広がりのある連続した物体の力学について理解する。（固体力学）	弾性変形と塑性変形を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
					応力とひずみの関係を説明する。	I-7	認知（想起）		
15	5/14	川口 稔	固体力学	広がりのある連続した物体の力学について理解する。（固体力学）	応力とひずみの関係を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第5章を通読しておく。	1.0
16	5/20	川口 稔	力と運動	ニュートンの運動の三法則、運動量の定義、力の種類について学び、質点や剛体の運動を運動方程式で解く方法を理解する。	重力・垂直抗力・張力・弾性力・摩擦力を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第3章を通読しておく。	1.0
					剛体の運動を説明する。	I-7	認知（想起）		
			仕事とエネルギー	仕事、エネルギーの定義とこれら関係性について学び、力学的エネルギー保存則を適用する方法を理解する。	仕事と仕事率の定義を説明する。	I-7	認知（想起）		
17	5/20	川口 稔	波 動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	波動の定義を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
					波の数学的表記法を説明する。	I-7	認知（想起）		
					波の干渉を説明する。	I-7	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
18	5/21	川口 稔	波 動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	音波の定義を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
					ドップラー効果を説明する。	I-7	認知（想起）		
19	5/27	川口 稔	仕事とエネルギー	仕事、エネルギーの定義とこれらの関係性について学び、力学的エネルギー保存則を適用する方法を理解する。	運動エネルギーとポテンシャルエネルギーを説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第3章を通読しておく。	1.0
					仕事と運動エネルギーの関係を説明する。	I-7	認知（想起）		
					保存力を説明する。	I-7	認知（想起）		
					力学的エネルギー保存則を説明する。	I-7	認知（想起）		
					エネルギー保存則を説明する。	I-7	認知（想起）		
20	5/27	川口 稔	波 動	波の定義と性質、音波の定義と諸現象、光波の定義と性質を理解する。	光波の定義を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第6章を通読しておく。	1.0
					光の回折、屈折、反射を説明する。	I-7	認知（想起）		
21	5/28	川口 稔	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	温度、熱量、比熱の定義を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
					物質の相変化を説明する。	I-7	認知（想起）		
22	6/3	川口 稔	周期運動	等速円運動、単振動の基本事項、減衰振動、強制振動について理解する。	等速円運動を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第4章を通読しておく。	1.0
					周期運動と周期を説明する。	I-7	認知（想起）		
23	6/3	川口 稔	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	熱力学の第一法則と第二法則を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
24	6/4	川口 稔	温度と熱	熱力学の諸法則を理解する。	熱機関を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第7章を通読しておく。	1.0
25	6/10	川口 稔	周期運動	等速円運動、単振動の基本事項、減衰振動、強制振動について理解する。	単振動を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第4章を通読しておく。	1.0
					減衰振動と強制振動を説明する。	I-7	認知（想起）		
26	6/10	川口 稔	確認演習	知識の定着を確認する。	これまでに学習した知識の定着を確認する。	I-7	認知（解釈）	これまでの学習内容を整理しておく。	1.0
27	6/11	川口 稔	原子物理学	原子の構造、光および電子の波動的性質と粒子的性質について学び、X線、レーザー、半導体の基本事項を理解する。	ニュートン物理学と現代物理学の違いを説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第10章を通読しておく。	1.0
					原子の構造を説明する。	I-7	認知（想起）		
					光の二重性を説明する。	I-7	認知（想起）		
					電子の二重性を説明する。	I-7	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
28	6/17	川口 稔	原子物理学	原子の構造、光および電子の波動的性質と粒子的性質について学び、X線、レーザー、半導体の基本事項を理解する。	原子の定常状態と線スペクトルを説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第10章を通読しておく。	1.0
					元素の周期律を説明する。	I-7	認知（想起）		
					絶縁体と半導体を説明する。	I-7	認知（想起）		
					レーザーの原理を説明する。	I-7	認知（想起）		
29	6/18	川口 稔	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	原子核の基本構造を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
					陽子と中性子を説明する。	I-7	認知（想起）		
					核エネルギーを説明する。	I-7	認知（想起）		
30	6/24	川口 稔	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	原子核の崩壊について説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
					原子力発電を説明する。	I-7	認知（想起）		
31	7/1	川口 稔	核物理学	原子の構造と原子核を構成する要素を理解する。	核反応式を説明する。	I-7	認知（想起）	教科書の第11章を通読しておく。	1.0
					半減期を説明する。	I-7	認知（想起）		
					放射能と被曝について説明する。	I-7	認知（想起）		

現代文明論 【講義】

科目番号 OD011002

前期：15コマ

評価責任者：埴岡 隆

担当教員：壬生正博、永嶋哲也、渡辺 猛、谷口奈央、島津 篤

（一般目標）

人類の文明・文化の意義を理解し、その歴史を形成する創造性と社会性との重要性を知り、変動期にある現代社会の諸問題に協力し合って取り組む姿勢を培うと共に、未来への対応すべき方向性を探る。

（教育方法）

学内外の各種分野の講師によるオムニバス形式の講義。必要に応じてプリントを配布し、スライド等も使用する。

（学習方法）

オムニバス形式による授業であるので、予習はインターネットで各講師の情報についてレポートにまとめる。復習は、授業中のメモをもとに、授業の内容をまとめて、次の講師の情報（上記）の内容とともに提出する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

毎回の小論文（70%）、出席状況（30%）、小論文へのコメントでフィードバックする。

（教 科 書）

オムニバス形式の授業のため教科書は用いない。当日配布の講義資料のみ。

（参 考 書）

当日配布の講義資料を参考とする。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/6	水田祥代 福岡学園・理事長	ユニット1 大学教育	大学の歴史と役割を学ぶ。	「大学の教育」を説明できる。	I-1	認知（解釈）	大学の教育	1.0
2	4/13	岩間 徹 西南学院大学・名誉教授	ユニット4 国際性	国際性、偏見や先入観にとらわれない広い視野を学ぶ。	「地球環境と法」を説明できる。	VI-1	認知（解釈）	地球環境と法	1.0
3	4/20	有馬 学 福岡市博物館長	ユニット2 文化的活動	学問や芸術や競技等の文化的活動、文化にまつわる歴史性や地方性を学ぶ。	「文化資源と地域社会」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	文化資源と地域社会	1.0
4	4/27	樋口勝規 福岡歯科大学客員教授	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「患者安全を目指した医療安全管理」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	患者安全を目指した医療安全管理	1.0
5	5/11	友枝敏雄 元大阪大学教授	ユニット2 文化的活動	学問や芸術や競技等の文化的活動、文化にまつわる歴史性や地方性を学ぶ。	「リスク社会を生きる若者たち～高校生の意識調査に見る保守化の趨勢～」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	リスク社会を生きる若者たち～高校生の意識調査に見る保守化の趨勢～	1.0
6	5/11	武内 和久 ONE・福岡株式会社代表取締役	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	未定2	I-6	認知（解釈）	未定	1.0
7	5/18	川端貴美子 福岡県歯科医師会専務理事	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	未定3	I-6	認知（解釈）	未定	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
8	5/25	円谷裕二 九州大学名誉教授	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「現代文明の危機」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	現代文明の危機	1.0
9	6/1	石瀬純子 薬剤師	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「薬害肝炎訴訟について」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	薬害肝炎訴訟について	1.0
10	6/5	松尾佳代 福岡医科大学医科歯科総合病院・看護師長	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「病院のチーム医療～看護師の立場から～」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	病院のチーム医療～看護師の立場から～	1.0
11	6/8	力武知嗣 力武 デザイン事務所代表	ユニット2 文化的活動	学問や芸術や競技等の文化的活動、文化にまつわる歴史性や地方性を学ぶ。	「技術イノベーションによる社会の変化～IT、人工知能、自動運転～」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	技術イノベーションによる社会の変化～IT、人工知能、自動運転～	1.0
12	6/15	十五代亀井 味楽	ユニット2 文化的活動	学問や芸術や競技等の文化的活動、文化にまつわる歴史性や地方性を学ぶ。	「守り伝える伝統技術とその進化」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	守り伝える伝統技術とその進化	1.0
13	6/26	大塚祐弥 鴻和法律事務所	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「医療現場における事故対応と紛争解決」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	医療現場における事故対応と紛争解決	1.0
14	6/29	前原 喜彦 公立学校共済組合九州中央病院病院長	ユニット5 現代医療	現代医療の方向性について学ぶ。	「医・歯・薬・看のこころ」を説明できる。	I-6	認知（解釈）	医・歯・薬・看のこころ	1.0
15	7/6	高次 美佳 福岡市身体障害者福祉協会・相談員	ユニット3 現代文明	現代文明の問題点を学ぶ。	「障がい者の福祉と人権」について説明できる。	I-6	認知（解釈）	障がい者の福祉と人権について	1.0

Scientific English I 【講義】

科目番号 OD011005

前期：15コマ

評価責任者： 壬生 正博

担当教員： 壬生 正博
井上 和子

（一般目標）

本講義の目標は、コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができるよう英語力を向上させることにある。英語は既に国際語として定着しており、医学、歯学を志す者にとって、最新の情報を得るためには英語の学習は必要不可欠である。本授業では、将来的にEBM（Evidence-Based Medicine）に繋がる英語力を向上させるために、科学、健康、医療等に関する最新のトピックを取り上げてる。

（教育方法）

基本的な生命科学英文を教材としての読解練習
既習事項の理解度を確認する中間テストなど
（グループワーク）

（学習方法）

テキストの情報を辞書等を利用して十分に理解し、その上で、comprehension, exercises等を解くこと。また、興味のある内容はインターネット等で事前に調べておくこと。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

出席、授業態度、中間テスト、定期試験等により総合評価する：試験後に成績揭示

（教科書）

Mysteries in Science (Nan'un-do)

英語の基本事項を復習しつつ、基礎的な科学英語や医療英語を論理的に理解し、医療人としての国際力涵養に有益である

（参考書）

Japanese-English dictionary、
English-Japanese dictionary

英語力の向上のため、各自に合った辞書を選定し使用すること（選定は学習者に一任）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/8	壬生 井上	ユニット1 Parasitic Butterflies and Their Host Ants	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit1)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
2	4/8	壬生 井上	ユニット2 Where Have All the Honeybees Gone?	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit2)	使用テキストの各課の確認問題等について各自で調べて、授業中に発表することによって授業に積極的に参加する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
3	4/15	壬生 井上	ユニット3 He or She?	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit3)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	4/22	壬生 井上	ユニット4 Brain Regeneration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit4)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
5	5/13	壬生 井上	ユニット5 Now You See it, Now You Don't: The Invisible Gorilla	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit5)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
6	5/20	壬生 井上	ユニット6 Be Careful of Paper-Cuts	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit6)	使用テキストの各課の確認問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
7	5/27	壬生 井上	ユニット7 Baby Corals Dance Their Way Home	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit7)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
8	6/3	壬生 井上	ユニット8 Monarch Butterfly Migration	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit8)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
9	6/10	壬生 井上	ユニット9 No Polar Bears in the Antarctic	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit9)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
10	6/17	壬生 井上	ユニット10 Wish Upon a Shooting Star	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit10)	使用テキストの各課の確認問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
11	6/17	壬生 井上	ユニット11 It's Not She Out There!	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit11)	本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
12	6/24	壬生 井上	ユニット12 Come Out, Come Out, Wherever You Are!	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit12)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
13	6/24	壬生 井上	ユニット13 Who Is The Smallest One of All?	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit13)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
14	7/1	壬生 井上	ユニット14 Missing Link: Tiktaalik	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit14)	新たに出てきた語彙を辞書等で調べ整理する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0
15	7/1	壬生 井上	ユニット15 The Bittersweet Battle with Cockroaches	1) 科学英語、医学英語等の基本的な表現を理解する。2) 種々の練習問題を通じて、本ユニットの内容をより深く認識する。3) 読解に役立つ基本的な語彙を身につける。 (unit15)	使用テキストの科学英語や医学英語の語彙や構造について辞書等を用いて精確に理解し、意味内容を解釈する。	VI-4	認知（想起）	1)使用テキストの本文を音読し理解しておく 2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく	1.0

解剖学総論 【講義】

科目番号 OD011103

前期：15コマ

評価責任者： 畠山雄次

担当教員： 児玉 淳、畠山 雄次、林 慶和

（一般目標）

人体の構造と機能を理解する上で最も基礎となる解剖学を、系統解剖学的に基本となる骨学、筋学、関節学、脈管学、神経学、内臓学の総論から修得していく。さらにヒトの構造を観察・理解、考察するために必要な解剖学用語（一般用語、人体についての用語：位置と方向、平面と線、人体の体部、人体の部位、歯科における方向用語）を身につけるとともに形態学の価値を理解し、口腔医学を学ぶための基礎を認識する。

（教育方法）

講義はシラバスに沿った板書・配布資料等を中心とした口述で行う。

（学習方法）

教科書や配布されるプリントを中心として解剖学の基本を理解する。

講義に欠かさず出席（4/5以上）し、予習は教科書の該当箇所を精読およびまとめること。また復習は配布されたプリントおよびノートを再度読み直しまとめること。

2回目以降の講義から、前回の講義内容の小テストを行う。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験（100%）

定期試験を受験するためには、講義回数4/5以上の出席が必要である。また、やむを得ない事由や定期試験において不合格となり、追再試験を受験する際には、欠席は認められていないので、注意すること。

小テストの試験終了後、直ちに内容について解説を行い、結果は次回の講義回までに講義教室へ掲示する。定期試験の解説・結果については試験終了後、公表可能な範囲で総評と合わせて行う。

理解が不十分な項目は、補講の開設・受講等により補う。

（教科書）

人体解剖学 改訂42版 藤田恒太郎 南江堂

口腔医学を学ぶために必要な人体の基本構造を簡潔にまとめている（1年から6年まで使用します）

（参考書）

1：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 医歯薬出版

2：森 於菟 他著「分担解剖学 1・2・3 第11版」金原出版 1992

3：グレイ解剖学 原著第4版（電子書籍付） エルゼビアジャパン

4：イラスト解剖学 松村譲児 中外医学社

5：口腔解剖学 第2版 医歯薬出版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/9	児玉	ユニット1 解剖学総論	解剖学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	人体の構成と解剖学用語を説明できる。 体の区分（頭、頸、体幹、上肢、下肢）と境界を示説することができる。	Ⅲ-2 Ⅲ-2	認知（想起） 認知（想起）	教科書第1章「解剖学用語」1-4ページ 教科書第9章「頭頸部の体表」89-93ページ	1.0
2	4/16	児玉	ユニット1 解剖学総論	解剖学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	方向用語（左右、上下、外・内側等）を説明できる。 基準平面（フランクフルト水平面等）について説明できる。	Ⅲ-2 Ⅲ-2	認知（想起） 認知（想起）	教科書第1章「解剖学用語」1-4ページ 教科書第9章「頭頸部の体表」89-93ページ	1.0
3	4/23	児玉	ユニット2 歯の解剖学総論	歯の解剖学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	歯の基本形態を説明できる。 歯種について説明できる。 歯および歯列の方向用語を説明する。	Ⅲ-6 Ⅲ-6 Ⅲ-6	認知（想起） 認知（想起） 認知（想起）	教科書第1章「解剖学用語」1-4ページ 教科書第9章「頭頸部の体表」89-93ページ	1.0
4	4/30	児玉	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の形態分類と種類が説明できる。 骨の基本的構造を説明する。 骨の表面形状とその機能について説明する。	Ⅲ-2 Ⅲ-2 Ⅲ-2	認知（想起） 認知（想起） 認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
5	5/7	児玉	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨の成長様式を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ 「関節学総論」31-36ページ	1.0
					骨の名称を列挙できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					骨の連結を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
6	5/14	児玉	ユニット3 骨学総論	骨学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	可動性・不動性の連結、線維性・軟骨性・滑膜性の連結を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ 「関節学総論」31-36ページ	1.0
					関節の形態分類、種類および構造を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
7	5/21	児玉	ユニット4 筋学総論	筋学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨格筋、内臓筋や筋の構造について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第3章「筋学総論」18-30ページ	1.0
					全身の代表的な骨格筋を列挙できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
8	5/28	児玉	ユニット4 筋学総論	筋学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	骨格筋の起始・停止を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第3章「筋学総論」18-30ページ	1.0
					骨格筋の運動用語（転、旋、回、拳上、下制、屈、伸）を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					骨格筋の支配神経について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
9	6/4	児玉	ユニット5 脈管学総論	脈管学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する	脈管系の命名法と主要な動脈、静脈を列挙できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第5章「脈管学総論」37-56ページ	1.0
					肺循環、体循環、リンパ循環について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
10	6/11	児玉	ユニット5 脈管学総論	脈管学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する	脈管系の命名法と主要な動脈、静脈を列挙できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第5章「脈管学総論」37-56ページ	1.0
11	6/18	児玉	ユニット6 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	神経系の成立と中枢神経系と末梢神経系の分類が説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第6章「神経学総論」57-69ページ	1.0
					神経単位（ニューロン）について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					大脳、間脳、中脳、小脳、橋、延髄について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
12	6/25	児玉	ユニット6 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	脳神経、脊髄神経、自律神経系（交感神経、副交感神経）について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第6章「神経学総論」57-69ページ	1.0
					一般体性運動性、一般体性感覚性、一般臓性運動性、一般臓性感覚性、特殊体性感覚性、特殊臓性運動性、特殊臓性運動性について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
13	6/25	児玉	ユニット6 神経学総論	神経学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	一般体性運動性、一般体性感覚性、一般臓性運動性、一般臓性感覚性、特殊体性感覚性、特殊臓性運動性、特殊臓性運動性について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第6章「神経学総論」57-69ページ	1.0
					中枢、末梢、灰白質、白質、野、核、節、伝導路等を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
14	7/2	林	ユニット7 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌器系に分類でき各臓器名を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第8章「内臓学総論」79-88ページ	1.0
					実質性の臓器、中空性の臓器の構造について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
15	7/2	畠山	ユニット7 内臓学総論	内臓学を学ぶ上で必要な用語と知識を理解する。	臓器が納められる体腔と間膜について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第8章「内臓学総論」79-88ページ	1.0
					各系統に属する臓器が必要とする血管系について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		

医療工学 【講義】

科目番号 OD011101

前期：16コマ

評価責任者：川口 稔

担当教員：川口 稔

（一般目標）

医歯学系の学生にとって重要な材料学の基本的な知識や考え方を学ぶ。また必須となる個体物性や臨床で使用する医療機器の原理などを学び、医歯学系科目に応用していくための準備をする。

（教育方法）

教科書および配布プリントを使用し、板書や液晶プロジェクターにより図表を掲示しながらの講義。

（学習方法）

授業前に下記教科書の該当部分を読んで予習しておく。また授業中に配布するプリントなどを基に授業後に教科書とノートを参考にし、復習する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験（100%）

必要に応じて不足している習得知識についての説明を行い、今後の学習方法などに関して改善方法を個別にフィードバックする。

（教科書）

中嶋 裕他監修『スタンダード歯科理工学第6版』、学建書院、2017

（後期の歯科理工学の教科書としても使用する）

（参考書）

原 康夫著『第3版 物理学入門』学術図書出版社（基礎物理学の教科書）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/9	川口 稔	ガイダンス、金属材料の基礎	金属材料の特徴を説明する。	金属材料の一般的な特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）	教科書「歯科材料概論」の「B歯科材料と生体材料」および「C歯科材料の用途別分類」を通読	1.0
			セラミック材料の基礎	セラミック材料の特徴を説明する。	セラミック材料の一般的な特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）		
			高分子材料の基礎	高分子材料の特徴を説明する。	高分子材料の一般的な特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）		
2	4/9	川口 稔	物質の構造	結晶の構造を説明する。	結晶の概念と結晶の構造を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「A物質の構造」を通読	1.0
			結晶と非晶質	結晶とガラスの違いを説明する。	結晶とガラスの違いから固体の構造と特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）		
			物質の結合状態	固体における化学結合の種類を説明する。	固体における化学結合の種類とその特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）		
3	4/16	川口 稔	セラミック材料の特徴	セラミック材料の特徴を理解する。	セラミックの成形方法（溶融と焼結）について説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「D無機材料」を通読	1.0
4	4/16	川口 稔	セラミック材料の特徴	セラミック材料の特徴を理解する。	アルミナとジルコニアの特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「D無機材料」を通読	1.0
5	4/23	川口 稔	セラミック材料の特徴	セラミック材料の特徴を理解する。	セラミックの生体内反応について説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「D無機材料」を通読	1.0
6	4/23	川口 稔	金属材料の特徴	金属材料の特徴を説明する。	純金属と合金の違いを説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「C金属材料」を通読	1.0
7	4/30	川口 稔	金属材料の特徴	金属材料の特徴を説明する。	二元系状態図を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「歯科用金属材料」の「B合金の状態図」を通読	1.0
8	5/7	川口 稔	金属材料の特徴	金属材料の特徴を説明する。	金属材料の加工硬化と熱処理を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「歯科用金属材料」の「C金属の形成加工」と「D熱処理」を通読	1.0
9	5/14	川口 稔	金属材料の特徴	金属材料の特徴を説明する。	金合金の種類と特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「E歯科用合金」を通読	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
10	5/21	川口 稔	高分子材料の特徴	高分子材料の特徴を説明する。	高分子の定義と重合反応を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「B有機高分子材料」を通読	1.0
					代表的な高分子の構造と性質を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）		
11	5/28	川口 稔	高分子材料の特徴	高分子材料の特徴を説明する。	生体材料としての高分子材料の特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）	教科書「材料の種類と構造」の「E複合材料」を通読	1.0
					複合材料の特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（解釈）		
12	6/4	川口 稔	歯科医療用材料と器械	歯科医療で用いる材料や器械の特徴を理解する。	医療用レーザーの種類と特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）	教科書「歯科用器械」の「治療用レーザー」を通読	1.0
13	6/11	川口 稔	歯科医療用材料と器械	歯科医療で用いる材料や器械の特徴を理解する。	医療用X線装置の原理と特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）	教科書「歯科用器械」の「画像診断装置」を通読	1.0
14	6/18	川口 稔	材料の加工	歯科治療における材料の成形加工を理解する。	鋳造による金属材料の成形加工法の特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）	教科書「鋳造用材料」の「A概要」を通読	1.0
15	6/25	川口 稔	材料の加工	歯科治療における材料の成形加工を理解する。	CAD/CAM法による修復物作製法の特徴を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）	教科書「歯科用器械」の「CAD/CAMシステム」を通読	1.0
16	7/2	川口 稔	材料の加工	歯科治療における材料の成形加工を理解する。	デジタル加工技術の応用例を説明する。	Ⅲ-21	認知（想起）	教科書「歯科用器械」の「CAD/CAMシステム」を通読	1.0

キャリアデザイン／地域医療(キャリア) 【演習】

科目番号 OD011202A

前期：6コマ

評価責任者： 渡辺 猛

渡辺 猛

永井 淳

内田竜司

担当教員： 内藤麻利江

築山鉄平（つきやま歯科医院専門医療センター）

中村弘江（ひろえ歯科医院）

尾崎正雄

（一般目標）

学習者が自身のキャリアを新規に設計できる知識・態度・技能を身につけるために、先輩諸氏のキャリアデザインと自己評価の実態を認識し、自身の現在の立ち位置とキャリアデザインの方針について考察する。

（教育方法）

講義、小グループ討論、プレゼン

（ディスカッション・ディベート）（実習・演習）

（学習方法）

予習方法：配付するプリントの中の「予習項目」について自分なりに考えて記入する。

復習方法：プリントの中の「ふりかえり項目」について自分なりに考えて記入する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 5.5 時間】

（評 価）

プリントの予習項目（10%）次の授業の冒頭で良い例を紹介する。

受講態度（10%）不良な態度を発見したらその場で指導する。

プリントのふりかえり項目（20%）次の授業の冒頭で良い例を紹介する。

（教 科 書・参考書）

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/13	渡辺、永井、内田	1 口腔歯学部 に在籍する目的	口腔歯学部 に在籍する目的を認識する。	自身の「口腔歯学部 に在籍する目的」を示す。 同級生の「口腔歯学部 に在籍する目的」と比較する。	I-9 II-2	情意（自己 対応） 認知（解 釈）	自身の「口腔歯学部 に在籍する目的」を考える。	0.5
2	4/20	内藤、渡辺、永井、内田	2 先輩の キャリアデザ イン	先輩のキャリア デザインについて認識する。	大学教員である先輩の 「大学での卒前・卒後の キャリアデザイン」を解釈する。 自身の「大学での卒前・ 卒後のキャリアデザイン」 に関する方針を示す。	II-2 I-9	認知（解 釈） 情意（自己 対応）	自身が「在学中に向上 したいこと」をテキスト に記入する。	1.0
3	4/28	築山、渡辺、永井、内田	2 先輩の キャリアデザ イン	先輩のキャリア デザインについて認識する。	勤務医である先輩の キャリアデザインを解釈 する。 自身の「勤務医としての キャリアデザイン」に関 する方針を示す。	II-2 I-9	認知（解 釈） 情意（自己 対応）	自身が「勤務医として 向上したいこと」をテキ ストに記入する。	1.0
4	5/1	中村、永井、内田	2 先輩の キャリアデザ イン	先輩のキャリア デザインについて認識する。	開業医である先輩の キャリアデザインを解釈 する。 自身の「開業医としての キャリアデザイン」に関 する方針を示す。	II-2 I-9	認知（解 釈） 情意（自己 対応）	自身が「開業後も向上 し続けたいこと」をテキ ストに記入する。	1.0
5	5/8	尾崎、内田、永井	2 先輩の キャリアデザ イン	先輩のキャリア デザインについて認識する。	研究者である先輩の キャリアデザインを解釈 する。 自身の「研究者としての キャリアデザイン」に関 する方針を示す	II-2 I-9	認知（解 釈） 情意（自己 対応）	自身が「研究したいこ と」をテキストに記入 する。	1.0
6	5/11	渡辺、永井、内田	3 自身の キャリアデザ イン	1年生として キャリアデザインを行 う意義を認識する。	同級生の「1年生とし てのキャリアデザイン」 を解釈する。 自身の「1年生として のキャリアデザイン」を 示す。	II-2 I-9	認知（解 釈） 情意（自己 対応）	自身の「1年生として のキャリアデザイン」を テキストに記入する。	1.0

キャリアデザイン／地域医療(地域) 【演習】

科目番号 0D011202B

前期：9コマ

評価責任者：永井 淳

内田竜司

担当教員：渡辺 猛

古野みはる（福岡医療短期大学・保健福祉学科）

（一般目標）

先輩諸先生のキャリアデザインに触れた前半に続き、後半では学習者が歯科医師として活躍する未来の地域社会と医療ニーズについての予測をもとに、2020年モデルの歯科医師のキャリア像を自ら新規に設計できる知識・態度・技能を身につける。

（教育方法）

講義、小グループ討論、グループワーク、プレゼンテーション、アクティブ・ブック・ダイアログ
（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

予習方法：受講前に予習の項目に書かれた課題をこなしておく。

復習方法：別途配布する印刷教材の中の「振り返り項目」についてレポートを作成する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 12.2 時間】

（評価）

受講態度についての観察記録：講義中はスマートフォン、タブレット端末を用いてインターネットから医療保健関連データのダウンロードを行うことがありますが、受講には必要のないサイトへのアクセス、動画視聴、ゲーム操作、私語、飲食などを確認した場合には、授業に集中するようにただちに勧告します。それでも改善が見られなかった場合には当該授業の出席から削除し、同時にそのことをフィードバックします。積極的に討論に参加している場合等には態度点を加算します。

予習復習で作成したレポートは適宜集め、採点后コメントを付記して返却します。フィードバックの時期は、夏休み明けを予定しています。

（教科書）

特に指定しない。授業で用いる研究論文や政府機関報告書等については、別途配布する印刷教材の中に掲載するとともにURLを表示する。

（参考書）

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	5/15	永井・内田	地域医療の現在と未来	日本が直面している少子高齢化について、地域の人口構成のデータにもとづいて理解し、地域の未来の医療ニーズを予測する。	調査対象地域を学習者の出生地・出身高校所在地・現住所に設定する。 調査対象地域の統計webサイトを検索し、アクセスする。 調査対象地域の最新の高齢化率を調べる。 高齢化率の定義を知り、調査対象地域の高齢化率の違いを実感できるか考えてみる。 調査対象地域の年齢別人口のデータを国勢調査データベースからダウンロードする。 調査対象地域（県）の原因疾患別の死亡率を読み取る。 調査対象地域（県）間での原因疾患別の死亡率の違いを比較する。 原因疾患別の死亡率の違いを地域の特性の違いに帰着させてよいかどうか考察する。 現在の認知症罹患率をもとに、未来の認知症患者数を推定する方法を考える。 スプレッドシートの自動計算機能を使って、人口構成の未来予測をする方法を考える。 未来の人口構成を推計してみる。	V-2 V-1 V-1 V-1 V-2 VI-4 V-2 V-2 V-2 V-2	認知（想起） 認知（解釈） 認知（想起） 認知（解釈） 認知（問題解決） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（問題解決） 認知（問題解決） 認知（問題解決）	出生地・出身高校所在地・現住所それぞれの小学校区、所属公民館、地域包括支援センターを調べる。	2.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
2	5/22	永井・渡辺・内田	地域医療と多職種連携	地域医療を構成する人的資源とその連携について理解する。	地域で連携する医療・保健・福祉の職種を理解する。	V-2	認知（想起）	歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度）の「医療・福祉系職種の概要と国家試験科目（pp. 60-85）」を見られるようにしておく。	2.0
					歯科医師の役割について理解する。	V-3	認知（想起）		
					医師の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					看護師の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					薬剤師の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					歯科衛生士の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					歯科技工士の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					管理栄養士の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					社会福祉士（ソーシャルワーカー）の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					医療ソーシャルワーカーの役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					介護支援専門員（ケアマネージャー）の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					介護福祉士の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					地域運営組織（自治協議会）の役割について理解する。	IV-17	認知（想起）		
					動画を視聴し、退院前カンファレンスでの職種間の連携を理解する。	IV-17	認知（解釈）		
					退院後の療養・生活支援に関する多職種連携の中での歯科医師や他の職種の果たす役割について討論する。	IV-17	認知（解釈）		
					動画を視聴し、「食べる」という行為の支援に関わる職種を考えてみる。	IV-17	認知（解釈）		
					食の支援に関する多職種連携の中での歯科医師や他の職種の果たす役割について討論する。	IV-17	認知（解釈）		
					高齢者のフレイル予防に公民館・住民自治組織が果たす役割について理解する。	IV-17	認知（解釈）		
3	5/22	永井・渡辺・内田	医療・介護の社会保障制度	医療保険・介護保険制度、診療の形態について理解する。	医療保険および介護保険制度の概要を理解する。	V-5	認知（想起）	自分の医療保険証（と、もし可能なら母子手帳）を持参する。	1.0
					外来診療と入院診療と訪問診療との違いを理解する。	V-2	認知（想起）		
			地域における予防医学	地域における健康増進とヘルスプロモーションにもとづいた予防医学の取組みを理解する。	ヘルスプロモーションについて理解する。	Ⅲ-22	認知（想起）		
					地域での健康増進の取組みについて理解する。	Ⅲ-22	認知（想起）		
					ヘルスリテラシーについて理解する。	Ⅲ-22	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	6/5	永井・渡辺・内田	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの概念と、構成施設や組織を理解する。	地域包括ケアシステムの目的や構成を理解する。 医療資源と介護資源を理解する。 病院の種類と目的について理解する。 介護施設の種類と目的について理解する。 医療資源・福祉資源の意味を理解する。 地域の医療資源マップを作成するために必要なデータを理解する。 徒歩圏内に不足している資源を検討する方法を理解する。 調べている地域の地域医療構想を比較し、地域によって違う理由について考えてみる。 地域における介護予防事業のあり方について理解する。	V-1 V-1 V-3 V-3 V-2 V-2 V-2 V-2	認知（想起） 認知（想起） 認知（想起） 認知（想起） 認知（想起） 認知（解釈） 精神運動（自律部分・支援全体） 認知（問題解決） 認知（解釈）	「福岡市地域包括ケアアクションプラン2018～2020」を用意する。	1.5
5 6	6/19 6/19	永井・渡辺・内田	生活習慣とリスク	生活習慣とリスクについて理解し、医療に関連した人文・社会科学領域の著作物を通して患者・家族の心情に共感する。	いわゆる生活習慣病を列挙し、日本人の死因との関連を理解する。 いわゆる「闘病記」から、当事者または介助者の心情を共感的に読み取る。	V-1 V-1	認知（想起） 認知（想起）	アクティブ・ブック・ダイアローグのやり方を調べておく。	5] 1.5 6] 0.0
7	6/26	永井・渡辺・内田	地域社会と健康（認知症の症状）	認知症介護を主題としたドキュメンタリー映像を観て、認知症の症状について理解する。	高齢者のフレイルについて理解する。 教材ビデオを観て、元気な高齢者の暮らしについて想像してみる。 高齢者が要支援・要介護となる原因疾患について理解する。 ビデオを視聴し、認知症の中核症状およびBPSD（行動・心理症状）を理解する。 家族が行っている生活支援をビデオから読み取る。	V-1 I-9 V-1 V-1	認知（解釈） 認知（解釈） 認知（想起） 認知（解釈） 認知（解釈）	YouTubeで公開されている「映画『徘徊ママリン87歳の夏』予告編」を観ておく。	1.0
8	7/3	古野・永井・渡辺・内田	地域社会と健康（認知症の診断・治療・当事者や介護家族との接し方）	認知症の診断・治療、当事者や介護家族との接し方について理解する。	認知症の人が安心して暮らせるまちづくりについて考える。 認知症になっても安心のまちづくりのために必要なものについて討論する。 調べている地域の地域包括ケアシステムで歯科医師が果たす役割について考える。	II-1 V-5 V-3	情意（模擬対人対応） 認知（想起） 精神運動（支援部分）	認知症当事者や介護者に対して、今日からすぐにできる支援について考えてみる。	2.0
9	7/3	永井・渡辺・内田	未来の地域医療に貢献するキャリアのデザイン	未来の地域医療に貢献する歯科医師のキャリアをデザインする。	多職種連携の中で歯科医師の果たす役割について討論する。 討論を踏まえて、未来の地域社会に貢献できる自分のキャリアをデザインしてみる。 同級生のキャリアモデルについての意見を傾聴して討論する。	II-3 I-6 II-2	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	地域医療の現状や未来の想像をもとに、キャリアデザインでロールモデルとした先輩がもし歯科大1年生だったらどんな歯科医師を目指そうとするか、考えてみる。	2.0

医・口腔医学概論【演習】

科目番号 OD011301

前期：15コマ

評価責任者：埴岡 隆、谷口省吾、池邊哲郎、

担当教員：関係講座・分野・診療科教員

（一般目標）

1. 医療人としての自覚と口腔医学の概念を学ぶ。
2. 学部・病院の体験を通じ、将来指導的立場にたつ者となる自覚を強めるとともに口腔医学に係る課題を理解する。

（教育方法）

講義、病院、学部見学

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

あらかじめ、福岡歯科大学および医科歯科総合病院の講座・分野・診療科をホームページで把握し、授業後にレポート・ポートフォリオを作成する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

出席、講義毎のレポート、見学体験講座・分野・診療科毎のポートフォリオによる評価を行い、評価されたレポート、ポートフォリオを返却する。

（教科書）

なし

（参考書）

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/13	小島	ユニット1 口腔医学総論	口腔医学の歴史と学問体系を理解する。	口腔医学の概念を説明できる。	I-1	認知（想起）	口腔医学の概念、医学史	1.0
					医学・歯学史を説明できる。	I-1	認知（想起）		
2	4/17	坂上、阿南、吉永	ユニット2 口腔医学各論1	歯科診療中の保存治療を概説できる。	保存歯科治療の概略を説明できる。	I-1	認知（想起）	保存治療の役割	1.0
					歯周病治療の概略を説明できる。	I-1	認知（想起）		
3	4/20	山野、古村	ユニット2 口腔医学各論2	口腔疾患に関連する医科疾患の重要性を理解する。	歯科に関わる耳鼻咽喉科の意義を概説できる。	I-1	認知（想起）	耳鼻咽喉科学、皮膚科学の役割	1.0
					歯科に関わる皮膚科の意義を概説できる。	I-1	認知（想起）		
4	4/27	松浦、都築、城戸	ユニット2 口腔医学各論3	歯科診療中の補綴治療を概説できる。	補綴歯科治療の概略を説明できる。	I-1	認知（想起）	補綴治療、インプラント治療の役割	1.0
5	5/1	大星、池田	ユニット2 口腔医学各論4	歯学部で臨床医学を学習する理由を理解する。	医学の中の内科学の意義を概説できる。	I-1	認知（想起）	内科治療、外科治療の役割	1.0
					医学の中の外科学の意義を概説できる。	I-1	認知（想起）		
6	5/8	畠山、稲井、橋本	ユニット2 口腔医学各論5	歯学部で形態系基礎医学を学習する理由を理解する。	歯学における形態系基礎医学（解剖学・組織学・病理学）の意義を説明できる。	I-1	認知（想起）	形態系基礎医学（解剖学・組織学・病理学）の内容	1.0
7	5/11	八田、藤田、岡部、日高	ユニット2 口腔医学各論6	歯学部で機能系基礎医学を学習する理由を理解する。	歯学における機能系基礎医学（生理学・生化学・薬理学・分子生物学）の意義を説明できる。	I-1	認知（想起）	機能系基礎医学（生理学・生化学・薬理学・分子生物学）の内容	1.0
8	5/15	永嶋、金光、壬生	ユニット2 口腔医学各論7	医療人における人格の涵養および教養の意義を理解する。	心身医学の概念を説明できる。	I-1	認知（想起）	心身医学、医療倫理、英語の学習内容	1.0
					医療倫理学・人文科学の意義を説明できる。	I-1	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
9	5/18	永井、森田	ユニット2 口腔医学各論 8	人口減少社会における医療介護福祉の問題点を理解する。	地域医療における歯科の重要性を説明できる。	I-1	認知（想起）	人口減少社会における医療の問題点	1.0
10	5/22	平田、大野	ユニット2 口腔医学各論 9	研究マインドとは何か説明できる。	歯科医師の研究心・探求心と生涯学習の意義を説明できる。	I-1	認知（想起）	基礎科学が医療に貢献する例	1.0
11	5/29	埴岡、池邊、谷口	ユニット2 口腔医学各論 10	医・口腔医学の内容を説明し、口腔歯学部学生としての自覚を認識できる。	医・口腔医学の内容と意義を説明できる。	I-1	認知（想起）	総論・各論知識の確認（客観試験）および病院での臨床の現場や研究室での研究（オリエンテーション）	1.0
12	6/5	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。 ①	I-1	認知（解釈）	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
13	6/12	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。 ②	I-1	認知（解釈）	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
14	6/19	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。 ③	I-1	認知（解釈）	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0
15	7/3	関係教員	ユニット3 口腔医学実地	臨床や基礎医学研究の現場を認識する。	病院での臨床の現場や研究室での研究を見学してその概要や感想を報告できる。 ④	I-1	認知（解釈）	病院での臨床の現場や研究室での研究	1.0

後 期

令和2年度 授業時間割表 【第1学年】

(後期)

1年生		20	25	25	15	25	20	25	25	25	20	25
月曜日	時間	8月31日	9月7日	9月14日	9月21日	9月28日	10月5日	10月12日	10月19日	10月26日	11月2日	11月9日
1限目	(9:00-10:20)				敬老の日							
2限目	(10:35-11:55)			細胞生物学Ⅱ-3 501		細胞生物学Ⅱ-6 501	細胞生物学Ⅱ-8 501	課題解決演習Ⅰ-1 501	細胞生物学Ⅱ-10 501	細胞生物学Ⅱ-12 501	細胞生物学Ⅱ-14 501	細胞生物学Ⅱ-16 501
3限目	(13:00-14:20)		ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-1 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-2 501・503・504・803		ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-3 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-4 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-5 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-6 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-7 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-8 501・503・504・803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ-9 501・503・504・803
4限目	(14:35-15:55)		知的技法Ⅱ-1 501/502/503	知的技法Ⅱ-2 501/502/503		知的技法Ⅱ-3 501/502/503	知的技法Ⅱ-4 501/502/503	知的技法Ⅱ-5 501/502/503	知的技法Ⅱ-6 501/502/503	知的技法Ⅱ-7 501/502/503	知的技法Ⅱ-8 501/502/503	知的技法Ⅱ-9 501/502/503
5限目	(16:10-17:30)		異文化理解-2 501	異文化理解-4 501		異文化理解-6 501	異文化理解-8 501	異文化理解-9 501				

1年生												
火曜日	時間	9月1日	9月8日	9月15日	9月22日	9月29日	10月6日	10月13日	10月20日	10月27日	11月3日	11月10日
1限目	(9:00-10:20)	基本操作法実習-1 702		一般数学-2 501	秋分の日	一般数学-4 501	一般数学-6 501	異文化理解-10 501	異文化理解-12 501	異文化理解-13 501	文化の日	異文化理解-14 501
2限目	(10:35-11:55)	基本操作法実習-2 702	一般数学-1 501	一般数学-3 501		一般数学-5 501	一般数学-7 501	課題解決演習Ⅰ-2/介護施設体験実習-7	課題解決演習Ⅰ-5/介護施設体験実習-7	課題解決演習Ⅰ-8/介護施設体験実習-7		課題解決演習Ⅰ-11/介護施設体験実習-7
3限目	(13:00-14:20)	基本操作法実習-3 702	基本操作法実習-6 702	基本操作法実習-9 702		基本操作法実習-12 702	基本操作法実習-15 702	課題解決演習Ⅰ-3/介護施設体験実習-8	課題解決演習Ⅰ-6/介護施設体験実習-8	課題解決演習Ⅰ-9/介護施設体験実習-8		課題解決演習Ⅰ-12/介護施設体験実習-8
4限目	(14:35-15:55)	基本操作法実習-4 702	基本操作法実習-7 702	基本操作法実習-10 702		基本操作法実習-13 702	基本操作法実習-16 702	課題解決演習Ⅰ-4/介護施設体験実習-9	課題解決演習Ⅰ-7/介護施設体験実習-9	課題解決演習Ⅰ-10/介護施設体験実習-9		課題解決演習Ⅰ-13/介護施設体験実習-9
5限目	(16:10-17:30)	基本操作法実習-5 702	基本操作法実習-8 702	基本操作法実習-11 702		基本操作法実習-14 702	基本操作法実習-17 702					

1年生												
水曜日	時間	9月2日	9月9日	9月16日	9月23日	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日
1限目	(9:00-10:20)	スポーツⅡ-1 体育館	スポーツⅡ-2 体育館	スポーツⅡ-3 体育館	スポーツⅡ-4 体育館	スポーツⅡ-5 体育館	スポーツⅡ-6 体育館	スポーツⅡ-7 体育館	スポーツⅡ-8 体育館	スポーツⅡ-9 体育館	スポーツⅡ-10 体育館	スポーツⅡ-11 体育館
2限目	(10:35-11:55)	歯科理工学Ⅰ-1 501	歯科理工学Ⅰ-2 501	歯科理工学Ⅰ-3 501	歯科理工学Ⅰ-4 501	歯科理工学Ⅰ-5 501	歯科理工学Ⅰ-6 501	歯科理工学Ⅰ-7 501	歯科理工学Ⅰ-9 501	歯科理工学Ⅰ-11 501	歯科理工学Ⅰ-13 501	歯科理工学Ⅰ-14 501
3限目	(13:00-14:20)	PracticalEnglishⅠ-1 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-2 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-3 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-4 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-5 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-6 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-7 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-8 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-9 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-10 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ-11 501/503/703/803
4限目	(14:35-15:55)	人文科学-1 501	人文科学-2 501	人文科学-3 501	人文科学-4 501	人文科学-5 501	人文科学-6 501	人文科学-7 501	人文科学-8 501	人文科学-9 501	人文科学-10 501	人文科学-11 501
5限目	(16:10-17:30)											

1年生												
木曜日	時間	9月3日	9月10日	9月17日	9月24日	10月1日	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日
1限目	(9:00-10:20)	生理学Ⅰ-1 501	生理学Ⅰ-2 501	生理学Ⅰ-3 501	生理学Ⅰ-4 501	生理学Ⅰ-5 501	献体者 慰霊祭	生理学Ⅰ-6 501	生理学Ⅰ-7 501	生理学Ⅰ-8 501	生理学Ⅰ-9 501	生理学Ⅰ-10 501
2限目	(10:35-11:55)	細胞生物学Ⅱ-1 501	細胞生物学Ⅱ-2 501	細胞生物学Ⅱ-4 501	細胞生物学Ⅱ-5 501	細胞生物学Ⅱ-7 501		細胞生物学Ⅱ-9 501	細胞生物学Ⅱ-11 501	細胞生物学Ⅱ-13 501	細胞生物学Ⅱ-15 501	細胞生物学Ⅱ-17 501
3限目	(13:00-14:20)	commtr-1 502	commtr-2 502	commtr-3 502	commtr-4 502	commtr-5 502		commtr-6 502	commtr-7 502	commtr-8 502	commtr-9 502	commtr-10 502
4限目	(14:35-15:55)	系統解剖学Ⅰ-1 501	系統解剖学Ⅰ-2 501	系統解剖学Ⅰ-3 501	系統解剖学Ⅰ-4 501	系統解剖学Ⅰ-5 501		系統解剖学Ⅰ-6 501	系統解剖学Ⅰ-7 501	系統解剖学Ⅰ-8 501	系統解剖学Ⅰ-9 501	系統解剖学Ⅰ-10 501
5限目	(16:10-17:30)	【選択】論理学・日本語 表現法-7/心理学入門-3 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-7/心理学入門-3 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-3/心理学入門-3 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-4/心理学入門-4 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-5/心理学入門-5 501/503		【選択】論理学・日本語 表現法-6/心理学入門-6 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-7/心理学入門-7 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-8/心理学入門-8 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-9/心理学入門-9 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-10/心理学入門-10 501/503

1年生												
金曜日	時間	9月4日	9月11日	9月18日	9月25日	10月2日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日
1限目	(9:00-10:20)		細胞化学-2 501	細胞化学-4 501	細胞化学-6 501		細胞化学-8 501	細胞化学-10 501	細胞化学-11 501	細胞化学-12 501		細胞化学-14 501
2限目	(10:35-11:55)	細胞化学-1 501	細胞化学-3 501	細胞化学-5 501	細胞化学-7 501		細胞化学-9 501	歯科理工学Ⅰ-8 501	歯科理工学Ⅰ-10 501	歯科理工学Ⅰ-12 501	細胞化学-13 501	細胞化学-15 501
3限目	(13:00-14:20)	異文化理解-1 501	異文化理解-3 501	異文化理解-5 501	介護施設体験実習-1	異文化理解-7 501	介護施設体験実習-4	異文化理解-11 501				
4限目	(14:35-15:55)	経済学-1 501	経済学-3 501	経済学-5 501	介護施設体験実習-2	経済学-7 501	介護施設体験実習-5	経済学-9 501	経済学-11 501	経済学-13 501	経済学-15 501	
5限目	(16:10-17:30)	経済学-2 501	経済学-4 501	経済学-6 501	介護施設体験実習-3	経済学-8 501	介護施設体験実習-6	経済学-10 501	経済学-12 501	経済学-14 501		

25	20	25	25	25	5					
11月16日	11月23日	11月30日	12月7日	12月14日	12月21日	12月28日	1月4日	1月11日	1月18日	1月25日
	勤労感謝の日							成人の日		
細胞生物学Ⅱ-18 501		細胞生物学Ⅱ-21 501	細胞生物学Ⅱ-23 501	細胞生物学Ⅱ-25 501						
ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ- 10 501-503-504-803		ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ- 11 501-503-504-803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ- 12 501-503-504-803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ- 13 501-503-504-803	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ- 14 501-503-504-803					
知的技法Ⅱ-10 501/502/503		知的技法Ⅱ-11 501/502/503	知的技法Ⅱ-12 501/502/503	知的技法Ⅱ-14 501/502/503	ドイツ語Ⅰ/中国語Ⅰ- 15 501-503-504-803		定期試験(予定)			
			知的技法Ⅱ-13 501/502/503	知的技法Ⅱ-15 501/502/503						
11月17日	11月24日	12月1日	12月8日	12月15日	12月22日	12月29日	1月5日	1月12日	1月19日	1月26日
異文化理解-15 501	一般数学-8 501	一般数学-10 501	一般数学-12 501	一般数学-14 501				定期試験(予定)		
課題解決演習Ⅰ-11/介 護施設体験実習-7	一般数学-9 501	一般数学-11 501	一般数学-13 501	一般数学-15 501						
課題解決演習Ⅰ-12/介 護施設体験実習-8	情報処理実習Ⅱ-1 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-4 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-7 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-10 情報処理実習室						
課題解決演習Ⅰ-13/介 護施設体験実習-9	情報処理実習Ⅱ-2 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-5 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-8 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-11 情報処理実習室						
	情報処理実習Ⅱ-3 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-6 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-9 情報処理実習室	情報処理実習Ⅱ-12 情報処理実習室						
11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	12月16日	12月23日	12月30日	1月6日	1月13日	1月20日	1月27日
スポーツⅡ-12 体育館	スポーツⅡ-13 体育館	スポーツⅡ-14 体育館	スポーツⅡ-15 体育館					定期試験(予定)		
歯科理工学Ⅰ-15 501	歯科理工学Ⅰ-16 501	歯科理工学Ⅰ-17 501	歯科理工学Ⅰ-18 501	歯科理工学Ⅰ-19 501						
PracticalEnglishⅠ- 12 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ- 13 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ- 14 501/503/703/803	PracticalEnglishⅠ- 15 501/503/703/803	情報処理実習Ⅱ-13 情報処理実習室						
人文科学-12 501	人文科学-13 501	人文科学-14 501	人文科学-15 501	情報処理実習Ⅱ-14 情報処理実習室						
				情報処理実習Ⅱ-15 情報処理実習室						
11月19日	11月26日	12月3日	12月10日	12月17日	12月24日	12月31日	1月7日	1月14日	1月21日	1月28日
生理学Ⅰ-11 501	生理学Ⅰ-12 501	生理学Ⅰ-13 501	生理学Ⅰ-14 501	生理学Ⅰ-15 501				定期試験(予定)		
細胞生物学Ⅱ-19 501	細胞生物学Ⅱ-20 501	細胞生物学Ⅱ-22 501	細胞生物学Ⅱ-24 501	細胞生物学Ⅱ-26 501						
commtr-11 502	commtr-12 502	commtr-13 502	commtr-14 502	commtr-15 502						
系統解剖学Ⅰ-11 501	系統解剖学Ⅰ-12 501	系統解剖学Ⅰ-13 501	系統解剖学Ⅰ-14 501	系統解剖学Ⅰ-15 501						
【選択】論理学・日本語 表現法-11/心理学入門- 11 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-12/心理学入門- 12 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-13/心理学入門- 13 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-14/心理学入門- 14 501/503	【選択】論理学・日本語 表現法-15/心理学入門- 15 501/503						
11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日	12月25日	1月1日	1月8日	1月15日	1月22日	1月29日
細胞化学-16 501	細胞化学-18 501		細胞化学-20 501					定期試験(予定)		
細胞化学-17 501	細胞化学-19 501		細胞化学-21 501	細胞化学-22 501						
課題解決演習Ⅰ- 14	介護施設体験実習-10	介護施設体験実習-13								
課題解決演習Ⅰ- 15	介護施設体験実習-11	介護施設体験実習-14								
	介護施設体験実習-12	介護施設体験実習-15								

ドイツ語Ⅰ 【講義】

科目番号 OD012005

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、壬生正博

担当教員：中島邦雄、長尾亮太郎

（一般目標）

EU最大の経済大国ドイツの公用語であるドイツ語は、ヨーロッパにおいて使用人口の最も多い言語であり、また、ドイツ本国のみならずスイス、オーストリア、ベルギー、ルクセンブルク、リヒテンシュタイン、東部フランス、北部イタリアなどの国や地域においても公用語・共通語となっている。本授業では、一年間の学習を通じてドイツ語の全般的な文法を理解し、使いこなす能力を磨く。新たな外国語との出会いは、新たな世界に触れる機会に他ならない。ドイツ語を知ることによって自分の世界が広がる瞬間を、是非、楽しみながら体感してほしい。具体的目標としては、来年の秋（11月）に実施される「ドイツ語検定」の「5級」に合格するための基礎的な力をつけることを掲げる。

（教育方法）

教科書、参考資料を利用した文法事項の説明し、その後練習問題を解くことで理解を深める。さらに、扱われた文法を用いた会話表現を練習することによって、正しいドイツ語の文法と発音を身につけることができるようにする。授業で出てきた単語や重要表現については、小テストを行い、知識を確実に習得してゆく。なお、小テストの出題範囲はあらかじめ指定する。

（プレゼンテーション）

（学習方法）

授業前後に、下記教科書『改訂版・やさしいドイツ語―総合教材―』の該当箇所を読み、CDを聞く。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

平常点50点、定期試験50点の合計で評価する。平常点は小テストないし宿題の合計点、定期試験の範囲は後学期学習全範囲とする。途中退席や教材を忘れるなど、授業に積極的に取り組む姿勢に欠ける場合は、平常点から減点される。：定期試験後に成績揭示

（教科書）

<必ず購入>平川要他著『改訂版・やさしいドイツ語―総合教材―』（同学社）

<必ず購入>根本道也編『やさしい！ドイツ語の学習辞典』（同学社）

（参考書）

<希望者に推薦> 高田・湯浅他 『独検5級 合格テクニック』（同学社）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/7	中島、長尾	オリエンテーション、アルファベット、Lektion 1: 簡単な挨拶、発音の原則 (1)、練習問題 1	ドイツの歌（流行歌）の特徴を知ること、ドイツ語に興味を持つ。ドイツ語の発音の基本を学ぶ。	授業のやり方を理解する。母音の発音練習では声をしっかり出す。	VI-1	認知（想起）	教科書6～10頁	1.0
2	9/14	中島、長尾	Lektion 1: Dialog 1、発音の原則 (1) 練習問題 2	日常の基本的な挨拶と会話を体得する。	発音練習では声をしっかり出すとともに、みんなの前でDialogを演じる。	VI-1	認知（想起）	教科書10頁	1.0
3	9/28	中島、長尾	Lektion 1: Dialog 2、発音の原則 (2) 練習問題 3	プライベートな場と公式な場とでは、挨拶が違う形になることを理解する。	練習問題では声をしっかり出すとともに、みんなの前でDialogを演じる。	VI-1	認知（想起）	教科書11頁	1.0
4	10/5	中島、長尾	Lektion 1: 国名、都市名、聞き取り練習	国名、ドイツ都市名の発音練習。ドイツの文化地理的説明。	ドイツ近隣の国やドイツの都市を正しく発音するとともに、ドイツの地理的状况に馴染む。	VI-1	認知（想起）	教科書12頁	1.0
5	10/12	中島、長尾	Lektion 2: Dialog 1、数詞、練習問題 1	自己紹介ができるようになるとともに、10までの数字を覚える。	みんなの前で、自分の名前、身分、出身、現住所、専攻について自己紹介をする	VI-1	認知（想起）	教科書13頁	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6	10/19	中島、長尾	Lektion 2: Dialog 2、名詞の性、定冠詞と不定冠詞（1格）、練習問題2, 3, 4	「それは本です」といった基本的な会話をするにも、名詞の性の知識が欠かせないことを理解する。	辞書を引いて、名詞の性を調べる。定冠詞と不定冠詞の意味と使用法の違いを理解する。	VI-1	認知（想起）	教科書14－15頁	1.0
7	10/26	中島、長尾	Lektion 2: 名詞の複数、練習問題5、ドイツの暦	名詞の複数形は、英語と違って9通りあることを理解し、辞書を引いて複数形が作れるようにする。	単数形と複数形は綴れるだけでなく、その違いがわかるようしっかりと発音する。	VI-1	認知（想起）	教科書15－16頁	1.0
8	11/2	中島、長尾	Lektion 3: 不定詞、定動詞、基本的な現在人称変化、疑問詞	主語に応じて動詞が語尾変化することを理解する。趣味などについて簡単な会話ができるようにする。	ドイツ語の9つの主語は今後の学習の出発点となるので、しっかり覚える。また、人称変化は書くだけでなく何度も口に出して覚える。	VI-1	認知（想起）	教科書17－18頁	1.0
9	11/9	中島、長尾	Lektion 3: 練習問題1, 2, 3	前回学んだ文法的な知識を練習問題を解くことによって活用できるようにする。	不定詞から定動詞を作るだけでなく、定動詞から不定詞を導き、辞書が引けるようにする。	VI-1	認知（想起）	教科書17－18, 20頁	1.0
10	11/16	中島、長尾	Lektion 3: 口調上の例外、練習問題3, 4	動詞の現在人称変化に口調上の例外があることを理解する。	日本語とドイツ語、英語とドイツ語の語順の似ているところと違いを確認する。	VI-1	認知（想起）	教科書19－20頁	1.0
11	11/30	中島、長尾	Lektion 3: 練習問題5、聞き取り練習	この課で学んだことの復習。他人の自己紹介を聞き取れるようにする。	独作文を行うことで、この課とこれまでや覚えてきた文法的知識全般を確認する。	VI-1	認知（想起）	教科書20頁	1.0
12	12/7	中島、長尾	Lektion 4: ドイツ語の語順、練習問題1, 2, 3	不定詞句の語順と、文における定動詞第1位と第2位を理解する。	ドイツ語と英語の語順の似ているところと違いを確認する。不定詞の語順は日本語に似ている。	VI-1	認知（想起）	教科書21－22頁	1.0
13	12/14	中島、長尾	Lektion 3: Dialog 1	ペアで役割を決め、先生の前でDialogを上演する。	文法的に理解したドイツ語を生きた会話の中で活用するために、Dialogを暗記する。	VI-1	認知（想起）	教科書17頁	1.0
14	12/21	中島、長尾	Lektion 4: 重要な不規則動詞	seinとhabenの現在人称変化を理解し、練習問題4で会話形式の文法的な練習を行う。	最も不規則でありながら、非常に重要な動詞なので、単に理解するだけでなくしっかりと暗記する。	VI-1	認知（想起）	教科書23頁	1.0
15	12/21	中島、長尾	文化地理（ドイツの年越し習俗の紹介）	クリスマスを通じてヨーロッパ文化の根底にある伝統的なゲルマン性とキリスト教を理解する	クリスマスソングの歌詞の意味を理解した上で、声を出して正しい発音で歌う。	VI-1	認知（想起）	教科書40頁：ドイツの祝祭日	1.0

中国語Ⅰ 【講義】

科目番号 OD012006

後期：15コマ

評価責任者：学生部長・壬生 正博

担当教員：種村 由季子

（一般目標）

①中国語の初歩的な文法を、指定の教科書を用いて学んでいきます。また教科書だけでなく視聴覚教材（中国語のドラマや音楽）を多く取り入れて、中国語を話したり聞き取る力を楽しくかつ実践的に身に付けます。②近年、訪日外国人の増加により、私たちは日常生活の中で外国の人々と知り合う機会に恵まれています。中国もその一つです。街中で中国人観光客に道を尋ねられたり、アルバイト先で中国人留学生と一緒に働いたりすることは今や決して珍しい事ではありません。本授業をきっかけに、中国の歴史や文化に興味・関心を持ち、中国の人々と積極的に交流し理解を深めたいと思う学生が増えれば幸いです。

（教育方法）

指定の教科書を中心に授業を進めます。また視聴覚教材を用いて、聞く・読む・話す・書く、4技能の力を定着させます。定期試験のほか、適宜単語テストや発音チェック等の小テストを行います。

（実習・演習）

（学習方法）

授業前後に、教科書の該当箇所を読み、わからない単語などを前もって辞書等で調べてくることが望ましい。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評価）

小テスト30%、定期試験50%、課題等への取り組み20%で評価します。授業に対する積極的な姿勢を求めます。定期試験終了後に総合評価を掲示する。

（教科書）

丸尾誠等『初級中国語 この一冊 ―4技能の習得を目指して―』（金星堂）

（参考書）

授業の中で適宜紹介します。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/7	種村	発音篇1、2（オリエンテーション）	1）中国語学習のポイントについて学ぶ。2）中国語のピンイン、声調、簡体字について学ぶ。	1）中国語学習のポイント（予習、復習の仕方）について理解し、学習計画を立てる。2）中国語のピンイン、声調、簡体字について理解し、教科書に出てくる単語を書いたり読んだりする。	VI-1	認知（想起）	6～11頁	1.0
2	9/14	種村	発音篇3、4	1）子音、複母音、鼻母音等について学ぶ。2）声調を付ける位置を学ぶ。	1）「声母表」を元に中国語の様々な発音の種類を理解し、ペアを組んで発音練習する。2）声調を付ける位置について理解し、練習問題を解いて確認する。	VI-1	認知（想起）	12～17頁	1.0
3	9/28	種村	第1課「自己紹介」	1）新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。2）姓名の言い方を覚える。3）是構文及び副詞を用いた是構文の用法を理解する。	1）新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。2）姓名の言い方を覚える。3）是構文及び副詞を用いた是構文の用法を理解する。	VI-1	認知（想起）	18～23頁	1.0
4	10/5	種村	第1課「自己紹介」	1）第1課の会話文の内容を理解する。2）第1課で学んだ文法を復習する。	1）第1課の会話文を訳し、ペアやグループで話し合い練習する。2）第1課の練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	18～23頁	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
5	10/12	種村	第2課「一緒に映画を見よう」	1) 新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。 2) 動詞構文の用法を理解する。 3) 形容詞構文の用法を理解する。	1) ペアやグループで語句や本文の発音を練習する。語句の発音や簡体字、意味を理解する。 2) 動詞を用いた例文を学び、練習問題を解く。 3) 形容詞を用いた例文を学び、練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	24～29頁	1.0
6	10/19	種村	第2課「一緒に映画を見よう」	1) 第2課の会話文の内容を理解する。 2) 第2課で学んだ文法を復習する。	1) 第2課の会話文を訳し、ペアやグループで話し合い練習する。 2) 第2課の練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	24～29頁	1.0
7	10/26	種村	第3課「キャンパス案内」	1) 新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。 2) 疑問詞の用法を理解する。	1) ペアやグループで語句や本文の発音を練習する。語句の発音や簡体字、意味を理解する。 2) 疑問詞を用いた例文を学び、練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	30～35頁	1.0
8	11/2	種村	第3課「キャンパス案内」	1) 第3課の会話文の内容を理解する。 2) 第3課で学んだ文法を復習する。	1) 第3課の会話文を訳し、ペアやグループで話し合い練習する。 2) 第3課の練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	30～35頁	1.0
9	11/9	種村	第4課「ペットも家族の一員」	1) 新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。 2) 数の数え方及び数量詞について知り、併せて年月日、曜日、時刻の言い方を理解する。	1) ペアやグループで語句や本文の発音を練習する。語句の発音や簡体字、意味を理解する。 2) 数の数え方を学び、数量詞の種類と発音を覚える。年月日、曜日、時刻の言い方を覚え、練習する。	VI-1	認知（想起）	36～41頁	1.0
10	11/16	種村	第4課「ペットも家族の一員」	1) 第4課の会話文の内容を理解する。 2) 第4課で学んだ文法を復習する。	1) 第4課の会話文を訳し、ペアやグループで話し合い練習する。 2) 第4課の練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	36～41頁	1.0
11	11/30	種村	第5課「誕生日のお祝い」	1) 新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。 2) 動作の完了を表す助詞の用法を理解する。	1) ペアやグループで語句や本文の発音を練習する。語句の発音や簡体字、意味を理解する。 2) 動作の完了を表す助詞を用いた例文を学び、練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	42～47頁	1.0
12	12/7	種村	第5課「誕生日のお祝い」	1) 第5課の会話文の内容を理解する。 2) 第5課で学んだ文法を復習する。	1) 第5課の会話文を訳し、ペアやグループで話し合い練習する。 2) 第5課の練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	42～47頁	1.0
13	12/14	種村	第6課「遠距離通学」	1) 新出語句の発音や簡体字、意味を覚える。本文の発音を覚える。 2) 助動詞の用法を理解する。	1) ペアやグループで語句や本文の発音を練習する。語句の発音や簡体字、意味を理解する。 2) 助動詞を用いた例文を学び、練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	48～53頁	1.0
14	12/21	種村	第6課「遠距離通学」	1) 第6課の会話文の内容を理解する。 2) 第6課で学んだ文法を復習する。	1) 第6課の会話文を訳し、ペアやグループで話し合い練習する。 2) 第6課の練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	48～53頁	1.0
15	12/21	種村	第1～6課の復習	1) 第1～6課で学んだ単語を復習する。 2) 第1～6課で学んだ文法の要点を復習する。	1) ペアやグループで発音し合ったり、単語を使って文章を作り会話の練習をする。 2) 本文を復習し、練習問題を解く。	VI-1	認知（想起）	18～53頁	1.0

論理学・日本語表現法【講義】

科目番号 OD012003

後期：15コマ

評価責任者：永嶋哲也

担当教員：永嶋哲也

（一般目標）

さまざまな情報に対して批判的に思考する科学的態度がとれるようになるために、文章を論理的に読み取る練習問題を解くことで、論理的な思考と論理的な表現を身につける。

（教育方法）

教科書に沿って板書による説明がなされる。練習問題を解き、答え合わせをする。

（実習・演習）

（学習方法）

授業中に、集中して説明を聞き、指示に従い教科書の記述を読み、練習問題を解く。授業の進度が速すぎると感じる場合は授業前にテキスト該当箇所を読み予習しておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

出席、授業態度などの平常点（20%）、ノート提出による達成度評価（30%）、学期末レポート（50%）などを総合評価する。提出をしたノートには、コメント（フィードバック）を記し、次の講義時に返却する。

（教 科 書）

野矢茂樹『新版 論理トレーニング』（哲学教科書シリーズ）、産業図書、2006

（参 考 書）

野矢茂樹『論理学』東京大学出版会、1994

野矢茂樹『論理トレーニング101題』産業図書、2001

グレーム・ブリスト『論理学』岩波新書、2008

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/3	永嶋哲也	ユニット1 概説	論理とは何かを理解する	演繹と論理の関係を説明する	I-9	認知（解釈）	教科書1-4頁を読んでおく。	0.5
2	9/10	永嶋哲也	ユニット2 接続	論理的な接続について理解する	文と文の接続関係をとらえる	II-3	認知（解釈）	教科書15-26、43-45頁を読んでおく。	1.0
3	9/17	永嶋哲也	ユニット2 接続	論理的な接続について理解する	議論の大枠をとらえる	I-7	認知（解釈）	教科書45-50頁を読んでおく。	1.0
4	9/24	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	議論の構造をとらえる	I-7	認知（解釈）	教科書55-60頁を読んでおく。	1.5
5	10/1	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	論証の構造を図で表す	I-7	認知（解釈）	教科書55-60頁を読んでおく。	0.5
6	10/15	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	論証を評価する	I-8	認知（問題解決）	教科書61-67頁を読んでおく。	1.0
7	10/22	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	仮説形成と前提を評価する	I-7	認知（問題解決）	教科書74-80頁を読んでおく。	1.0
8	10/29	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	価値評価の論証構造を説明する	I-7	認知（解釈）	教科書87-92頁を読んでおく。	1.0
9	11/5	永嶋哲也	ユニット3 論証	論理的な論証について理解する	価値評価の適切さを判断する	I-8	認知（問題解決）	教科書92-95頁を読んでおく。	1.5
10	11/12	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	連言と選言を説明する	I-7	認知（解釈）	教科書105-08頁を読んでおく。	1.0
11	11/19	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	量化を説明する	I-7	認知（解釈）	教科書108-12頁を読んでおく。	1.0
12	11/26	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	逆、裏、対偶を説明する	I-7	認知（解釈）	教科書117-21頁を読んでおく。	1.0
13	12/3	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	条件文を組み合わせて結論を導き出す	I-8	認知（問題解決）	教科書121-24頁を読んでおく。	1.0
14	12/10	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	全称文の三段論法を使いこなす	I-8	認知（問題解決）	教科書124-27頁を読んでおく。	1.5
15	12/17	永嶋哲也	ユニット4 演繹	演繹という論理手続きについて理解する	連言や選言を含む三段論法を使いこなす	I-8	認知（解釈）	教科書124-27頁を読んでおく。	0.5

心理学入門 【講義】

科目番号 OD012004

後期：15コマ

評価責任者：学生部長・金光芳郎

担当教員：石橋孝明

（一般目標）

将来、歯科医師として、豊かな教養と人間性を備えるとともに、人の心の仕組みやストレス等を理解して多様な対象者としての患者との幅広いコミュニケーションを図り、対人関係能力を身につけた治療技術を行使するため、心理学の基礎知識を修得する。

（教育方法）

教科書を用いて配布プリントによるノート作成を行い、その後、パワーポイントによる説明・解説を行う。

（その他AL）

（学習方法）

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は配布したプリントでノート作成をすること。授業後は、教科書や作成したノート等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと（事後学修・復習）。【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評 価）

定期試験：記述・語群選択試験（60％） 平常評価：ノート作成（30％） 観察記録・授業態度（発問・質疑等）（10％）
試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。 尚、詳細は講義の初日に説明する。

（教 科 書）

『最新歯科衛生士教本 心理学』医歯薬出版 2017

（参 考 書）

河合隼雄『無意識の構造』中公新書481
星野仁彦『発達障害に気づかない大人たち』祥伝社新書190
星野仁彦『発達障害に気づかない大人たち<職場編>』祥伝社新書237
岡堂哲雄ほか『患者ケアの臨床心理 人間発達学のアプローチ』医学書院

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/3	石橋	オリエンテーション ユニット1 見る・聞く・感じるころ 講義	1) 知覚の成立を知る 2) 知覚の特徴を学ぶ 3) 知覚への影響要因を知る	1) 知覚がどのように成立しているか述べるができる。 2) 知覚の特徴を述べるができる 3) 知覚への影響要因を述べるができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	自らが医師としてどのような心理的状态であることが望ましいかについて熟慮する。	1.0
2	9/10	石橋	ユニット2 学ぶ・覚えるころ 講義	1) 学習の成立を知る 2) 記憶の構造や過程を理解する 3) 記憶の病理やゆがみについて学ぶ	1) 感情の種類とそのメカニズムについて述べるができる 2) 欲求選択の葛藤のタイプについて述べるができる 3) フラストレーションについて説明し、どのようにすれば耐えられるかを述べるができる 4) ストレスに対処することができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0
3	9/17	石橋	ユニット3 やる気の心理 講義	1) 動機の本質を知る 2) 動機づけの種類を知る 3) 欲求の種類と特徴を理解する	1) 他者の特徴をどのように捉え、印象を形成しているのか説明することができる 2) 自他の行動原因の捉え方について説明できる 3) 人を好きになる要因について説明することができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	9/24	石橋	ユニット4 喜怒哀楽のころ 講義	1) 感情の種類とメカニズムを知る 2) 欲求選択の葛藤のタイプについて知る 3) フラストレーションについて理解する 4) ストレスの対処について知る	1) 集団の特徴はどのようなものがあるか述べる事ができる 2) リーダーシップについて説明することができる 3) 集団が人の行動に及ぼす影響についてどのようなものがあるか説明することができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0
5	10/1	石橋	ユニット5 その人らしさの心理 講義	1) パーソナリティの特徴を知る 2) パーソナリティの調べ方を理解する 3) パーソナリティ障害について知る	1) こころの健康状態とその測定方法について説明することができる 2) こころの健康が損なわれると生じる状態について説明することができる 3) 心理的問題の専門的援助方法について述べる事ができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0
6	10/15	石橋	ユニット6 かしこさの心理 講義	1) 知能とその構造について知る 2) 知能の測定方法を学ぶ 3) 知能障害の仕組みについて理解する	1) 歯科医療におけるホスピタリティに富んだコミュニケーションの意義について説明できる 2) 歯科医療におけるロジャーズの基本姿勢について説明することができる 3) 患者さんへの支援の意義について述べる事ができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0
7	10/22	石橋	ユニット7 考えるこころ 講義	1) 考えるとはどういうことか理解する 2) 問題解決方法について知る 3) 創造する過程とその方法について学ぶ	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義について説明することができる 2) 信頼関係の構築を身につける 3) 傾聴姿勢を身につける 4) 共感姿勢を身につける	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0
8	10/29	石橋	ユニット8 発達するこころ (1) 講義	1) 発達に影響する要因を知る 2) 発達課題について学ぶ 3) 乳幼児から児童期の発達の姿を理解する	1) 心理学は何を明らかにしようとしてきたか説明することができる 2) 心理学の方法について述べる事ができる 3) 結果の分析の手法について述べる事ができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0
9	11/5	石橋	ユニット9 発達するこころ (2) 講義	1) 青年期について理解する 2) 成人期と中年期について理解する 3) 高齢期について理解する	摂食障害やDV、不登校、いじめ、虐待、自殺などの身近な例を参考にしつつ、自らが健康に生きるための行動指針について説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを熟読し、前回の内容を完全に理解する。	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
10	11/12	石橋	ユニット10 人と関わる心理 講義	1) 他者の特徴の捉え方と印象形成について知る 2) 自他の行動原因の捉え方について理解する 3) 人を好きになる要因を知る	心理療法について一般的な定義を述べるとともに、それらのいくつかについて具体例を挙げつつ、治療法に関してオリエンテーション的に説明する。	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを読み、前回の内容を完全に理解する。	1.0
11	11/19	石橋	ユニット11 人と集うところ 講義	1) 集団の特徴を知る 2) リーダーシップについて理解する 3) 集団が人の行動に及ぼす影響について学ぶ	1) 集団の特徴はどのようなものがあるか述べる 2) リーダーシップについて説明することができる 3) 集団が人の行動に及ぼす影響についてどのようなものがあるか説明することができる	Ⅲ-16	認知（解釈）	それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを読み、前回の内容を完全に理解する。	1.0
12	11/26	石橋	ユニット12 健康なところ 講義	1) こころの健康状態について知り、その測定方法を知る 2) こころの健康が損なわれると生じる状態について学ぶ 3) 心理的問題の専門的援助方法について理解する	1) こころの健康状態とその測定方法について説明することができる 2) こころの健康が損なわれると生じる状態について説明することができる 3) 心理的問題の専門的援助方法について述べる	Ⅲ-16		それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを読み、前回の内容を完全に理解する。	1.0
13	12/3	石橋	ユニット13 カウンセリングのこころ 講義	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する 2) 歯科医療におけるロジャーズの基本姿勢を理解する 3) 患者さんへの支援の意義を理解する	1) 歯科医療におけるホスピタリティに富んだコミュニケーションの意義について説明できる 2) 歯科医療におけるロジャーズの基本姿勢について説明することができる 3) 患者さんへの支援の意義について述べる	Ⅲ-16		それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを読み、前回の内容を完全に理解する。	1.0
14	12/10	石橋	ユニット14 思いを伝え合うところ 講義	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する 2) 信頼関係の構築の仕方を学ぶ 3) 傾聴姿勢について学ぶ 4) 共感姿勢について学ぶ	1) 歯科医療におけるコミュニケーションの意義について説明することができる 2) 信頼関係の構築を身につける 3) 傾聴姿勢を身につける 4) 共感姿勢を身につける	Ⅲ-16		それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを読み、前回の内容を完全に理解する。	1.0
15	12/17	石橋	ユニット15 心理学の歩と研究法 講義	1) 心理学の歴史を学ぶ 2) 心理学の方法について知る 3) 結果分析の手法を知る	1) 心理学は何を明らかにしようとしてきたか説明することができる 2) 心理学の方法について述べる 3) 結果の分析の手法について述べる	Ⅲ-16		それぞれの前回の資料と自分でメモしたノートを読み、前回の内容を完全に理解する。	1.0

スポーツⅡ 【実習】

科目番号 OD011023

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、埴岡 隆

担当教員：町田弘幸、大堂美幸

（一般目標）

健康管理の方法としてスポーツ技術を身につけるとともに、創造性・協調性・多様性など、円滑なコミュニケーションに必要な方法を、スポーツを通して理解し、身につける。

（教育方法）

実習

（実習・演習）

（学習方法）

体験学習。

前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

平常（30%）服装違反 減点1欠席2

実技試験（70%）

評価後、評価結果を呈示する。

（教 科 書）

なし

（参 考 書）

選択種目のルール等のプリント配布

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/2	町田・大堂	ユニット1 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	選択種目のルールについて調べる	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		
2	9/9	町田・大堂	ユニット2 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		
3	9/16	町田・大堂	ユニット3 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		
4	9/23	町田・大堂	ユニット4 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		
5	9/30	町田・大堂	ユニット5 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		
6	10/7	町田・大堂	ユニット6 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		
7	10/14	町田・大堂	ユニット7 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	Ⅱ-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	Ⅰ-4	情意（実践状況対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
8	10/21	町田・大堂	ユニット8 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
9	10/28	町田・大堂	ユニット9 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
10	11/4	町田・大堂	ユニット10 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
11	11/11	町田・大堂	ユニット11 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
12	11/18	町田・大堂	ユニット12 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
13	11/25	町田・大堂	ユニット13 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
14	12/2	町田・大堂	ユニット14 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		
15	12/9	町田・大堂	ユニット15 スポーツ全般の知識と技術	スポーツ技術を身につける。ウォーミングアップ・クーリングダウンの知識と技術を身につける。	選択種目のルール説明ができる。	II-1	認知（想起）	前回の試合の反省点を踏まえ、改善すべき点について対策を行う	1.0
					試合ができる。	I-4	情意（実践状況対応）		

知的技法Ⅱ 【講義】

科目番号 0D011017

後期：15コマ

評価責任者：学生部長

担当教員：松井貴英、小田一彦、後藤真理子

（一般目標）

前期の授業（知的技法Ⅰ）では様々な知的技法を学び、グループ・ワークでの研究成果を発表してもらった。しかし、大学では研究成果の発表のみならず、それをレポートや論文にまとめることも求められる。レポートや論文の作成にかかわる知的技法は「アカデミック・ライティング」と呼ばれる。後期の知的技法Ⅱでは、アカデミック・ライティングを学び、グループ単位での問題を自分の問題として捉え直すことを通じて、レポート作成ができるようになることを目指す。

（教育方法）

講義。板書・スライド・配布資料を用いながら解説を行う。また、適宜グループ・ワーク（相互添削等）を課す。
（グループワーク）

（学習方法）

授業に集中すること。また、毎回の授業へのリアクション・ペーパーを授業終了後に提出すること。（リアクション・ペーパーの提出がなければ出席とみなさない） 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

平常点（授業への参加状況、授業内で課されるワークへの取り組みの状況およびその成果等、これらをもとに総合的に評価する）30%
学期末のレポート提出70%
掲示により成績通知を行う。

（教科書）

指定しない。毎回の講義で扱うレジュメを配布する。

（参考書）

河野哲也（2002）．『レポート・論文の書き方入門』，東京，慶応義塾大学出版会．
木下是雄（1994）．『レポートの組み立て方』，東京，筑摩書房．
戸田山和久（2013）．『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』，東京，NHK出版．
伊勢田哲治（2005）．『哲学思考トレーニング』，東京，筑摩書房．

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/7	松井、小田、後藤	ユニット1 イントロダクション	本講義の全体像と目的を理解する	本講義の全体像と目的を説明できる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					「アカデミックライティング」という言葉の内実を説明できる	I-7	認知（解釈）		
2	9/14	松井、小田、後藤	ユニット2 レポートの役割	レポートの役割を理解する	レポートとはいかなるものかを説明できる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					大学生のレポートと社会人のレポートがどのようなものかを説明できる	I-7	認知（解釈）		
3	9/28	松井、小田、後藤	ユニット3 事実と意見の区別	事実と意見の区別を理解する	事実と意見を区別できるようになる	I-8	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートが事実の記述を重視することを説明できる	I-9	認知（解釈）		
4	10/5	松井、小田、後藤	ユニット3 事実と意見の区別	事実と意見の区別を理解する	事実と意見の定義を説明できる	I-8	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
5	10/12	松井、小田、後藤	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートを作成する手順を説明できる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの主題を決定することができる	I-9	認知（解釈）		
6	10/19	松井、小田、後藤	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートの目標規定文（主題文）を作成することができる	I-9	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの材料を集めることができる	I-8	認知（解釈）		
7	10/26	松井、小田、後藤	ユニット4 レポートを書く前の準備	レポートの事前準備について理解する	レポートの様々な制約を説明できる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの標準的構成を説明できる	I-7	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
8	11/2	松井、小田、後藤	ユニット5 本講義前半部のまとめ	講義前半部で学んできたことの理解度を確認する	これまでの講義内容を説明できる。また、事実に関する文と意見文を実際にかき分けてみる	I-8	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
9	11/9	松井、小田、後藤	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	読み手の立場になってレポートの文章を説明できる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					レポートの叙述の順序を説明できる	I-7	認知（解釈）		
10	11/16	松井、小田、後藤	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	事実の記述と意見の記述をできるようになる	I-9	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					明快で明確な文章を書くことができるようになる	I-7	認知（解釈）		
11	11/30	松井、小田、後藤	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	文章のパラグラフ構造を理解し、実際に組み立てることができるようになる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
12	12/7	松井、小田、後藤	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	すらすら読める文・文章を書くことができるようになる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
13	12/7	松井、小田、後藤	ユニット6 クリティカル・リーディング	前期「知的技法I」で学んだクリティカル・リーディングを用いることで、文献講読及びその要約というレポート執筆に必要な不可欠な作業を実践する	レポート用紙を正しく使うことができる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					区切り記号を正しく使うことができる	I-7	認知（解釈）		
14	12/14	松井、小田、後藤	ユニット7 レポートの書き方	レポートの文章作成法について説明できる	出典を正しく示すことができる	I-7	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0
					表と図を正しく使用できる	I-7	認知（解釈）		
					レポートの読み直しと修正を行うことができる	I-8	認知（解釈）		
15	12/14	松井、小田、後藤	ユニット8 全体のまとめ	本講義で学んできたことの理解度を確認する	本講義で学んできたことを説明できる	I-9	認知（解釈）	授業で学んだアカデミック・ライティングについて復習する	1.0

経済学 【講義】

科目番号 OD011010

後期：15コマ

評価責任者：学生部長 埴岡 隆

担当教員：川脇 慎也

（一般目標）

1. 経済学の基本的な理論を理解できるようになる。
2. 経済問題を経済学的な観点から理解できるようになる。

（教育方法）

講義（教科書に沿って授業を進め、その内容について解説します。適宜、板書・パワーポイント・配布資料を使用します。）

（学習方法）

【予習】事前に指示された教科書の範囲を熟読し、内容を整理したうえで授業に臨んで下さい。（予習時間90分）
 【復習】授業での解説を踏まえて教科書を見直し、知識の定着を図って下さい。（復習時間90分）
 この授業では、時事問題に関するレポートを提出してもらいます。日頃からニュースや新聞の内容に気を配り、現実の経済動向に関心を持つようにして下さい。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

中間試験40%、定期試験40%、レポート20%
 掲示により成績通知を行う。

（教 科 書）

細江守紀・笹山茂『経済学ベーシック』日本評論社、2014年。

（参 考 書）

伊藤元重『入門経済学 第4版』日本評論社、2015年。
 井堀利宏『コンパクト経済学 第2版』新世社、2017年。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/4	川脇	ユニット1 イントロダクション	経済学の概要を理解する。	経済学の成り立ち、及び経済問題の本質について説明する。	Ⅱ-1	認知（解釈）	教科書1-14頁（キーワード：希少性、トレードオフ、価格メカニズム）	1.0
2	9/4	川脇	ユニット2 マクロ経済学の学び方	マクロ経済学の概要を理解する。	GDPと、その決まり方について説明する。	Ⅱ-1	認知（解釈）	教科書15-30頁（キーワード：GDP、GDPデフレーター、名目、実質）	1.0
3	9/11	川脇	ユニット3 市場とはなにか	ミクロ経済学の概要と需給関数を理解する。	市場と競争について説明する。	I-6	認知（解釈）	教科書31-46頁（キーワード：市場、需要、供給、均衡）	1.0
4	9/11	川脇	ユニット4 お金の役割	貨幣について理解する。	貨幣の役割とその供給について説明する。	I-6	認知（解釈）	教科書47-62頁（キーワード：貨幣、通貨、流動性、リスク、貨幣供給）	1.0
5	9/18	川脇	ユニット5 リスクと保険	リスク回避について理解する。	リスクマネジメントについて説明する。	Ⅱ-1	認知（解釈）	教科書63-78頁（キーワード：リスク、不確実性、期待利得、選択、モラルハザード）	1.0
6	9/18	川脇	ユニット6 働くとはなにか	雇用をめぐる諸問題について理解する。	労働に関する各種の指標を中心に説明する。	I-6	認知（解釈）	教科書79-94頁（キーワード：労働力、失業、雇用、賃金）	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	10/2	川脇	ユニット7 税金は必要ですか？	基礎的財政収支の意味を理解する。	日本の税制の財政状況について説明する。	I-6	認知（解釈）	教科書95-110頁（キーワード：財政民主主義，歳入，歳出，国債）	1.0
8	10/2	川脇	ユニット8 中間試験	第1-7回授業に関する知識を用いて問題を解く。	第1-7回授業の理解度を確認する。	II-1	認知（解釈）	第1-7回授業内容全て（教科書1-110頁，及び配布資料等を要確認のこと。）	1.0
9	10/16	川脇	ユニット9 規制は必要か	市場の失敗について理解する。	規模の経済性，外部性，情報の非対称性，公共財について説明する。	I-6	認知（解釈）	教科書111-128頁（キーワード：独占，競争制限行為，参入規制）	1.0
10	10/16	川脇	ユニット10 国際貿易のメリット	国際貿易の役割と，日本の国際貿易の概要を理解する。	比較優位と国際貿易の利益を中心に説明する。	II-1	認知（解釈）	教科書129-143頁（優位，劣位，特化，機会費用）	1.0
11	10/23	川脇	ユニット11 国際収支からわかるもの	国際収支とは何か，何がわかるのか，統計データの意味を理解する。	国際収支統計の構成と内容を中心に説明する。	II-1	認知（解釈）	教科書143-158頁（キーワード：経常収支，資本収支，外貨準備増減，誤差脱漏）	1.0
12	10/23	川脇	ユニット12 環境を考える	外部不経済について，具体例とともに理解する。	需給曲線を応用して，環境問題が発生する原因と，その解決策について説明する。	II-1	認知（解釈）	教科書159-176頁（キーワード：社会的限界費用，私的限界費用）	1.0
13	10/30	川脇	ユニット13 インフレーションとデフレーション	物価の変動について理解する。	物価に関わる各種指数を中心に説明する。	II-1	認知（解釈）	教科書177-190頁（キーワード：物価上昇率，経済成長率，フィリップス曲線，貨幣数量説）	1.0
14	10/30	川脇	ユニット14 社会保障	日本社会保障制度の概要を理解する。	社会保険，公的扶助，社会福祉，公衆衛生を中心に説明する。	II-1	認知（解釈）	教科書191-206頁（キーワード：社会保障の収支，公的年金制度，世代間扶養）	1.0
15	11/6	川脇	ユニット15 まとめ	第8-14回授業内容全て（教科書111-206頁，及び配布資料等を要確認のこと。）	第8-14回の授業内容に関わるニュースや最新の統計を紹介する。	II-1	認知（解釈）	第8-14回授業内容全て（教科書111-206頁，及び配布資料等を要確認のこと。）	1.0

人文科学 【講義】

科目番号 OD011026

後期：15コマ
 評価責任者：壬生正博
 壬生正博
 担当教員：荒木雪葉
 Erwin Niederer

（一般目標）

本講義は、国際的な視野に立ち、各講師がさまざまな文学作品を取り上げて、国際力（外国の諸事情、民族性等）やコミュニケーション能力（読み取る力、自分の意見をまとめて伝える力、相手の言葉を理解し応答する力等）の育成、向上を目指す。文学作品は、一時代、一作家に限定せず、国内、国外の広い範囲から取り上げて国際的視野を拓ける。

（教育方法）

講義のほか、人文科学の理解を深める目的で視聴覚教材を適宜使用する。既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。（グループワーク）

（学習方法）

授業前後に国際社会における様々な問題点を調べ、講義を通じて問題解決に至る糸口を見つけること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：掲示により成績通知

（教科書）

プリントを配布する。

（参考書）

中国文学入門（講談社学術文庫）
 ドイツ文学案内（岩波文庫）
 シェイクスピア——人生劇場の達人（中公新書）
 はじめての文学講義——読む・書く・味わう（岩波ジュニア新書）
 それぞれの書籍は平易な文章で書かれていて読みやすく、文芸作品の読み方や国際力の向上に役に立つ。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/2	壬生正博	ユニット1 人文科学総論、文学作品に見る悲劇や喜劇	人文科学の意義について理解する。	人文科学の意義について評価する。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
2	9/9	荒木雪葉	ユニット2 中国の古代の詩の世界とその役割	中国思想について文学作品をつうじて理解する。（Unit2）	中国の文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
3	9/16	荒木雪葉	ユニット3 中国の古代の詩の世界とその役割	中国思想について文学作品をつうじて理解する。（Unit3）	中国の文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
4	9/23	荒木雪葉	ユニット4 中島敦の中国古典を題材に	日本や中国の思想について文学作品をつうじて理解する。（Unit4）	中国や日本の文学作品を解釈し、それぞれの特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
5	9/30	荒木雪葉	ユニット5 中島敦の中国古典を題材に	日本や中国の思想について文学作品をつうじて理解する。（Unit5）	中国や日本の文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
6	10/7	荒木雪葉	ユニット6 中島敦の中国古典を題材に	日本や中国の思想について文学作品をつうじて理解する。（Unit6）	中国や日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	10/14	エルヴィン・ニーデラー	ユニット7 Friedrich Schillerの作品から	ヨーロッパ（ドイツ）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit7）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
8	10/21	エルヴィン・ニーデラー	ユニット8 産業化の時代と自然主義について	ヨーロッパ（ドイツ）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit8）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
9	10/28	エルヴィン・ニーデラー	ユニット9 W. Borchert, B. Brecht, etc の作品から	ヨーロッパ（ドイツ）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit9）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
10	11/4	エルヴィン・ニーデラー	ユニット10 Michael Endeの童話	ヨーロッパ（ドイツ）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit10）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、自分の意見を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
11	11/11	エルヴィン・ニーデラー	ユニット11 ドイツの詩と日本の詩	ドイツと日本の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。	ヨーロッパや日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
12	11/18	壬生正博	ユニット12 アーサー王伝説	ヨーロッパ（イギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit12）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
13	11/25	壬生正博	ユニット13 ウィリアム・シェークスピアの作品ー『ハムレット』	ヨーロッパ（イギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit13）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
14	12/2	壬生正博	ユニット14 チャールズ・ディケンズの作品ー『クリスマス・キャロル』	ヨーロッパ（イギリス）の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。（Unit14）	ヨーロッパの文学作品を解釈し、その特徴を述べる。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0
15	12/9	壬生正博	ユニット15 ノーベル文学賞作家 カズオ・イシグロの作品ー『日の名残り』	イギリスと日本の思考パターンを文学作品をつうじて理解する。	イギリスと日本の文学作品について調べ、自分の意見をまとめて表現する。	VI-1	認知（想起）	シラバスの各ユニットの内容について各自で調べ理解を深め問題点等を探しておく	1.0

異文化理解 【講義】

科目番号 OD011024

後期：15コマ
 評価責任者：学生部長、壬生正博
 壬生正博
 担当教員：文 芝瑛
 矢羽田朋子

（一般目標）

本講義は、異文化の理解を通じて自ら文化間の諸問題を探し出し、自己学習によってそれを考察し解決する力を身につけることを目標とする。医療環境の国際化、医療の国際協力などにより、現代あるいは将来の医療従事者には国際的な視点に立った異文化についての見識が要求されている。この授業ではその中で、姉妹校や、福岡という場所の関係から、特に、中国、韓国、アメリカ、あるいはヨーロッパ等の異文化について理解と見識を深めることを目的とする。

（教育方法）

講義のほか、異文化理解を深める目的でDVD、CD、文芸作品等を適宜使用する。既習事項の理解度を確認する小テストやレポートを課す。

（グループワーク）

（学習方法）

授業前後に、自国文化と他国文化の類似点・相違点を考え、疑問点があれば各自で調べること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

レポート提出、出席、授業態度等により総合的に評価する：掲示により成績通知

（教科書）

プリントを配布する。

（参考書）

青木保『異文化理解』岩波新書、2001年。 青木保『多文化理解』岩波新書、2003年。 葛 兆光、他『中国再考——その領域・民族・文化』岩波現代文庫、2016年。 任 栄哲『韓国の日常世界—生活・社会・文化の基礎知識』ベスト新書、2004年。 八尋春海編『映画で学ぶアメリカ文化』スクリーンプレイ社、1999年。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/4	文 芝瑛	韓国文化について	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	韓国文化や中国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	認知（想起）	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
2	9/7	矢羽田朋子	中国文化について	中国の近代文化および現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	自文化と他文化について興味のある文化事象を比較して、類似点や相違点を列挙する。	VI-1	認知（想起）	中国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
3	9/11	文 芝瑛	韓国文化について	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	韓国文化や中国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	認知（想起）	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
4	9/14	矢羽田朋子	中国文化について	中国の近代文化および現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	他文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	認知（想起）	中国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
5	9/18	文 芝瑛	韓国文化について	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	韓国文化や中国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	認知（想起）	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
6	9/28	矢羽田朋子	中国文化について	中国の近代文化および現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	韓国文化や中国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	認知（想起）	中国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	10/2	文 芝瑛	韓国文化について	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	異文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	認知（想起）	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
8	10/5	矢羽田朋子	中国文化について	中国の近代文化および現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	自文化と他文化について興味のある文化事象を比較して、類似点や相違点を列挙する。	VI-1	認知（想起）	中国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
9	10/12	矢羽田朋子	中国文化について	中国の近代文化および現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	他文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	認知（想起）	中国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
10	10/13	壬生正博	オーストラリア、カナダ、欧米文化について	オーストラリア、カナダ、アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	欧米文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。	VI-1	認知（想起）	オーストラリア、カナダ、欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
11	10/16	文 芝瑛	韓国文化について	韓国の現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	韓国文化や中国文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	認知（想起）	韓国文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
12	10/20	壬生正博	オーストラリア、カナダ、欧米文化について	オーストラリア、カナダ、アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	欧米文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。	VI-1	認知（想起）	オーストラリア、カナダ、欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
13	10/27	壬生正博	オーストラリア、カナダ、欧米文化について	オーストラリア、カナダ、アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	文化の人々との接し方のより良い方法を調べる。そして医療人として将来的に役に立つ他者（あるいは他国の人々）との円滑なコミュニケーションの取り方を推論する。	VI-1	認知（想起）	オーストラリア、カナダ、欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
14	11/10	壬生正博	オーストラリア、カナダ、欧米文化について	オーストラリア、カナダ、アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	多文化の人々との接し方（コミュニケーション方法）のより良い方法を調べる。	VI-1	認知（想起）	オーストラリア、カナダ、欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0
15	11/17	壬生正博	オーストラリア、カナダ、欧米文化について	オーストラリア、カナダ、アメリカやヨーロッパの歴史や現代文化を学び、異文化理解の基本を身につける。諸外国の基本的なコミュニケーション方法を理解する。	アメリカ文化やヨーロッパ文化のビデオ映像等を鑑賞して、異文化の雰囲気を感じる。更にグループ討議によって他者の意見を聞き協調性を養う。	VI-1	認知（想起）	オーストラリア、カナダ、欧米文化についてシラバスに挙げた参考書等を読んで理解と知識を深め問題点等を探しておく	1.0

communication training 【演習】

科目番号 OD011021

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、埴岡 隆

担当教員：町田弘幸

（一般目標）

創造性・協調性・多様性など、円滑なコミュニケーションに必要ないくつかの方法を通して理解し、身につける。

（教育方法）

講義と実習を一体化して行う。（小グループ学習を取り入れる。）

（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

グループ学習 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

評価シート・レポートによる総括評価

1コマ欠席につき出席による評価2%ずつ減点する。

評価後、評価結果を呈示する。

（教 科 書）

なし

（参 考 書）

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/3	町田弘幸	ユニット1 コース紹介	授業の目的・意義・内容について理解する	相互インタビューをし、他 個紹介をする。	Ⅱ-4	情意（実践 状況対応）	アイスブレイクの目的と方法 について調べる	1.0
2	9/10	町田弘幸	レクリエーションゲーム	ストレッチング・健康体操（リラックス法）を学ぶ	おもいきり楽しむ	Ⅲ-22	情意（自己 対応）	リラックス法の目的と方法 について調べる	1.0
3	9/17	町田弘幸	手話ソング	手話ソングを覚える。手話ソングを楽しむ。	手話で挨拶ができる。	Ⅱ-3	精神運動（自律部分・支援全体）	インターネットで簡単な手話動画を視聴する	1.0
4	9/24	町田弘幸	手話ソング2	手話ソングを覚える。手話ソングを楽しむ 2	手話で挨拶ができる。	Ⅱ-3	精神運動（自律部分・支援全体）	挨拶など日常生活で使える手話表現について調べる	1.0
5	10/1	町田弘幸	ブラインドウォーク	アイバンド装着者と介助者のコミュニケーション（資格情報の重要性）について学ぶ。	視覚障害者の気持ちを理解する。	I-5	情意（模擬 対人対応）	視機能の障害が日常生活や就労に与える影響について考える	1.0
6	10/15	町田弘幸	ブラインドウォーク2	アイバンド装着者と介助者のコミュニケーション（資格情報の重要性）について学ぶ。	視覚障害者の気持ちを理解する。	I-5	情意（模擬 対人対応）	視覚障害者への配慮について考える	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	10/22	町田弘幸	発想多様性の理解	チェックリスト法、強制関連法、アナログ法（創造性開発・柔軟思考）	物事に関連性を見つけて表現する。	I-7	認知（解釈）	チェックリスト法、強制関連法、アナログ法について調べる	1.0
8	10/29	町田弘幸	発想多様性の理解 2	チェックリスト法、強制関連法、アナログ法（創造性開発・柔軟思考）	物事に関連性を見つけて表現する。	I-7	認知（解釈）	互いの意見を受容し、多様性を尊重し合う方法について考える	1.0
9	11/5	町田弘幸	問題解決	インバースケット（情報整理・情報選択）	適切な情報を選択し、問題を解決する。	I-7	認知（問題解決）	インバースケットについて調べる	1.0
10	11/12	町田弘幸	問題解決 2	インバースケット（情報整理・情報選択）	適切な情報を選択し、問題を解決する。	I-7	認知（問題解決）	インバースケットの活用法について調べる	1.0
					得られた情報を分かりやすく表現する。	I-7	認知（問題解決）		
11	11/19	町田弘幸	意思伝達	教育ゲーム（伝言ゲーム）	他者と協力して、目的達成に寄与する。	II-4	情意（実践状況対応）	意思伝達の目的について考える	1.0
12	11/26	町田弘幸	チーム作業	レクリエーション指導案作成	他者と協力して、目的達成に寄与する。	II-4	情意（実践状況対応）	レクリエーション活動・種目について調べる	1.0
13	12/3	町田弘幸	チーム作業 2	発表	他者と協力して、目的達成に寄与する。	II-4	情意（実践状況対応）	対象にあわせたレクリエーション・ワーク と素材・アクティビティの活用について考える	1.0
14	12/10	町田弘幸	チーム作業 3	ウォークラリーコマ図の作成	他者と協力して、目的達成に寄与する。	II-4	情意（実践状況対応）	ウォークラリーコマ図の作り方について調べる	1.0
15	12/17	町田弘幸	チーム作業 4	ウォークラリー体験	他者と協力して、目的達成に寄与する。	II-4	情意（実践状況対応）	ウォークラリーを成功させるために必要なことは何かを考える	1.0

課題解決演習Ⅰ 【演習】

科目番号 0D011018

後期：15コマ

評価責任者：池邊 哲郎、永嶋 哲也

担当教員：授業ごとに各分野から担当者を10～12名程度決める。

（一般目標）

社会問題や医療倫理について考え、討論（ディベート）や発表を通じて、コミュニケーション能力を修得するとともに、歯科医師としての将来像と使命感を醸成する。

（教育方法）

1 グループ8～10名のグループ討論

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

今回の授業の課題（項目）に関する情報をインターネットなどで収集し、自分なりの意見をもっておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

- 1) グループごとのディベートにおける個人単位（発言内容、発言回数、役割の遂行度など）の観察評価
- 2) ディベートにおけるグループ単位の観察評価と対戦評価（ディベート対戦による勝者への加点）
以上1)2)については各授業の最後にグループごとに勝敗と評価内容をフィードバックする。
- 3) 提出物における個人単位の評価を、毎週各グループにライターがつき、点数をつけて評価する。全部の平均が60点以上を合格とする。
- 3)については全授業終了後に成績を発表し60点未満の者に面談と小論文を課してフィードバックする。

（教科書）

なし

（参考書）

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	10/12	池邊他	ユニット1 オリエンテーション 自己表現しよう 「過去半年を振り返って」	本演習の目的を理解する。	討論（ディベート）能力の意義を説明できる。	Ⅱ-4	認知（想起）	時事問題のニュースを読む。 ディベート方法についてのネット情報を読む。	1.0
					他人の意見を理解できる。	Ⅱ-4	情意（自己対応）		
					聞きやすい明瞭な発声ができる。	Ⅱ-3	情意（自己対応）		
2	10/13	[2回] 池邊他	ユニット2 ディベート方法論 身近な話題を話し合おう	ディベートの方法を理解する。	ディベートに参加できる。	Ⅱ-4	情意（自己対応）	時事問題のニュースを読む。 ディベート方法についてのネット情報を読む。	2-3]
3	10/13	[3回] 池邊他			自分の意見や考えを発表できる。	Ⅱ-3	情意（実践状況対応）		1.0
4	10/13	[4回] 永嶋他			聞きやすい明瞭な発声ができる。	Ⅱ-3	情意（自己対応）		
5	10/20	[5回] 永嶋他	ユニット3 社会問題について話し合おう	社会問題に対して意見をもつ。	情報収集し、まとめることができる。	Ⅰ-8	認知（問題解決）	時事問題のニュースを読む。 ディベート方法についてのネット情報を読む。	5-7]
6	10/20	[6回] 永嶋他			自分の意見を整理し、他人と議論できる。	Ⅱ-2	情意（実践状況対応）		1.0
7	10/20	[7回] 永嶋他			皆の前で発表できる。	Ⅱ-3	情意（実践状況対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
8	10/27	[8回]池邊他	ユニット4 社会問題について話し合おう	社会問題に対して意見をもつ。	情報収集し、まとめることができる。	I-8	認知（問題解決）	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	8-10] 1.0
9	10/27	[9回]池邊他			自分の意見を整理し、他人と議論できる。	II-2	情意（実践状況対応）		
10	10/27	[10回]池邊他			皆の前で発表できる。	II-3	情意（実践状況対応）		
11	11/10	[11回]池邊他	ユニット5 国際問題について考えよう	国際問題に興味をもつ。	情報収集し、まとめることができる。	VI-5	認知（問題解決）	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	11-13] 1.0
12	11/10	[12回]池邊他			自分の意見を整理し、他人と議論できる。	VI-5	情意（実践状況対応）		
13	11/10	[13回]池邊他			皆の前で発表できる。	II-2	情意（実践状況対応）		
14	11/17	[14回]池邊他	ユニット6 医療問題について考えよう	医療について意見を言うことができる。	情報収集し、まとめることができる。	I-9	認知（問題解決）	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	14-16] 1.0
15	11/17	[15回]池邊他			自分の意見を整理し、他人と議論できる。	I-9	情意（実践状況対応）		
16	11/17	[16回]池邊他			皆の前で発表できる。	II-2	情意（実践状況対応）		
17	11/20	[17回]永嶋他	ユニット7 医療問題について考えよう	医療について意見を言うことができる。	KJ法で意見をまとめることができる。	I-8	認知（問題解決）	時事問題のニュースを読む。ディベート方法についてのネット情報を読む。	17-18] 1.0
18	11/20	[18回]永嶋他			自分の意見を整理し、他人と議論できる。	I-9	情意（実践状況対応）		

情報処理実習Ⅱ 【実習】

科目番号 OD011015

後期：15コマ

評価責任者：河本陽介

担当教員：河本陽介，嶋田香，佐藤平

（一般目標）

パソコンを利用した情報処理能力を高めるために，表計算ソフトを用いた作表，グラフ化，統計データの扱い方，基本的なデータ解析法，および基本的な数値的問題解決への利用法を学習する。

（教育方法）

プリントとパソコン（Windows）を使用した実習。

（実習・演習）

（学習方法）

実習資料の該当箇所を目を通しておく。実習資料の内容に沿って，担当教員の進行指示通りに作業する。

なお，USBメモリを持ってくること，および学生メールをえるようにしておく（ログイン名とパスワードを確認してくる）こと。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

実習出席・実習態度・課題から総合的に評価する。

成績は最終判定を掲示する。

（教 科 書）

実習資料を配布する。

（参 考 書）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1 2 3	11/24 11/24 11/24	河本，嶋田，佐藤	表計算ソフトの基本操作	表計算ソフトを用いて，表計算法の基礎について学ぶ。	セルに文字や数値を入力し，編集する。 表示形式，列幅，書式の変更をする。 セルに計算式を入力し，簡単な関数を扱う。 オートフィル機能を使う。	I-7 I-7 I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前期の復習をする。	1-3] 1.0
4 5 6	12/1 12/1 12/1	河本，嶋田，佐藤	グラフの作成と編集	表から適切なグラフを作成する方法と作成されたグラフの編集の仕方を学習する。	グラフウィザードを使用し，適切なグラフを描く。	I-7	精神運動（支援部分）	前期の復習をする。	4-6] 1.0
7 8 9	12/8 12/8 12/8	河本，嶋田，佐藤	データの分析への利用	表計算を用いたデータ分析の基礎を，初歩的な関数機能を用いて学習する。	関数INT, ROUNDを利用する。 関数COUNT, COUNTIFを利用する。 セルの絶対参照を利用する。 関数RANKを用いた順位付けをする。 関数IFによる条件判定を行う。 データの並び替えや絞り込みをする。	I-7 I-7 I-7 I-7 I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前期の復習をする。	7-9] 1.0
10 11 12	12/15 12/15 12/15	河本，嶋田，佐藤	統計処理の基礎	関数機能とグラフ機能を利用して，度数分布表や散布図を作成し統計処理の基礎を学ぶ。	度数分布表とヒストグラムを作る。 関数VARP, STDEVP, CORRELを利用し，数量データの分散，標準偏差，相関係数を計算する。	I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前期の復習をする。	10-12] 1.0
13 14 15	12/16 12/16 12/16	河本，嶋田，佐藤	数値問題解決への利用	表計算ソフトの乱数発生機能を用いて，基本的な数値問題を扱う方法を学ぶ。	関数RANDを用いて，確率変数を作る。 乱数を用いてシミュレーションをする。	I-7 I-7	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）	前期の復習をする。	13-15] 1.0

基本操作法実習 【実習】

科目番号 0D011009

後期：17コマ

評価責任者：川口 稔

担当教員：川口 稔（物理系）

藤田亜美、石井健士（化学系）

（一般目標）

自然化学実験の入門コースとして、実験の取り組み方、基本的な実験操作法、危険物を含む様々な化合物の取り扱い方法や関連法令についての情報検索方法、データーの取り扱い方などを修得する。また実験結果のまとめ方や考察手法および発表方法を学ぶ。

（教育方法）

実習は2つのグループ（化学系、物理系）に分け、3回にわたってそれぞれの実習を行った後、残りの3回で別の教科の実習を行い、ユニット1～8（1,2 化学系、3～8 物理系）の合計8つの課題実習を行う。下記のシラバスにはグループ1の実習日程を例示しているが、グループ2の日程については対応する日程となる。

（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

化学系：前期の基礎化学の講義で配布したテキストを読み復習してくる。特に、「光化学」と「酸と塩基」の範囲については熟読してくる。また、実習書をあらかじめ読みレポートの下書きを行うことで実習効率を高める。実習後はテキストに用意された設問を解き、レポートを完成させることで実習で学んだ知識と技術を確実に習得する。

物理系：予習方法として、実習書の当該箇所をあらかじめ読んで手順をよく理解しておく。また自習内容に関連する科学用語の意味を「基礎物理学」および「医療工学」講義の教科書やインターネット等により調べておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 11.0 時間】

（評価）

課題実習の実行度（60%）、レポート（40%）

レポート提出後、不十分な部分についてはフィードバックを行い再提出を求めることがある。

また必要に応じて不足している習得知識についての補足説明を行い、今後の学習方法の改善に関して個々にフィードバックを行う。

（教科書）

配布するテキスト

（参考書）

化学系：

「基礎化学テキスト」（前期 基礎化学の講義で配布します）

「統合データベース」（<http://www.genome.jp/ja/>）

「製品評価技術基盤機構データベース」（<http://www.nite.go.jp/chem/index.html>）

物理系

「基礎物理学」教科書：原康夫著『第3版 物理学入門』学術図書出版社、2015

「医療工学」教科書：中島 裕編著『第6版 スタンダード歯科理工学』学建書院、2017

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/1	川口 稔	計測器の取り扱い	ノギスとマイクロメーターの測定原理を理解する。	ノギスとマイクロメーターを用いて試料の体積を測定する。	I-8	認知（解釈）	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	1.5
					誤差の算出方法と有効数字の意味を説明する。	I-8	認知（解釈）		
			光の波長測定	光の回折現象とその原理を理解する。	光の回折により観察される明点と実験条件からレーザー光の波長を求める。	I-8	認知（解釈）		
			重力加速度の測定	重力加速度の測定法を理解する。	振り子の周期から重力加速度を測定する。	I-8	認知（解釈）		
2	9/1	川口 稔	物質の密度測定	密度の意味と測定原理を理解する。	歯科で使用する種々の材料の密度を測定して同定を行う。	I-8	認知（解釈）	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	1.5
			高分子材料の膨潤性測定	高分子材料の膨潤を理解する。	高分子材料の膨潤・溶解現象を測定する。	I-8	認知（解釈）		
			物質の熱伝導性測定	熱伝導性を理解する。	様々な物質の熱伝導性を測定する。	I-8	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
3	9/8	川口 稔	実験結果の発表	実験結果のまとめと発表方法を理解する。	実験結果を集計し、考察を加えてプレゼンテーションを行う。	I-8	認知（解釈）	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	3.0
4	9/15	藤田亜美、石井健士	実習のあり方	実習の基本的な心得を学び、意義と目的を理解する。	教員からの実習についての説明を良く聞き、まじめな態度で実習に臨む。	I-8	認知（想起）	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	1.5
			試薬及び薬品の情報検索	様々な試薬及び薬品の情報検索法を学ぶ。	統合データベースにアクセスし医学歯学に関連する化学物質の情報を入手する。	I-8	認知（解釈）		
			実験機器の取り扱い	実習で取り扱う実験機器及び一般的な実験機器の取り扱い方を学ぶ。	実習で用いる実験機器（天秤、ガラス機器、ビベット、ビュレット等）を正しく取り扱う。	I-8	認知（解釈）		
			溶液の調製	溶液の濃度（質量%濃度、モル濃度）について理解する。	目的とする濃度の溶液を調製する。	I-8	認知（解釈）		
			実験廃液の取り扱い	実習において生じた廃液の危険性の有無、処理方法について学ぶ。	実習で生じた廃液を処理する。	I-8	認知（解釈）		
5	9/29	藤田亜美、石井健士	光化学	吸光スペクトラム、Bouguer-Lambert-Beerの法則について理解する。	物質の吸光スペクトラム、溶液の吸光度を測定する。	I-8	認知（解釈）	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	1.5
			実験データの取り扱い（光化学）	実験データを基にグラフの作成法を学ぶ。	実際のデータを用いてグラフを作成する。	I-8	認知（解釈）		
			未知溶液の検定	実験操作と測定結果の変化との因果関係を理解する。	溶液の濃度を任意の割合で変化させた時に起こる吸光度の変化から元の溶液の濃度を推測する。	I-8	認知（問題解決）		
			レポートの作成	レポートの作成法を学ぶ。	実習の結果をまとめてレポートを作成する。また、テキストの演習問題を解く。	I-8	認知（問題解決）		
6	10/6	藤田亜美、石井健士	酸と塩基	酸と塩基及び中和滴定について理解する。	中和滴定を行い、滴定量を測定する。	I-8	認知（解釈）	配布テキストを熟読し、実習内容を予習しておく。	2.0
			実験データの取り扱い（酸と塩基）	中和反応における濃度と滴定量の関係を理解する。	中和滴定における滴下量から酸または塩基の濃度を算出する。	I-8	認知（解釈）		
			未知溶液の検定	実験操作と測定結果の変化との因果関係を理解する。	中和反応を進めた時のpH変化から未知の酸の種類を推測する。	I-8	認知（問題解決）		
			レポートの作成	レポートの作成法を学ぶ。	実習の結果をまとめてレポートを作成する。また、テキストの演習問題を解く。	I-8	認知（問題解決）		

一般数学 【講義】

科目番号 OD011004

後期：15コマ

評価責任者：河本陽介

担当教員：河本陽介

（一般目標）

線形代数や確率論など統計学の基礎となる数学的な諸概念を理解することを目指して、数学における基礎知識の獲得と応用力の涵養とともに、数学的・論理的な思考法を習得する。また、統計学の初歩的な知識として資料の整理と、基本的な分析方法を理解する。

（教育方法）

教科書、プリント（資料）を利用した板書、スライド形式の講義と演習

（実習・演習）

（学習方法）

予習は特に必要ないがその分復習を重視し、講義後に教科書の該当箇所や配布したプリントをよく読んで、実際に問題を解くこと。特に次の講義日までに、講義で出てきた定義を自分で説明できるようにしておくことと、講義中に出した問題やプリントの問題を解けるようにしておくことが最低限必要である。

分からなくなった場合は、何度でも前の内容に戻る。そのため高校の教科書を準備しておくことが望ましい。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験で評価する。

また成績には入れないが、理解度を把握するため定期的に小テスト・演習を行い、理解度に応じて復習や解説をする。

（教科書）

石村園子著『やさしく学べる基礎数学 一線形代数・微分積分一』 共立出版

（参考書）

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/8	河本	資料の整理	記述統計学における基本的な統計量の定義や性質を学ぶ。	度数分布表、ヒストグラムを作成する。	I-8	認知（想起）	特になし	1.0
					平均値・中央値・最頻値について説明する。	I-8	認知（想起）		
2	9/15	河本	資料の整理	記述統計学における基本的な統計量の定義や性質を学ぶ。	標本分散、標準偏差について説明する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					2つの変数の関係を図示し、相関関係と相関係数を説明する。	I-8	認知（想起）		
3	9/15	河本	資料の整理	記述統計学における基本的な統計量の定義や性質を学ぶ。	相関係数から回帰直線を導く。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
4	9/29	河本	確率	確率の概念を理解し、基本事項を学ぶ。	確率の定義を理解し、公式を導く。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					一般的な確率の定義を使い計算する。	I-8	認知（想起）		
5	9/29	河本	確率	確率の概念を理解し、基本事項を学ぶ。	独立性を説明する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					ベイズの公式を導き、その応用例を調べる。	I-8	認知（想起）		
6	10/6	河本	確率	確率の概念を理解し、基本事項を学ぶ。	離散型確率変数の確率分布を求める。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					確率変数の期待値と分散を計算する。	I-8	認知（想起）		
7	10/6	河本	確率	確率の概念を理解し、基本事項を学ぶ。	二項分布について説明する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					ポアソン分布について説明する。	I-8	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
8	11/24	河本	演習及び解説					学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
9	11/24	河本	ベクトル	ベクトルを定義して基本的な性質を学ぶ。	ベクトルの演算を理解し、基本的な図形をベクトルを用いて表す。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					内積を計算し、その応用として2つのベクトルのなす角を求める。	I-8	認知（想起）		
10	12/1	河本	行列と連立一次方程式	連立一次方程式を通して、行列の定義や性質を学ぶ。	行列の性質を理解し、基本的な計算をする。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
11	12/1	河本	行列と連立一次方程式	連立一次方程式を通して、行列の定義や性質を学ぶ。	連立1次方程式を行列を用いて表す。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					行基本変形を行い、階段行列に変形する。	I-8	認知（想起）		
					行列の階数を求める。	I-8	認知（想起）		
12	12/8	河本	行列と連立一次方程式	連立一次方程式を通して、行列の定義や性質を学ぶ。	連立1次方程式の解の種類を説明する。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					正方行列の逆行列を掃き出し法で求める。	I-8	認知（想起）		
13	12/8	河本	行列と連立一次方程式	連立一次方程式を通して、行列の定義や性質を学ぶ。	正方行列の行列式を求める。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
					行列式と逆行列の関係を説明する。	I-8	認知（想起）		
					クラメールの公式を用いて連立1次方程式の解を求める。	I-8	認知（想起）		
14	12/15	河本	固有値と固有ベクトル	正方行列に対して固有値と固有ベクトルを定義し、正方行列の固有値・固有ベクトルの求め方を学ぶ。	固有値と固有ベクトルの定義を理解し、これらを求める。	I-8	認知（想起）	学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0
15	12/15	河本	演習及び解説					学習方法に記載したように前回の復習をする	1.0

細胞生物学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD011020

後期：26コマ
 評価責任者：日高真純
 担当教員：日高真純
 藤兼亮輔

（一般目標）

生体は、それを構成する細胞から器官系統のレベルに至るまで、互いに情報を伝達し合うことにより統一され、個体としての機能を発揮している。本授業では、DNAの構造と複製・修復のしくみ、遺伝子発現とその制御、遺伝子工学、細胞骨格、細胞の増殖や細胞死、遺伝のしくみ、組織の成り立ちなどについて学習し、生命現象の基礎を理解する。

（教育方法）

教科書に基づいた板書、資料プリント、及びプロジェクター等を用いた解説、レポート作成、及び演習問題（実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

授業前に下記の「予習の項目」の該当箇所を読んで講義内容の全体像をつかむこと。また、授業後には該当箇所の図を説明できるように復習すること 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 39.0 時間】

（評 価）

中間試験：40%、定期試験：60%、講義態度（レポート提出状況、出席状況等）も考慮する。
 中間試験後に解説を行う。すべての試験答案と評価を開示して質問を受け付ける。

（教 科 書）

B. Alberts他著、中村桂子他監訳「Essential 細胞生物学」第4版、南江堂、2016

（参 考 書）

和田 勝著「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」、第3版、羊土社、2015
 （生物を習ったことのない学生でもわかるように図を入れてやさしく解説してある）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/3	[1回] 日高	ユニット1 DNAの複製、修復、組換え	DNA複製、DNA修復、DNA組換えのしくみを理解する。	DNAの半保存的複製について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[1回] 教科書の197～211頁	1] 1.5
2	9/10	[2回] 日高			DNA複製に必要なタンパク質を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[2回] 教科書の197～211頁	2] 1.5
3	9/14	[3回] 日高			DNA複製におけるリーディング鎖とラギング鎖、及び、ラギング鎖のつなぎ合わせについて説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[3回] 教科書の211～222頁	3] 1.5
					テロメアとテロメラーゼによるDNAの末端複製問題の解決のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					突然変異の原因と、変異が遺伝子と生物に及ぼす影響を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					DNA修復反応の分子機構を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					DNAの相同性を利用した組換え反応を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					ゲノム上を動く遺伝因子（トランスポゾン）について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	9/17	[4回] 日高	ユニット2 DNAからタンパク質へ	遺伝情報の流れ（セントラルドグマ）における転写（DNAからRNA）、翻訳（RNAからタンパク質）のしくみを理解する。	DNAとRNAを構成するヌクレオチドの違いを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[4回] 教科書の223～238頁	[4] 1.5
5	9/24	[5回] 日高			転写を触媒するRNAポリメラーゼの働きを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[5回] 教科書の223～238頁	[5] 1.5
6	9/28	[6回] 日高			遺伝子発現に関わるmRNA、tRNA、rRNAの機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[6回] 教科書の238～259頁	[6] 1.5
					転写に関与するDNA上の構造を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					転写の開始、伸長、終結の各過程を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					遺伝暗号とは何か説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					遺伝暗号を解明した実験について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					tRNAが遺伝暗号とアミノ酸をつなぐしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					リボゾームの構造とその翻訳における働きを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
7	10/1	[7回] 日高	ユニット3 遺伝子発現の調節	遺伝子発現の調節の意義とそのしくみを理解する。	遺伝子発現調節の意義を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[7回] 教科書の261～270頁	[7] 1.5
8	10/5	[8回] 日高			DNA結合タンパク質の働きを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[8回] 教科書の261～270頁	[8] 1.5
9	10/15	[9回] 日高			遺伝子発現調節のしくみについて説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[9回] 教科書の270～287頁	[9] 1.5
					転写後の遺伝子発現調節のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
10	10/19	[10回] 日高	ユニット4 遺伝子とゲノムの進化	遺伝的変動が生み出すゲノムの進化の機構を理解する。	生殖細胞と体細胞における遺伝子変異の結果の違いを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[10回] 教科書の289～300頁	[10] 1.5
11	10/22	[11回] 日高			遺伝子点変異、重複、欠失、エキソンの混ぜ合わせ、水平伝播について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[11回] 教科書の300～324頁	[11] 1.5
					生物の進化系統樹について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					ヒトゲノム解読の意義を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
12	10/26	[12回] 日高	ユニット5 現在の組換えDNA技術	DNAの解析法及び、遺伝子組換え技術を用いた遺伝子クローニングの原理と安全性について理解する。	制限酵素の活性と、その利用法について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[12回] 教科書の325～330頁	[12] 1.5
13	10/29	[13回] 日高			DNAの解析法（ゲル電気泳動、塩基配列決定法）の原理を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[13回] 教科書の330～358頁	[13] 1.5
					cDNAライブラリーの構築法を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					PCR法の原理を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					遺伝子改変動物の作製法を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					遺伝子組換え生物取り扱いの規制について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
14	11/2	日高	中間試験（ユニット1～5）	ユニット1～5に関する知識を確認する。	ユニット1～5に関する演習問題を解く。	Ⅲ-1	認知（想起）	教科書の197～358頁	1.5
15	11/5	日高	中間試験（ユニット1～5）の復習	ユニット1～5に関する知識を習得する。	ユニット1～5に関する演習問題を復習する。	Ⅲ-1	認知（想起）	教科書の197～358頁	1.5
16	11/9	[16回] 藤兼	ユニット6 細胞骨格	細胞骨格（中間径フィラメント、微小管、アクチンフィラメント）の構造と機能を理解する。	細胞骨格の概要について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[16回] 教科書の565～601頁	[16] 1.5
17	11/12	[17回] 藤兼			中間径フィラメントの構造と性質、機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[17回] 教科書の565～601頁	[17] 1.5
18	11/16	[18回] 藤兼			微小管の構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[18回] 教科書の565～601頁	[18] 1.5
					微小管の動的不安定について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					微小管のモータータンパク質（ダイニンとキネシン）と微小管結合タンパクについて説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					アクチンフィラメントの構造と機能を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					アクチンのモータータンパク質（ミオシン）とアクチン結合タンパクについて説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					アクチンのトレッドミル運動について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					筋原線維の構造を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					筋収縮のしくみとその制御について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
19	11/19	[19回] 藤兼	ユニット7 細胞周期	細胞周期の調節機構と細胞分裂、細胞周期チェックポイントのしくみ、及び、細胞死について理解する。	細胞の増殖と細胞周期の過程を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[19回] 教科書の603～607頁	[19] 1.5
20	11/26	[20回] 藤兼			サイクリンが細胞周期を調節するしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[20回] 教科書の607～629頁	[20] 1.5
21	11/30	[21回] 藤兼			サイクリン依存タンパクキナーゼの機能と調節機構について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[21回] 教科書の629～644頁	[21] 1.5
					細胞周期チェックポイントの機能と調節機構について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					有糸分裂の過程を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					有糸分裂における細胞骨格（微小管、アクチンフィラメント）の役割を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
					アポトーシスとネクローシスの違いを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
22	12/3	[22回] 日高	ユニット8 有性生殖と遺伝学の力	有性生殖の意義と、遺伝、減数分裂のしくみを理解する。	有性生殖の意義を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[22回] 教科書の645～648頁	[22] 1.5
23	12/7	[23回] 日高			減数分裂のしくみと、体細胞分裂との違いを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[23回] 教科書の648～657頁	[23] 1.5
24	12/10	[24回] 日高			メンデルの遺伝の法則を説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	[24回] 教科書の657～681頁	[24] 1.5
					連鎖、交差のしくみを説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
25	12/14	[25回] 日高	ユニット9 組織のつくる社会：組織、幹細胞、がん	組織の成り立ちと維持、及び、がんについて理解する。	細胞外マトリクスと結合組織について説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	[25回] 教科書の683～701頁	[25] 1.5
26	12/17	[26回] 日高			上皮層と細胞結合について説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	[26回] 教科書の702～726頁	[26] 1.5
					胚性幹細胞とiPS細胞の特徴と作製法について説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					がんと遺伝子について説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）		

細胞化学 【講義】

科目番号 OD011011

後期：22コマ

評価責任者：藤田 亜美

担当教員：藤田 亜美
石井 健士

（一般目標）

医学・口腔医学の基礎・専門科目を理解するために、生体に関わる有機化合物の基本的な構造と性質、有機化学反応および生体を構成する高分子の構造と性質について学習し、理解に必要な化学的な基礎知識を修得する。

（教育方法）

資料集、配布資料および板書を中心とした講義を行う。

（学習方法）

資料集・配布資料および板書を中心とした学習を基本とする。学習効果を高めるために、授業前には資料集や下記の参考書の関連部分を読んでおくこと。授業中は講義内容をまじめに聞き、板書をしっかりとノートすること。授業後は講義ノートをよく見直し、授業中に提示された問題や資料集に記載されている演習問題を必ず自分で解き、復習すること。資料集に発展問題がある場合は適宜学習し、総合的な理解を深める。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 26.0 時間】

（評価）

中間試験（2回）と定期試験の配点比率をほぼ2：8とし、総合的に判定する。
試験後、模範解答を掲示する。

（教科書）

特に指定しない。

（参考書）

- ①中村桂子・松原謙一監訳『Essential 細胞生物学（原書4版）』、南光堂
②上山 憲一、綱澤 進 著『バイオテクノロジーテキストシリーズ 化学』IBS出版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/4	藤田	ユニット1 有機化合物の基本	有機化合物とは何かについて説明できる。	有機化合物と無機化合物を区別できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	基礎化学の講義ノートや資料の関連する項目に目を通しておく。	0.5
					有機化合物の表記法の種類について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					有機化合物を構造式で表すことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
			ユニット2-1 炭化水素（1）	炭化水素の分類を説明できる。	炭化水素の定義について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					炭化水素を分類できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
2	9/11	藤田	ユニット2-2 炭化水素（2）	アルカンの構造や性質について説明できる。	アルカンの命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	2] 0.5
3	9/11				アルカンの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		3] 0.5
4	9/18	藤田	ユニット2-3 炭化水素（3）	アルケンやアルキンの構造や性質について説明できる。	アルケンの命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					アルケンの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					アルキンの命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					アルキンの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
5	9/18	藤田	ユニット2-4 炭化水素（4）	環式炭化水素の構造や性質について説明できる。	シクロアルカンの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					芳香族化合物の命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					芳香族化合物の構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6	9/25	藤田	ユニット3-1 酸素を含む有機化合物 （1）	アルコールとフェノールの構造や性質について説明できる。	アルコールの命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	6] 0.5
7	9/25				アルコールの分類ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		7] 0.5
					アルコールの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					フェノールの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
8	10/9	藤田	ユニット3-2 酸素を含む有機化合物 （2）	エーテルの構造や性質について説明できる。	エーテルの命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					エーテルの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
			ユニット3-3 酸素を含む有機化合物 （3）	アルデヒドとケトンの構造や性質について説明できる。	アルデヒドとケトンの命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					アルデヒドの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					ケトンの構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
9	10/9	藤田	ユニット3-4 酸素を含む有機化合物 （4）	カルボン酸の構造や性質について説明できる。	カルボン酸の命名ができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					カルボン酸の構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
10	10/16	藤田	ユニット4 窒素・硫黄・リンを含む有機化合物	窒素・硫黄・リンを含む有機化合物の構造や性質について説明できる。	窒素を含む有機化合物の構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	配布された資料の該当項目に目を通しておく。	0.5
					硫黄を含む有機化合物の構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					リンを含む有機化合物の構造の特徴や性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
11	10/23	藤田、石井	中間試験1（ユニット1～4）	－	－	Ⅲ-1		配布された資料や講義ノートの該当項目を復習しておく。	8.0
12	10/30	石井 健士	ユニット5 生体分子の構成元素	生体分子を構成する主な元素について学ぶ。	細胞を構成する分子の組成を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
					生体分子の主な構成元素の種類、特徴を述べることができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					分子の数量を表す単位（アボガドロ数、モル数、モル濃度、分子量など）を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
13	11/6	石井 健士	ユニット6 生体分子の化学結合	生体分子を形成する化学結合について学ぶ。	生体分子中で形成される共有結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
					親水性と疎水性について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					生体分子における水素結合の重要性について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					疎水結合の性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					イオン結合と電解質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
14	11/13	石井 健士	ユニット7 生体分子の分離方法	生体分子の分離法の化学的な原理について学ぶ。	クロマトグラフィーにおける担体と移動相について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
					ゲルろ過、逆相クロマト、イオン交換などの分離法の原理を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					薄層クロマトグラフィーの原理について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
15	11/13	石井 健士	ユニット8 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチド	遺伝子を構成する核酸の構造や化学的な性質を学ぶ。	塩基の基本的な構造について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
					5種類の塩基の違いを見分けることができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの違いを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					リン酸基による高エネルギー結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
16	11/20	石井 健士	ユニット9 DNA、RNA	遺伝子の本体であるDNAやRNAの成り立ちや構造、化学的な性質について学ぶ。	DNAとRNAの構造的な違いについて説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
					DNAやRNAがポリマーであることを説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					ホスホジエステル結合について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					塩基間で対合が起こる原理について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					DNAの二重らせん構造が形成される原理を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					DNAの変性が起こる原理を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
17	11/20	石井 健士	ユニット10 アミノ酸	アミノ酸の構造と化学的な性質について学ぶ。	アミノ酸の基本構造について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
					アミノ酸の両性電解質としての性質について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					アミノ酸に存在する光学異性体について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					側鎖の違いにより生じる化学的な性質を説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					それぞれのアミノ酸を化学的な性質により比較分類できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
					アミノ酸の持つ等電点について説明できる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
18	11/27	石井 健士	ユニット1 1 ペプチド、タンパク質	タンパク質の構成や化学的な性質、立体構造の成り立ちの仕組みを学ぶ。	ペプチド結合について説明できる。 タンパク質がアミノ酸のポリマーであることを説明できる。 タンパク質の化学的な性質について説明できる。 アミノ酸組成の違いによりタンパク質の性質が変化することを説明できる。 イオン結合、水素結合、ジスルフィド結合によって高次構造が形成されるメカニズムを説明できる。 タンパク質の変性が起こる原理について説明できる。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
19	11/27	石井 健士	ユニット1 2 脂質	脂質の構造と化学的な性質について学ぶ。	脂肪酸の構造と性質について説明できる。 脂質の構造について説明できる。 脂質が凝集を起こす化学的な原理について説明できる。 単純脂質、複合脂質、誘導脂質の違いを説明できる。 中性脂肪、ろう、コレステロール、リン脂質、糖脂質の化学的な性質を説明できる。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
20	12/11	石井 健士	ユニット1 3 糖	糖の構造と化学的な性質を学ぶ。	単糖の定義を説明できる。 ケトースとアルドースを見分けることができる。 光学異性体の存在について説明できる。 環状構造におけるヘミアセタール構造やα、βアノマーについて説明できる。 単糖の種類を見分けることができる。 単糖の化学的な修飾とその特徴について説明できる。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
21	12/11	石井 健士	ユニット1 3 糖	糖の構造と化学的な性質を学ぶ。	グリコシド結合について説明できる。 糖のポリマー化について説明できる。 二糖の種類を見分けることができる。また、それぞれの糖の化学的な特徴を説明できる。 多糖の結合様式について説明できる。 オリゴ糖、ホモ多糖の構造、特徴について説明できる。 ヘテロ多糖の成り立ち、特徴について説明できる。 スクロースとう蝕の関係について説明できる。	Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1 Ⅲ-1	認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈）	該当項目のテキストに目を通しておく	0.5
22	12/18	石井 健士、藤田 亜美	まとめ2（ユニット5～13）	ユニット5～13で学習した知識を再確認する。	ユニット5～13で学習した内容についての発展問題を解くことができる。	Ⅲ-1	認知（解釈）	該当項目について配布された資料と講義ノートを復習しておく	8.0

Practical English I 【講義】

科目番号 OD011007

後期：15コマ

評価責任者：学生部長、壬生正博

David Haynes

担当教員：Robert Hulse

Vincent Goto

（一般目標）

In face-to-face communication, students should be able to:

- use appropriate expressions in each situation
- understand "who, what, when, where" type questions and answer them correctly
- understand simple questions and statements related to daily life and correspond to them
- understand minimum courtesy on interpersonal communication

（教育方法）

The method of instruction is a student-centered one with different speaking activities such as games, role plays, information gaps, dialogues, and interview. Occasionally quizzes and review exercises will be given.

（グループワーク）

（学習方法）

Read out the sentences from the textbook many times, and memorize them before and after every class. 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

Graded comprehensively from class performance, regular exam, etc.: post the grades after the regular exam

（教科書）

Encounters Book 1 (Nan'un-do)

This course book helps learners to communicate confidently and fluently.

（参考書）

Japanese-English dictionary

English-Japanese dictionary

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/2	Haynes, Hulse, Goto	Unit 1 I Don't Think We've Met : Conversation Sitages	Learning, using and applying the various English expressions (Unit 1)	Speaking: Self introduction, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
2	9/9	Haynes, Hulse, Goto	Unit 2 I Don't Think We've Met : Model Conversation	Learning, using and applying the various English expressions (Unit 2)	Reading and asking about other people, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
3	9/16	Haynes, Hulse, Goto	Unit 3 I Don't Think We've Met : Grammar Focus, Pronunciation Tips	Learning, using and applying the various English expressions (Unit 3)	Reading & info gap: the world, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
4	9/23	Haynes, Hulse, Goto	Unit 4 I Don't Think We've Met : Listen Up!, Putting It All Together	Learning, using and applying the various English expressions (Unit 4)	Listening: shopping, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
5	9/30	Haynes, Hulse, Goto	Unit 5 I Don't Think We've Met : Self-Assessment	Learning, using and applying the various English expressions (Unit 5)	Reading and listening: how to help, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6	10/7	Haynes, Hulse, Goto	Unit 6 Do You Have a Minute? : Conversation Sitages	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 6)	Listening: Mini-dialogues using gestures, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
7	10/14	Haynes, Hulse, Goto	Unit 7 Do You Have a Minute? : Model Conversation	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 7)	Reading and listening: My daily life, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
8	10/21	Haynes, Hulse, Goto	Unit 8 Do You Have a Minute? : Grammaer Focus, Pronunciation Tips	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 8)	Interview: Can you...?, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
9	10/28	Haynes, Hulse, Goto	Unit 9 Do You Have a Minute? : Listen Up!, Putting It All Together	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 9)	Listening and speaking: What do you usually do - -, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
10	11/4	Haynes, Hulse, Goto	Unit 10 Do You Have a Minute? : Self-Assessment	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 10)	Writing about famous persons, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
11	11/11	Haynes, Hulse, Goto	Unit 11 How Was Your Weekend? : Conversation Sitages	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 11)	Survey: Are you allowed to ...?, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
12	11/18	Haynes, Hulse, Goto	Unit 12 How Was Your Weekend? : Model Conversation	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 12)	Speaking: where does that plant go?, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
13	11/25	Haynes, Hulse, Goto	Unit 13 How Was Your Weekend? : Grammaer Focus, Pronunciation Tips	Learning, using and applying the various Englihs expressions (Unit 13)	talking about my experiences, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
14	12/2	Haynes, Hulse, Goto	Unit 14 How Was Your Weekend? : Listen Up!, Putting It All Together	Learning, Review, oral exam	Reading and listening: my school life, etc.	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0
15	12/9	Haynes, Hulse, Goto	Unit 15 Review and Oral Test. Self-Assessment	Review, oral exam	Review, oral exam	VI-4	認知（想起）	テキストの音読、語句や文章の暗唱、会話練習	1.0

系統解剖学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011104

後期：15コマ

評価責任者： 畠山 雄次

担当教員： 畠山 雄次、児玉 淳、北河 憲雄、大谷 崇仁、緒方佳代子、林 慶和

（一般目標）

人体の構造と機能を理解する上で最も基礎となる解剖学を、系統解剖学的に基本となる骨学から修得する。

（教育方法）

板書・配布資料等を中心とした講義を行う。また講義で学習した形態を3次元構造で理解・認識するために、各人で頭蓋標本のスケッチを行う。

（実習・演習）

（学習方法）

教科書や骨標本を参照・観察しながら、解剖学の基本と骨学の内容を理解する。

講義に欠かさず出席し、予習と特に復習に力を入れて整理していくこと。

2回目以降の講義から、前回の講義内容の小テストを行う。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

定期試験（100%）

小テストの試験終了後、直ちに内容について解説を行い、結果は次回の講義回までに講義教室へ掲示する。定期試験の解説・結果については試験終了後、公表可能な範囲で総評と合わせて行う。

理解が不十分な項目は、補講の開設・受講等により補う。

（教 科 書）

人体解剖学 改訂42版 藤田恒太郎 南江堂

口腔医学を学ぶために必要な人体の基本構造を簡潔にまとめている（1年から6年まで使用します）

（参 考 書）

1：ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第2版 医歯薬出版

2：森 於菟 他著「分担解剖学 1・2・3 第11版」金原出版 1992

3：グレイ解剖学 原著第4版（電子書籍付） エルゼビアジャパン

4：イラスト解剖学 松村護児 中外医学社

5：口腔解剖学 第2版 医歯薬出版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O S）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/3	児玉	ユニット1 骨学総論	骨の構造と役割を理解する。	骨の基本的役割を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ	1.0
					骨の形態用語が列挙できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					骨の構造について説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
2	9/10	児玉	ユニット2 骨学各論	体幹の骨を説明できる。	体幹の骨が列挙できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ	1.0
					胸郭について説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					胸骨、肋軟骨、肋骨の形態的特徴を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
3	9/17	児玉	ユニット2 骨学各論	体幹の骨を説明できる。	椎骨の基本構造（椎体、椎弓、横突起、棘突起、椎孔）を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ	1.0
					頸椎、胸椎、腰椎、仙椎（骨）、尾椎（骨）の形態的特徴を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
4	9/24	児玉	ユニット3 骨学各論	上肢の骨について説明できる。	上肢の骨を分類できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ	1.0
					上肢帯の骨を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					自由上肢の骨を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
5	10/1	児玉	ユニット4 骨学各論	下肢の骨について説明できる。	下肢の骨を分類できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書第2章「骨学総論」5-17ページ	1.0
					下肢帯の骨を説明できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					自由下肢の骨を説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6	10/15	児玉	ユニット5 骨学各論	頭の骨について説明できる。	頭蓋を頭蓋骨と顔面骨に分類する。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					頭に存在する骨の構成を説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
					頭の骨の連結について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
					頭の骨の機能について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
7	10/22	児玉	ユニット5 骨学各論	頭の骨について説明できる。	頭蓋を頭蓋骨と顔面骨に分類する。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					頭蓋骨を脳頭蓋と顔面頭蓋に区分する。	Ⅲ-6	認知（想起）		
					体表から触れることのできる頭蓋の形態の部位を解剖する。	Ⅲ-6	認知（想起）		
8	10/29	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	頭蓋骨に属する前頭骨、頭頂骨、側頭骨、後頭骨、蝶形骨、篩骨、涙骨、鼻骨、下鼻甲介、鋤骨を説明できる。側頭窩について説明する。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					頭蓋骨に属する骨に存在する孔、棘、頭、突起、隆起、切痕等について説明できる。側頭下窩について説明する。	Ⅲ-6	認知（想起）		
9	11/5	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	顔面骨に属する頬骨、上顎骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨を説明できる。内頭蓋底、外頭蓋底に存在する孔、裂、窩、突起等について述べる。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					顔面骨に属する骨に存在する孔、棘、頭、突起、隆起、切痕等について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
10	11/12	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	眼窩、鼻腔、口腔を構成する骨を説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					側頭窩、側頭下窩、翼口蓋窩を説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
11	11/19	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	内頭蓋底、外頭蓋底を説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					内頭蓋底、外頭蓋底を構成する骨を説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
12	11/26	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	頭蓋の各部における交通（導通路）について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
13	12/3	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	顎関節について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					頭蓋に付着する筋とその付着部について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
14	12/10	児玉	ユニット6 頭蓋各論	頭蓋について説明できる。	下顎骨の運動について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）	教科書第10章「頭頸部の骨」94-120ページ	1.0
					頭蓋の成長様式について説明できる。	Ⅲ-6	認知（想起）		
15	12/17	児玉、畠山、北河、大谷、緒方、林	ユニット7 頭蓋スケッチ	頭蓋をスケッチし、名称、位置、構造、形態を理解する。資料配布：スケッチ実習のてびき	これまで学んだ頭蓋をスケッチし解剖する。	Ⅲ-6	認知（解釈）	講義中および実習前に配布されるプリント	1.0

生理学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011105

後期：15コマ

評価責任者：岡部幸司

担当教員：岡部幸司、岡本富士雄、鍛冶屋 浩、進 正史

（一般目標）

人体は細胞から構成され、組織、器官、器官系、個体レベルで構造的・機能的に統合されている。生理学では、細胞から個体レベルにおける正常な機能とそれらの統合メカニズムを理解することを目的とする。講義では授業内容を大きく動物機能と植物機能に分け、先ず、生理学Ⅰでは動物機能の中心である神経、筋、感覚器系と植物機能を司る自律神経系の基本的機能について学習する。

（教育方法）

講義ユニット毎に配付する資料及び教科書に沿って行動目標に掲げた内容をスライドや板書により解説する。

（学習方法）

授業前に教科書に目を通し、初めて見る専門用語や語句にマーカーや付箋で印を付ける。授業後は配布資料、作成した講義ノート、教科書をもとに講義の概要を要約し、グループ学習等を通じて重要事項を共有する。また、中間試験により理解度を確認し、理解不足の項目は教科書や参考書で復習する。また、チューデントアシスタント及び教員への質疑を通じて補完する。総合学力試験に向けての対策には、配布資料、ノート、教科書に加えMoodleに掲載したe-learning教材を活用する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

中間試験（記述式）20～30%、定期試験（記述式）70～80%、ノート作成及び課題レポート等の提出物についても成績評価の対象にする。詳細は講義の初日に説明する。中間試験は試験終了後解説し、成績は概ね2週間以内に通知する。定期試験の成績は試験終了後、概ね2週間以内に総評と共に通知する。理解が不十分な項目は補講や課題レポート提出により補う。

（教科書）

森本俊文、二ノ宮裕三、山田好秋、岩田幸一 編 「基礎歯科生理学 第6版」 医歯薬出版 2014 （第7版が発刊予定）
（全身から口腔領域にわたって生理学の基本的事項が簡潔かつ解りやすく記載されている。口腔医学を学ぶ上で有用なテキストである。2年生で履修する生理学Ⅱ及び3年生の口腔生理学でも本教科書を使用するため、1年から3年で学んだ知識の統合に有用である。）

（参考書）

大地陸男 著 「生理学テキスト 第8版」 文光堂 2017
（生理学の基本的事項が豊富な図表によって簡潔かつ解りやすく記載されている。口腔医学を学ぶ上で有用なテキストである。）

岡田泰伸 監訳 「ギャノン生理学 原書25版」 丸善出版 2017
（基礎から臨床生理学まで最新の知見も含め簡潔にまとめられている。口腔医学を学ぶ上で有用なテキストである。教科書の副読本に適する。）

小澤清司、福田康一郎 総集編 「標準生理学 第8版」 医学書院 2014
（生理学全般を広く網羅し、生命現象のメカニズムが詳しく解説されている。実習や演習の参考書に適している。）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/3	岡部	ユニット1 興奮性組織（神経）の機能	神経系の構成及び神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	中枢神経系と末梢神経系の構成を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp19-27, p229-239	0.5
					中枢神経系の機能を概説する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
					体性神経と自律神経の機能を概説する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
2	9/10	岡部	ユニット1 興奮性組織（神経）の機能	神経系の構成及び神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	ニューロンの静止電位と活動電位の発生機序を説明する。	Ⅲ-1	認知（解釈）	教科書のp25-36	0.5
					興奮伝導速度により神経線維を分類する。	Ⅲ-1	認知（想起）		
3	9/17	岡部	ユニット1 興奮性組織（神経）の機能	神経系の構成及び神経の興奮伝導とシナプス伝達の機序を理解する。	シナプスの構造と伝達物質及び興奮伝達機序を説明する。	Ⅲ-1	認知（解釈）	教科書のp37-43	0.5
					興奮性シナプスと抑制性シナプスの特徴を比較し、相違点と機能を述べる。	Ⅲ-1	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	9/24	進	ユニット2 興奮性組織（筋）の機能	骨格筋の構造と収縮機序及び収縮特性を理解する。	骨格筋の構造と収縮機序を説明する。	Ⅲ-1	認知（解釈）	教科書のp43-45	0.5
					神経一筋接合部における興奮伝達機序を説明する。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
5	10/1	進	ユニット2 興奮性組織（筋）の機能	骨格筋の構造と収縮機序及び収縮特性を理解する。	等張性収縮と等尺性収縮の違いを説明する。	Ⅲ-2	認知（解釈）	教科書のp46-50	1.0
					心筋と平滑筋の構造を骨格筋と比較し、相違点を説明する。	Ⅲ-2	認知（解釈）		
6	10/15	岡部	ユニット3 自律神経の構造と機能	自律神経系の構成と機能について理解する。	神経性調節と液性（内分泌性）調節を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp229-233	1.0
					自律神経調節の特徴を述べる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
7	10/22	岡部、進、岡本、鍛冶屋	中間試験及び解説	-	-	Ⅲ-2		1回～6回までの講義で配付した資料とノート及び教科書	3.0
8	10/29	岡部	ユニット3 自律神経の構造と機能	自律神経系の構成と機能について理解する。	自律神経系における神経伝達物質と受容体について説明する。	Ⅲ-1	認知（想起）	教科書のp117-119, p233-237	1.0
9	11/5	岡部	ユニット3 自律神経の構造と機能	自律神経系の構成と機能について理解する。	各器官臓器に対する交感神経と副交感神経の支配と作用を述べる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp160-161, p237-244	1.0
10	11/12	岡本	ユニット4 運動機能と反射	反射の種類と反射弓を理解する。	運動単位と反射弓の構成について述べる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp175-184	1.0
					筋紡錘及びゴルジ腱器官の構造と機能を説明する。	Ⅲ-2	認知（解釈）		
11	11/19	岡本	ユニット4 運動機能と反射	反射の種類と反射弓を理解する。	屈曲反射と伸張反射の機序を説明し、両者の特徴を述べる。	Ⅲ-2	認知（解釈）	教科書のp178-184	1.0
					γ 運動ニューロンの役割と α - γ 連関について説明する。	Ⅲ-2	認知（解釈）		
12	11/26	岡本	ユニット4 運動機能と反射	反射の種類と反射弓を理解する。	脳幹における姿勢制御の仕組みを説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp184-188	1.0
					姿勢制御に関わる反射を列挙し、その機能的意義を説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）		
13	12/3	鍛冶屋	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚及び内臓感覚の種類と性質について理解する。	感覚を分類し、刺激の種類と受容器について説明する。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp139-143	1.0
					感覚受容器の種類と受容器電位とインパルスの発生機序を説明する。	Ⅲ-1	認知（解釈）		
14	12/10	鍛冶屋	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚及び内臓感覚の種類と性質について理解する。	体性感覚を分類し、特徴を述べる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp139-143, p158-167	1.0
					臓器感覚の種類を挙げ特徴を述べる。	Ⅲ-2	認知（想起）		
15	12/17	鍛冶屋	ユニット5 感覚機能	体性感覚と特殊感覚及び内臓感覚の種類と性質について理解する。	視覚、聴覚、平衡感覚、嗅覚、味覚の受容器の構造と受容機序を概説できる。	Ⅲ-2	認知（想起）	教科書のp145-159, p168-171	1.0
					体性感覚と特殊感覚の伝導路を概説できる。	Ⅲ-2	認知（想起）		

歯科理工学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD011106

後期：19コマ

評価責任者：都留寛治

担当教員：都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

（一般目標）

歯科治療で使用する材料や器械の正しい選択と取扱いができるために、歯科材料の基本的性質（物理的性質、化学的性質、生物学的性質）とその使用法に基づいて分類し、その組成、硬化反応、基本的な性質を理解し必要な特性を発現させるための基盤的知識を身につける。

（教育方法）

指定教科書の解説を中心に、補助学習のプリントの配布とe-Learningを行う。

【資源】

講義には教科書「スタンダード歯科理工学」を持参すること。

（実習・演習）

（学習方法）

【予習方法】

授業前にスタンダード歯科理工学の該当箇所を通読し、理解できない語句を調べてノートにまとめておくこと。

【復習方法】

授業実施時に配布するプリントを用いて、スタンダード歯科理工学の該当箇所を復習する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 19.0 時間】

（評価）

【評価の割合】

定期試験による評価（100%）

【フィードバックの時期と方法】

フィードバックの時期：試験終了後

フィードバックの方法：試験結果に基づき、追加学習すべき項目を掲示する。

*試験に関する案内は、8F歯科医療工学講座生体工学分野の掲示板を用いて行うので試験前には必ず確認すること。

*授業を欠席した場合は配布プリントを各自で受け取りに来ること。

（教科書）

中嶋 裕 他 監修『スタンダード歯科理工学第7版』：学建書院：2019

（参考書）

歯科理工学会編：歯科理工学教育用語集 第3版、医歯薬出版、2018。

（歯科理工学の専門用語を解説したもので、歯科理工学を学ぶ時の辞書として有用である。）

宮崎隆他編：臨床歯科理工学、医歯薬出版、2006。

（歯科における疾患別に利用される歯科材料が豊富なカラー写真や図とともに解説されており、臨床治療と歯科材料とも関わりが理解しやすい。）

日比野靖著：「歯科理工学サイドルーザー第6版、学建書院2008。

（歯科材料の特徴および物性を簡潔にまとめているので歯科材料全体の把握に便利である。後半部には演習形式の設問や歯科医師国家試験の過去問の解説があり知識の整理に役立つ。）

小倉英夫他編：コア歯科理工学、医歯薬出版、2008。

（臨床実習に必要な歯科理工学関連の知識について初学者を対象として多くの図表を用い平易に解説している。）

中村正明他編：目で見える歯科理工学、医歯薬出版、1992

（イラストを豊富に使用し、歯科臨床的視点からの記述が多いため、歯科臨床との関係を理解する一助となる。）

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/2	都留	歯科治療と歯科材料	歯科治療と歯科材料を関係づける。	歯科治療と歯科材料を関係づける。	Ⅲ-21	認知（想起）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
2	9/9	[2回] 都留	歯科材料の基本的性質	歯科材料を材料の基本的性質（物理・化学・生物・光学）から理解するための基盤的知識を修得する。	歯科材料の種類と構造を理解できる。	Ⅲ-21	認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	2] 1.0
3	9/16	[3回] 佐藤			歯科材料の力学的・熱的・化学的・生物学的性質とその評価法を説明できる。	Ⅲ-21	認知（解釈）		3] 1.0
4	9/23	[4回] 都留			歯科材料の生体安全性を説明できる。	Ⅲ-21	認知（解釈）		4] 1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
5	9/30	都留	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	グラスアイオノマーセメントの分類を列挙できる。 グラスアイオノマーセメントの成分・組成を列挙できる。 グラスアイオノマーセメントの硬化反応を説明できる。 グラスアイオノマーセメントの特性および操作方法を説明できる。	III-21 III-21 III-21 III-21	認知（想起） 認知（想起） 認知（解釈） 認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
6	10/7	[6回] 梶本 [7回] 梶本 [8回] 梶本	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	コンポジットレジンに求められる所用性質を説明できる。	III-21	認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	6] 1.0 7] 1.0 8] 1.0
7	10/14				コンポジットレジンの分類を列挙できる。	III-21	認知（想起）		
8	10/16				コンポジットレジンの成分・組成を列挙できる。	III-21	認知（想起）		
					コンポジットレジンの硬化反応を説明できる。	III-21	認知（解釈）		
					コンポジットレジンの特性および操作方法を説明できる。	III-21	認知（解釈）		
9	10/21	佐藤	成形修復材料	成形修復材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所用性質を発現させるための基礎知識を修得する。	歯科用アマルガムの成分・組成を列挙できる。 歯科用アマルガムの硬化反応を説明できる。 歯科用アマルガムの安全性を説明できる。	III-21 III-21 III-21	認知（想起） 認知（解釈） 認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
10	10/23	丸田	鑄造操作の流れ	鑄造操作の流れを理解する。	鑄造に用いる歯科材料とその役割が説明できる。	III-21	認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0
11	10/28	[11回] 丸田 [12回] 丸田	印象用材料	印象用材料を分類し、それぞれの用途、成分・組成、特性、操作方法を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	印象材に求められる所要性質を説明できる。	III-21	認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	11] 1.0 12] 1.0
12	10/30				印象材の分類を列挙できる。	III-21	認知（想起）		
					印象材の成分・組成を列挙できる。	III-21	認知（想起）		
					印象材の硬化反応を説明できる。	III-21	認知（解釈）		
					印象材の特性および操作方法を説明できる。	III-21	認知（解釈）		
13	11/4	[13回] 都留 [14回] 都留	模型用材料	模型用材料を分類し、それぞれの組成・硬化反応を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	模型材に求められる所要性質を説明できる。	III-21	認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	13] 1.0 14] 1.0
14	11/11				模型材の分類を列挙できる。	III-21	認知（想起）		
					模型材の硬化反応を説明できる。	III-21	認知（解釈）		
					模型材の特性および操作方法を説明できる。	III-21	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
15 16	11/18 11/25	[15回] 丸田 [16回] 丸田	パターン材	パターン材を分類し、それぞれの組成・熱的性質を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	パターン材に求められる所要性質を説明できる。 パターン材の分類を列挙できる。 パターン材の成分・組成を列挙できる。 パターン材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21 Ⅲ-21 Ⅲ-21 Ⅲ-21	認知（解釈） 認知（想起） 認知（想起） 認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	15] 1.0 16] 1.0
17 18	12/2 12/9	[17回] 都留 [18回] 都留	埋没材	埋没材を分類し、それぞれの組成と硬化反応を理解することにより必要な所要性質を発現させるための基盤的知識を修得する。	埋没材に求められる所要性質を説明できる。 埋没材の分類を列挙できる。 埋没材の硬化反応を説明できる。 埋没材の特性および操作方法を説明できる。	Ⅲ-21 Ⅲ-21 Ⅲ-21 Ⅲ-21	認知（解釈） 認知（想起） 認知（解釈） 認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	17] 1.0 18] 1.0
19	12/16	梶本	鑄造欠陥	それぞれの鑄造用材料の所用性質を発現させるための適切な鑄造操作を修得する。	鑄造操作が列挙できる。 鑄造欠陥とその防止法を説明できる。	Ⅲ-21 Ⅲ-21	認知（想起） 認知（解釈）	スタンダード歯科理工学の該当するページ（ユニット名に準じる）を事前に読んでくること。	1.0

介護施設体験実習【実習】

科目番号 OD011201

後期：15コマ

評価責任者：永井 淳（地域連携センター）

担当教員：永井 淳（地域連携センター）
川口 稔（歯科医療工学講座 材料工学分野）
内藤 徹（総合歯科学講座 高齢者歯科学分野）
壬生正博（医療人間学講座 言語情報学分野）
中島與志行（介護老人保健施設 サンシャインシティ 施設長）
山川公明（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 施設長）
堺 美雪（介護老人保健施設 サンシャインシティ 介護長）
横手政代（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 介護長）
安井みずえ（介護老人保健施設 サンシャインシティ 歯科衛生士）
黒松幸絵（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 歯科衛生士）
中村智美（介護老人福祉施設 サンシャインプラザ 生活相談員）
秋竹 純（福岡医療短期大学 保健福祉学科）

（一般目標）

要介護高齢者に対する生活支援（食事の介助や口腔ケア）の場を実地に体験し、要介護高齢者に対する多職種で連携した生活支援についての生きた知識を得る。

（教育方法）

講義、グループワーク、小グループによる実習体験
（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（フィールドワーク）（実習・演習）

（学習方法）

予習：各回の予習項目を読み、実行する。
【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

実習および13～15回のプレゼンテーションの出席を評価の前提とする。また、感染症や挙動などで施設利用者に動揺を与える恐れが高いと判断された場合は、ただちに退去を申し渡し、欠席とする。欠席した場合には翌年の再履修を勧告する。
成績評価 実習中の態度（50%）およびプレゼンテーションの評価（50%）を加算し、100点満点で表示する。
フィードバック 実習態度については実習時間中に、プレゼンテーションの評価は講評の時間中にフィードバックする。

（教科書）

特に指定しない

（参考書）

特に指定しない

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	9/25	永井	ユニット1 オリエンテーション	介護施設実習の意義を理解する。	要介護高齢者の生活支援の実際を理解する。	I-7	精神運動（支援部分）	地域高齢者への医療制度・介護制度について前期キャリアデザイン／地域医療の印刷教材で復習する。	1.0
					要介護高齢者の生活の場としての介護保険施設を理解する。	V-2	認知（解釈）		
					要介護高齢者の生活を支援する職種の連携作業を理解する。	V-2	認知（解釈）		
					要介護高齢者および家族の心情を思いやりながら見学実習を行なう真摯な態度を養う。	II-4	情意（自己対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
2	9/25	永井	ユニット2 安心安全の介護施設実習のためのイントロダクション	高齢者の身体機能・認知機能・免疫機能・口腔機能の特徴を理解する。	フレイル、サルコペニアを説明できる。	Ⅲ-14	認知（想起）	[2回] 地域高齢者への医療施設・介護施設について前期キャリアデザイン／地域医療の印刷教材で復習する。 [3回] 咳エチケットはどのようなエチケットかを調べておく。	2] 1.0 3] 1.0
3	9/25				要介護化の原因となる疾患について説明できる。	Ⅲ-22	認知（想起）		
					オーラルフレイルについて理解する。	Ⅲ-14	認知（想起）		
					口から食べることの重要性を理解する。	V-4	認知（解釈）		
					認知症について理解する。	I-6	認知（想起）		
					記憶障害の影響が現れにくい記憶について説明できる。	I-8	認知（解釈）		
					易感染性について理解する。	V-3	認知（想起）		
					介護施設での感染防止対策について説明できる。	Ⅲ-22	認知（想起）		
					咳エチケットを身につける。	Ⅲ-22	精神運動（支援部分）		
					マスクの正しい装着方法を身につける。	Ⅲ-22	精神運動（支援部分）		
					刷り込み式消毒薬を用いた手指消毒に習熟する。	Ⅲ-22	精神運動（支援部分）		
4	10/9	永井	ユニット3 高齢者の生活機能の支援を学ぶ	介護施設において生活機能支援を行なう職種とその役割について理解し、介護施設入所者の咀嚼・嚥下の観察法を理解する。	医師・歯科医師・歯科衛生士の職務を理解する。	V-2	認知（想起）	高齢者の生活支援に関わる職種の国家試験の出題教科について前期キャリアデザイン／地域医療の印刷教材で復習する。	1.0
					介護福祉士の職務を理解する。	V-2	認知（想起）		
					咀嚼の回数や、嚥下状態を観察する方法を理解する。	Ⅲ-14	認知（解釈）		
					健常男性の咀嚼嚥下動作を記録したビデオを視聴し、食物の性状と咀嚼回数について調べる。	Ⅲ-14	認知（解釈）		
5	10/9	秋竹	ユニット4 介護の技法を学ぶ	要介護高齢者とのコミュニケーションの技法を理解し、生活支援の技法を学ぶ。	コミュニケーション技法について理解する。	Ⅱ-1	認知（解釈）	[5回] 認知症の方とどのようにコミュニケーションすればよいのか考えてみる。 [6回] 身体機能の低下に合わせた生活の支援のためのポイントについて考えてみる。	5] 1.0 6] 1.0
6	10/9				歩行移動の障害に対する支援について理解する。	Ⅲ-22	認知（想起）		
					半身麻痺のある方の着衣の交換法を理解する。	Ⅲ-22	認知（想起）		
					摂食嚥下障害のある方への食事支援について理解する。	Ⅲ-14	認知（想起）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7	10/13	永井	ユニット5 介護施設実習（グループごと） 介護老人保健施設（サンシャインシティ）および（介護老人福祉施設（サンシャインプラザ）	利用者に配慮しながら、施設の概要を見学する。口腔機能に合わせた献立・調理法、安全な食事介助と口腔ケアのための設備・用具を理解する。	施設利用者へ感染を波及させるおそれがあると判断したら実習中止を申し出ることができる。	Ⅱ-1	情意（実践状況対応）	[7回] 体調管理に配慮する。咳エチケットが無意識に（習慣化して）できるように心がける。	7] 1.0 8] 0.5 9] 0.5
8	10/13				利用者にとって危険な所持品を実習の場に持ち込まないようにすることができる。	I-4	精神運動（自律全体）	[8回] 利用者の口腔機能に合わせた調理法や食事介助を行なうには、どのような職種間で、どのような情報の共有が必要か考えてみる。	
9	10/13				生活支援のための特別な設備設計を見学する。	V-1	認知（解釈）	[9回] 生涯を通じた経口摂取の支援のための多職種連携についての模式図を作成する。	
					献立や調理法の違いを見学する。	V-1	認知（解釈）		
					食事介助を見学する。	V-4	認知（解釈）		
					口腔ケアを見学する。	V-4	認知（解釈）		
10	11/27	永井	ユニット5 介護施設実習（グループごと） 介護老人保健施設（サンシャインシティ）および（介護老人福祉施設（サンシャインプラザ）	利用者に配慮しながら、施設の概要を見学する。口腔機能に合わせた献立・調理法、安全な食事介助と口腔ケアのための設備・用具を理解する。	利用者に合わせたケアをどのように計画するか話し合う。	I-9	認知（問題解決）	介護施設における生活支援について、住居（設備施設）面からまとめる。	3.0
11	11/27	永井	ユニット5 介護施設実習（グループごと） 介護老人保健施設（サンシャインシティ）および（介護老人福祉施設（サンシャインプラザ）	利用者に配慮しながら、施設の概要を見学する。口腔機能に合わせた献立・調理法、安全な食事介助と口腔ケアのための設備・用具を理解する。	歯科医師が、口腔機能のスペシャリストとして生活支援の場で果たす役割について考察する。	Ⅳ-17	認知（解釈）	[11回] 介護施設における栄養管理や生活支援がどのような職種の連携で行われているかまとめる。	
12	11/27							[12回] プレゼンの準備を行なう。	
13	12/4	永井	ユニット6 介護施設実習のまとめ（全員・レポート発表・討論）	多職種連携にもとづいた栄養管理・生活支援について理解する。	経口摂取の支援を通じた栄養管理について、グループごとに観察結果をまとめて発表する。	Ⅲ-22	認知（問題解決）	[13回] 介護施設における多職種連携による栄養管理や生活支援のイメージをまとめる。	13] 2.0 15] 2.0
14	12/4				多職種の関わる生活支援について、グループごとに観察結果をまとめて発表する。	Ⅳ-17	認知（問題解決）	[15回] 歯科医師の役割とは何かを考えてレポートにまとめる。	
15	12/4				多職種で連携して口から食べることを支援する中で歯科医師の果たす役割についてまとめる。	I-6	精神運動（自律部分・支援全体）		

成績評価方法、GPA（Grade Point Average）の活用について

GPA（Grade Point Average）

各授業科目の評点を5段階評価し（A・B・C・C-・D）、それを4から0の点数（GP: Grade Point）に置き換えて、その点数と単位数を掛け、その総和（GPT: Grade Point Total）を履修単位数の合計で割った平均点

評点	評語	Grade Point (GP)
100点～80点	A	4
79点～70点	B	3
69点～60点	C	2
再試60点	C-	1
59点～0点	D	0

GPAの算出方法

$$\text{GPA} = \text{GPT} \div \text{履修単位数の合計}$$

(GPT = [GP × 単位数] の総和)

実際の計算例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	GP(b)	(a × b)
〇〇学講義	1	86	A	4	4
〇〇学講義	2	再試60	C-	1	2
〇〇学演習	2	60	C	2	4
〇〇学実習	3	72	B	3	9
計	8 ^{*1}				19 ^{*2}

$$\text{GPA} = 19(\text{GPT}^{*2}) \div 8 (\text{単位数の合計}^{*1}) = 2.38 \quad (\text{小数第3位四捨五入})$$

対象教科

原則として、進級あるいは卒業により認定された全ての授業科目を対象とする。

ただし、次の授業科目や修得単位等は計算に含めない。

- 1) 基礎教養科目で必要単位数を超えて取得した科目
- 2) 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

GPAの活用目的

- 1) 学生の個別の学習指導に活用

前年度 GPA が2.00未満の学生は、進級するのにかなりの努力が必要な状況にあります。

- 2) 特待生等の選考の参考資料に活用

授 業 要 綱

編集
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話 092 (801) 0411番 (代)
Fax 092 (801) 0427番